第七號書式

印紙

披封(又ハ封緘)保護預品取扱代理人屆

貴行ヘ披封(又ハ封緘)保護預トシテ預ケ置キノ物品ニ對シ何某ヲ以テ何々ノ件代理爲致候ニ付代理人印鑑相添ヘ此段及御屆候也

年　月　日

住所

何　某　㊞

日本銀行總裁宛

横一寸

印鑑㊞

住所

何某代理人

何　某

竪三寸

第八號書式

利賦札領收證書

一何公債證書額面何圓ニ對スル何年何月渡利(又ハ賦)札

但披封保護預分

右正ニ領收候也

年　月　日

何　某　㊞

日本銀行總裁宛

第九號書式

印紙

委任狀

日本銀行總裁何某ヲ拙者ノ部理代人トシテ左記ノ事件取扱ノ權限ヲ委任ス

一　日本銀行ヘ保護預ニ係ル公債證書ノ利(又ハ賦)金請取方ノ件

一　前項利(又ハ賦)金ヲ以テ何公債證書買入方ノ件

右委任狀如件

年　月　日

住所

何　某　㊞

第十號書式

印紙

證

拙者所有何公債證書額面何圓及ヒ之ニ附帶スル明治何年何月渡以降ノ利(又ハ賦)札共何某ヨリ貴行ヘ披封保護預ト爲シタルニ就テハ同人ニ於テ右利(又ハ賦)札ニ對スル金員受取方及ヒ之ヲ

以テ何公債證書ヲ買入ルヽノ件拙者ニ於テ聊異議無之候也

年　月　日

住　所

日本銀行總裁宛　　何　某　㊞

第十一號書式

披封保護預品(內渡預增交換)依賴書

一品名額券面何圓　引出ノ分
一品名額券面何圓　預入ノ分　交換ノ場合ニ於ケル記入方

貴行ヘ披封保護預致置候何品ノ內(前書ノ分入用ニ付御渡相成度)又ハ(ヘ更ニ前書ノ分預入致度)又ハ前書ノ通交換相成度此預證書相添及御依賴候也

年　月　日

住　所

日本銀行總裁　　何　某　㊞

本店各局課長並祕書役ニ於テ各其主管スル有價證券及契約書類ハ從來株式局ニ保管ヲ託スルモノ或ハ然ラサルモノアル等其取扱區々ニ涉リ又同局ニ於テモ別ニ右取扱ノ規則ヲ設ケス唯假預リト爲シ來リタルモ斯クテハ右取扱ニ關シ統一ヲ缺クノミナラス整理上差支フルヲ以テ三十三年十二月十三日行內有價證券寄託規則ヲ左ノ如ク制定シ翌三十四年一月一日ヨリ之ヲ實施スル旨ヲ達セ

リ

行內有價證券寄託規則

第一條　本行各局長、課長並ニ秘書役ハ各其保管スル所ノ有價證券ヲ此規則ニ依リ株式局ニ寄託スヘキモノトス但契約證書ノ類ハ特ニ株式局長ノ承諾ヲ得テ寄託スルコトヲ得

第二條　寄託品ハ寄託者ニ於テ封緘スヘキモノトス但一時預ケニアラサル有價證券ニ限リ之ヲ披封ト爲スコトヲ得

第三條　寄託者寄託ヲ爲サントスルトキハ第一號又ハ第二號書式ノ寄託書ヲ差出シ受託者ハ第三號又ハ第四號書式ノ保管證書ヲ交付スルモノトス

第四條　寄託品ハ株式局ニ備ヘ置キタル保管函ニ收容スルモノトス但受託者ノ都合ニ依リ特ニ其調製ニ係ルモノヲ用ユルコトヲ得

第五條　保管函ハ內形長壹尺五寸幅壹尺壹寸六分深壹尺トス

第六條　寄託者カ保管函ノ容品ヲ出納セントスルトキハ唯鍵ヲ持參スルヲ以テ足ル但一時自己ノ局、課、室ニ保管函ヲ持出スヘキ必要アルトキハ保管證書ヲ寄託者ニ預ケ置クヘキモノトス

第七條　此規則ニ依リ保管スル所ノ物品ハ保管品記入帳及ヒ出入帳ニ記入スルモノトス

第八條　寄託品ノ保管ハ別ニ期限ヲ定メス且無手數料トス

第九條　此規則ニ定ムル所ノ外本行保護預規定ヲ準用ス

第壹號

封緘寄託書

一　第何號保管函何個又ハ何々
右ハ行内寄託規則ニ依リ封緘寄託致候也
年　月　日

株式局長宛

第貳號

披封寄託書

一品名額券面何圓也
右ハ行内寄託規則ニ依リ披封寄託致候也
年　月　日

株式局長宛

何局、課長又ハ秘書役
何　某　印

第參號

第何號　封緘保管證書

何局、課長又ハ秘書役
何　某　印

一　第何號保管函何個又ハ何々
右ハ行内寄託規則ニ依リ封緘ノ儘保管致候條此證書引換ニ現品御返却可申候也
年　月　日

寄託者宛

株式局長
何　某　印

第四號

第何號　披封保管證書

一品名額券面何圓也
右ハ行内寄託規則ニ依リ披封保管致候條此證書引換ニ現品御返却可申候也
年　月　日

寄託者宛

株式局長
何　某　印

備考　第三、四號證書ニハ原符ヲ設ク

曩ニ東京交換所ノ依頼ニ應シ明治二十四年三月以來保管セシ同所保證品ノ事務ハ之ヲ文書局第一課ニ於テ取扱ヒ現品ハ株式局ニ於テ保管シ特別預東京交換所寄託品ノ目ヲ以テ整理シタルカ明治三十四年

六月十八日以降文書局ノ主管ヲ離レ株式局ニ於テ保護預規定ニ依據シ取扱フコトニ改メ又右保護預ハ預リ期間ヲ定メス且無手數料ニテ取扱フコトヽセリ

保護預規定第十九條ニ依レハ保護預品ノ一部ヲ引出シ若クハ全部ノ交換ヲ爲シ又ハ預ケ增ヲナストキハ約定期限中ト雖其都度證書ノ書替ヲ爲スヲ要スルノ規定ナルモ預ケ先ノ都合ニ依リ其出入頻繁ナル向モアリ一々之カ書替ヲナストキハ其手續頗ル繁雜ニ過クルノミナラス預ケ先ノ爲メ沿革ヲ知ルノ便利ヲ缺クノ嫌アルヲ以テ明治三十六年三月六日大藏大臣ノ認可ヲ得テ同月九日右規定中左ノ通改正ノ旨ヲ達シ尙保護預通帳發行ニ關スル心得方ニ就キ株式局長ヨリ左ノ通各支店出張所ヘ依命通牒セリ

第四條第一項ニ左ノ但書ヲ追加ス

但時宜ニ依リ第四號書式ノ通帳式證書ヲ發行スルコトアルヘシ

第五條中左ノ如ク改ム

「二ケ月」ノ三字ヲ削リ「相當ノ期間」ノ五字ヲ挿入ス

第七條ヲ左ノ如ク改ム

約定滿期ニ至リ又ハ期限中預ケ品ノ全部ヲ引出サントスルトキハ預證書ニ領收ノ旨ヲ記載シテ持參スヘシ本行ハ之ト引換ニ現品ヲ引渡スヘシ

第八條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但發行シタル通帳式預證書ニシテ紙面ニ餘白ヲ存スルトキハ繼續ノ旨ヲ記載シ引續キ使用スルコトヲ得

第十三條第三項ヲ左ノ如ク改ム

期限內ノ解約又ハ壹部引出交換等ニ依リ預品ニ異動ヲ生スルモ既收ノ手數料ハ返付セス

第十九條ヲ左ノ如ク改ム

約定期限中預ケ品ノ交換又ハ壹部ノ引出若クハ預ケ增ヲ爲サントスルトキハ第十二號書式ノ依賴書ニ預證書ヲ添ヘテ差出スヘシ本行ハ書換ノ上更ニ證書ヲ交付スヘシ但同種同額ノ交換ノ場合ニハ書換ヲ要セス

通帳式預證書所持ノ預ケ主ヨリ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ本行ハ通帳ニ預入若クハ拂戻ヲ記入シタル上之ヲ返還スヘシ但交換ノ場合ニハ依賴書ノ外第十三號書式ノ領收證ヲ又壹部引出ノ場合ニハ單ニ領收證ヲ徵スヘシ

書式中左ノ第四號書式及第十三號書式ヲ設ケ現行ノ第四號書式ヲ第五號トシ以下順次繰下ク

第四號書式

印紙　第　號　　被封保護預證

契約期間自明治　年　月至　年　月間

紙數　何葉

本帳記載ノ物件本行保護預規定ニ依リ預置候也

預入品ノ授受ハ株式局長ノ押印ヲ以テ之ヲ證ス（支店長出張所長ノ押印ヲ以テ之ヲ證ス）

年　月　日

日本銀行總裁（支店長出張所長）

（禁賣買讓與）

何　某殿

第十三號書式

披封保護預品領收證

第　號通帳ノ分

一品名 額面 何　圓

貴行ヘ披封保護預致置候物件ノ内前書之通(交換ノ爲メ)正ニ領收候也

住所

年　月　日

何　某　印

日本銀行總裁宛

帳通預護保封披

印證	要摘	高殘引差		高戻拂		高入預		預件護保物	日月年
		額	金	額	金	額	金	數量	
	備考 此ノ欄内ニハ主トシテ一ケ月ノ手數料ヲ記入ス若シ或ル期間内手數料ヲ前納シタル後一部引出等ノ事故アリテ手數料ニ減少ヲ來ストモ既狀ノ手數料ハ返付セサルニ付キ次ノ納期ヨリノ手數料ヲ掲クヘシ例ヘハ六月三十日迄前納シタル後四月一日ニ至リ内引出ヲ爲ストキハ七月一日ヨリ一ケ月手數料金何圓何十錢ト記スルカ如シ								

通帳發行ニ就キ心得方

一　通帳ニハ其巻首ニ第四號書式ノ證書及規定（第一條ヨリ第二十條ニ至ル）ヲ添付スヘシ

一　「披封保護預通帳渡シ簿」ヲ設ケ通帳ノ要項ヲ記入シ通帳ト割印ヲ爲シタル後預ケ主ヘ交付スヘシ

一　預品ノ授受ハ之ヲ通帳ヘ記入シ先ツ取扱者認印ノ上本店ニアリテハ株式局長支店出張所ニ在リテハ其ノ長ノ役印ヲ押捺スヘシ

一　約定期限滿了ニ至リ繼續ヲ要スル場合ニハ別ニ印紙ヲ增貼スヘシ

從來本店ニ於テ封緘又ハ披封保護預ノ依賴ヲ受ケタルトキハ重役ヘ經伺ノ上之ヲ承諾シ來リタルモ斯クテハ依賴者ヲシテ時間ヲ空費セシムルノ嫌アルニ依リ明治三十六年十二月二十八日以後承諾ノ上ヲ與フヘキモノハ株式局長ニ於テ直ニ決行シ又內規第七十六條但書ニ依リ謝絶スヘキモノニ限リ經伺ノ上履行スルコトヽ定メタリ

又保護預規定第二十條ニ依レハ披封保護預リ品額面一千圓未滿手數料一ケ月ニ付金五錢トアルモ軍人遺族ニシテ其筋ヨリ給與ノ公債證書ヲ披封保護預ト爲ス者ニ對シテハ當分ノ內額面五百圓以下ヲ手數料一ケ月金三錢ノ割合ヲ以テ取扱フヘキ旨明治三十七年十一月二十六日ヲ以テ各店ニ達シタリ然ルニ其後續々保護預ノ依賴者アリ而シテ此中ニハ其筋ヨリ給與ヲ受ケ五百五十圓若クハ六百圓等ノ預入ヲ依賴スルモノアリ此等ニ對シ普通ノ手數料金五錢ヲ徵收スルハ頗ル憐ムヘキモノアルノミナラス保護預奬勵ノ一端トモナルヘキヲ以テ翌三十八年三月十八日額面一千圓未滿ノモノモ前同樣金三錢ニ改ムヘキ旨各店ニ達シタリ

其後明治三十九年四月二十五日內務次官ヨリ官國幣社ニ屬スル資金及有價證券ヲ本行ヘ預入若クハ保護預ヲナストキハ其預入及引出共地方長官ノ加印又ハ添書ヲ認メタル上取扱フヘキ旨照會アリシヲ以テ翌二十六日其旨株式局長ヨリ各支店出張所ヘ通牒セシモ翌四十年一月內務省令第一號ヲ以テ官國幣社會計規則改正ノ結果同規則第二十五條ニ據リ同年四月一日以降右資金及有價證券引出ノ場合ニ限リ地方長官ノ添書又ハ加印ヲ要スルコトヽナリタル旨同年十月十一日內務次官ヨリ本行ヘ照會アリシヲ以テ同月十四日其旨各支店出張所ヘ通牒セリ

從來本店ニ於テハ封緘保護預ヲ爲サントスル者ニ對シ大小一定ノ函ヲ貸與シ來リタルモ明治四十年十二月此制ヲ改メ金庫內ニ鐵製簞笥ヲ造リ付ケ之ニ區劃ヲ施シ其一部ヲ依賴者ニ貸與スルノ議ヲ決シ尋テ左ノ仕樣書ノ如キ簞笥ヲ調製スルコトヽセリ

封緘保護品容器仕樣書

一　全部鐵製ニシテ堅板四分ノ一吋橫板厚二分ノ一吋扉厚二分ノ一吋周圍板厚四分ノ一吋トス

二　函ノ大サ及其個數　函ハ深三寸五分及七寸ノ二種ニ別チ幅壹尺貳寸奥行壹尺五寸トス其小函ハ惣計六拾個大函ハ四拾個合セテ壹百個トス但シ其小函大函トモ各二等分シ即チ全部ヲ四大區劃ニ造リ相重ヌルモノトス

三　扉ハ軸吊ニテ取着ケ一個ノ錠ヲ具ヘ二個ノ鍵ヲ以テ開閉スヘクナス即チ一ハ保護者ノ保管ニ係ルモノ他ノ一ハ被保護者ノ所持スルモノトス但シ此兩鍵トモ正副二個ヲ造リ副鍵ハ適當ノ保管法ニ依リ不時ノ用ニ供ス

四　被保護者用ノ鍵ハ別ニ鍵預函ヲ設ケテ之ヲ預リ該預函ノ鍵ハ被保護者ニ交付ス

五　空保護函ノ鍵並ニ其鍵預函ノ鍵ヲ保管スヘキ保管函一個ヲ具備スルモノトス

六　保護函内ニハ別ニ桐製ノ箱ヲ收ムルモノトス

七　保護品容器ハ全部漆塗トシ之ヲ煉瓦積臺上ニ安置シ其上部及下部トモ亞鉛製ナル適當ノ裝飾ヲ施スモノトス

是ニ於テ保護預規定中改正ノ必要ヲ生シ明治四十一年七月三十一日大藏大臣ノ認可ヲ得翌八月十二日株第百九十七號ヲ以テ右規定改正來ル九月一日ヨリ實施ノ旨並ニ封緘保護預ハ本店ニ於テハ乙種ニ依リ支店出張所ニ於テハ當分ノ内甲種ニ依ルヘキ旨ヲ達セリ改正規定左ノ如シ

日本銀行保護預規程

第一章　總則

第一條　本行ハ此規程ニ依リ保護預ノ依賴ニ應ス

第二條　保護預ヲ分チテ披封保護預、封緘保護預ノ二種トス

第三條　保護預ヲ爲サントスル者ハ第一號又ハ第二號書式ノ依賴書ニ印鑑若クハ署名鑑ヲ添ヘテ差出サルヘシ但場合ニ依リ紹介人ヲ要求スルコトアルヘシ

第四條　披封保護預ノ依賴者ハ加印者ヲ設クルコトヲ得加印者ハ預品ノ預入及ヒ引出ニ關スル書類ニ副署スルモノトス

第五條　保護預ノ依賴ヲ承諾シタルトキハ第三號又ハ第五號書式ノ預證書又ハ第六號書式ノ承諾書ヲ發行スヘシ但時宜ニ依リ第四號書式ノ通帳式預證書ヲ發行スルコトアルヘシ

前項ノ預證書ハ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ス

第六條　預主預證書ヲ喪失シタルニ因リ代證書ノ發行又ハ預品ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ將來本行ノ受クルコトアルヘキ損害ヲ擔保スル爲メ本行ノ滿足スル保證人二名以上ノ連署ヲ以テ請求書ヲ差出サルヘシ此場合ニ於テ本行ハ請求人ノ費用ヲ以テ官報及ヒ新聞紙ニ廣告シ廣告ノ日ヨリ相當期間ヲ經タル後尚發見セサルトキハ領收證書引換ニ代證書ヲ發行シ又ハ現品ノ拂戻ヲ爲スヘシ

第七條　相續又ハ遺贈ニ因リ預證書又ハ承諾書ノ書換若クハ預品ノ受戻又ハ保護函容品ノ引取ヲ爲サントスルトキハ相續人ハ被相續人ト連署シタル第七號書式ノ請求書ニ（被相續人在ラサルトキハ戸籍謄本ヲ添フルコトヲ要ス）預證書又ハ承諾書ヲ添ヘ、遺贈ニアリテハ受遺者ハ相續人又ハ遺言執行者ノ連署ヲ以テ同號書式ノ請求書ニ預證書又ハ承諾書、遺言證書若クハ遺言ヲ證明スルニ足ルヘキ書類及ヒ相續人ノ戸籍謄本ヲ添ヘテ提出セラルヘシ

第八條　預主外國人ナルトキハ前條ノ場合ニ於テ戸籍謄本ニ代ヘテ本國領事ノ證明書又ハ其ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ書類ヲ添フルコトヲ要ス

第九條　預品全部ノ受戻又ハ保護函容品全部ノ引取ヲ爲サントスルトキハ預證書又ハ承諾書ニ預品若クハ容品領收ノ旨ヲ記載シ記名捺印シ若クハ署名シテ持參セラルヘシ

第十條　契約滿期ニ至リ尚保護預ノ繼續ヲ爲サントスルトキハ第八號書式ノ依賴書ニ預證書又ハ承諾書ヲ添ヘテ其書換ヲ請求セラルヘシ此場合ニ於テ通帳式預證書ニシテ紙面ニ餘白ヲ存スルトキハ繼續ノ旨ヲ記載シ引續キ使用スルモノトス

第十一條　契約滿期ニ至リ預品ノ受戻又ハ保護函容品ノ引取ヲ爲サス若クハ保護預繼續ノ手續

ヲ爲サスシテ五ケ年ヲ經過シタルトキハ本行ハ相當期間ヲ定メテ之カ引取方ヲ催告スヘシ若シ其期間内ニ引取ヲ爲サヽルトキハ適宜預品又ハ容品ヲ賣却シ其賣得金ヲ以テ本規程ニ依リテ生シタル一切ノ債權ニ充當シ殘金ハ之ヲ供託シテ凡テ其責ヲ免ルヽモノトス

前項ノ場合ニ於テ保護函ハ本行ニ於テ任意破毀シ容品中換價シ難キモノハ之ヲ供託ス因テ生シタル損害ハ預主ノ負擔トス

第十二條　本行ニ屆出ノ印鑑ト同一ノ印章ヲ押捺シタル書類ノ持參人ハ正當ノ權限アルモノト看做シ本規程ニ依リテ取扱ヲ爲スヘシ此場合ニ於テ預主ハ印影ノ盜用其他ノ事由ヲ以テ本行ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ署名鑑ニ之ヲ準用ス

第十三條　天災其他不可抗力ニ因ル預品ノ滅失毀損其他ノ損害ニ對シテハ本行其責ニ任セス

第十四條　預主轉居改名改印等ノ異動ヲ生シタルトキハ速ニ其旨ヲ本行ニ屆出テラルヘシ但改印ノ場合ニ於テハ新舊兩印ヲ併捺シタル印鑑ヲ差出サルヘク若シ舊印紛失等ニ依リ押捺シ能ハサルトキハ官公署ノ印鑑證明書ヲ添付セラルヽコトヲ要ス此場合ニ於テ本行ハ事實ヲ審査スルコトアルヘシ

第十五條　法定代理人保佐人ノ就任又ハ更迭アリタルトキハ速ニ戸籍謄本又ハ裁判所ノ登記謄本ニ印鑑又ハ署名鑑ヲ添ヘ其旨ヲ屆出テラルヘシ但場合ニ依リ判決ノ謄本其他ノ證明書ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

親權又ハ後見ノ終了シタルトキハ本人及ヒ親權者又ハ後見人ノ連署ヲ以テ其旨ヲ屆出テラル

ヘシ

第十六條　預主保護預ニ關スル一部若クハ全部ノ事務ヲ始終代理人ニ委任セントスルトキハ第九號書式ノ屆書ニ代理人ノ印鑑又ハ署名鑑ヲ添ヘテ差出サルヘシ

委任ノ解除其他代理權ノ消滅シタルトキハ預主ハ速ニ其旨ヲ本行ニ屆出テラルヘシ

第十七條　保護預手數料保護函使用料ハ其期間ニ對スル全額ヲ前拂セラルヘシ預入及ヒ引出又ハ解約ノ月ハ日數一ケ月ニ滿タサルモノト雖モ凡テ一ケ月ヲ以テ計算ス

契約期間一ケ年以上ニ亘ル場合ニ於テハ其手數料又ハ使用料ハ六ケ月分宛前拂セラルヽモ妨ナシ又特別ノ事情アル向ニ對シテハ時宜ニ依リ一ケ年ヲ超過セサル期間内ニテ之レカ後拂ヲ承諾スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ料金滯納一ケ年ニ及ヒ尚預期限ノ到ラサルモノハ其月ノ末日ヲ以テ期間滿了シタルモノト看做ス

第十八條　期間内解約又ハ預品ノ一部引出、交換等ニヨリ異動ヲ生スルモ既收ノ手數料又ハ使用料ハ之ヲ返還セス、後拂ノ場合ニアリテハ料金ノ計算ハ此例ニ依リ前條定ムル所ノ猶豫期間ニ對スル全額ヲ申受クヘシ

期限經過スルモ預品ノ受戻又ハ容品ノ引取ヲ爲サヽルトキハ其經過シタル月數ニ應シ手數料又ハ使用料ヲ申受クヘシ

第二章　披封保護預

第十九條　披封保護預ハ現品ニ封披ヲ施サスシテ預クルモノトス

第二十條　披封保護預品ハ左記ノ證券ニ限ル

一　各種公債證書
二　大藏省證券
三　株券
四　社債券
五　手形及ヒ其他ノ有價證券

第二十一條　預品ニ附屬セル利賦札配當金券ハ預主ノ請求ニ依リ第十號書式ノ領收證書ト引換ニ之ヲ交付スヘシ

第二十二條　本行ハ預主ノ依賴ニ依リ預品中ノ各種公債證書ノ利賦金受取方又ハ利賦金ヲ以テ公債證書ノ買入方ヲ取扱フコトアルヘシ此場合ニ於テハ所有者ヨリ第十一號書式ノ委任狀ヲ提出セラルヘシ

第二十三條　本行ハ特別ノ事情アル預主ニ對シテハ預品中株券社債券ニ屬スル利金配當金取立ノ依賴ニ應スルコトアルヘシ

第二十四條　契約期間中預品ノ交換又ハ一部ノ引出若クハ預增ヲ爲サントスルトキハ第十二號書式ノ依賴書ニ預證書ヲ添ヘテ提出セラルヘシ本行ハ書換ノ上更ニ預證書ヲ發行スヘシ但同種同額ノ交換ノ場合ニハ預證書ノ書換ヲ爲サヽルヘシ

前項ノ場合ニ於テ通帳式預證書ニアリテハ本行ハ其通帳ニ受拂ヲ記入スルモノトス但交換ノ場合ニハ依賴書ノ外第十三號書式ノ領收證書ヲ又一部引出ノ場合ニハ單ニ領收證書ヲ提出セ

ラルヘシ

第二十五條　披封保護預ノ手數料ハ一ケ月左ノ割合ニ從ヒ額面ニ依リ計算ス但拂込未濟又ハ賦札落ノモノハ實際ノ計數ニ依ル

一　壹千圓未滿　金五錢
二　壹千圓以上壹萬圓未滿　壹千圓ヲ金六錢トシ以上壹千圓迄毎ニ金壹錢ヲ加フ
三　壹萬圓以上拾萬圓未滿　壹萬圓ヲ金拾六錢トシ以上壹萬圓迄毎ニ金九錢ヲ加フ
四　拾萬圓以上　拾萬圓ヲ金壹圓トシ以上壹萬圓迄毎ニ金五錢ヲ加フ

第三章　封緘保護預

第二十六條　封緘保護預ハ預主ニ本行備附ノ保護函ヲ貸付シ預主自ラ本行ニ來リテ之レカ開閉ヲ爲スモノトス

第二十七條　封緘保護預ハ甲乙ノ二種トシ營業店ノ都合ニ依リ之ヲ定ム

第二十八條　甲種封緘保護預ハ預主保護函ニ鎖鑰ヲ施シテ之ヲ本行ニ預クルモノトス

第二十九條　乙種封緘保護預ハ固定裝置ノ保護函ヲ預主ノ使用ニ任スルモノニシテ預主之ニ鎖鑰ヲ施スモノトス

第三十條　保護函ニ納入スヘキモノハ第二十條ニ列擧セル諸證券ノ外左記ノ物件ニ限ル

一　金銀貨幣及ヒ舊貨幣
二　貴金屬寶石類
三　諸契約證書及ヒ其他貴重ノ文書

第三十一條　預主保護函ヲ開閉シ若クハ容品ヲ出納スルトキハ本行係員之レニ立會フヘシ

第三十二條　保護函ノ鍵ハ甲種ニアリテハ預主之ヲ所持シ乙種ニアリテハ別ニ備フル鍵函ニ納レ本行之ヲ保管シ預主ハ其鍵函ノ鍵ヲ所持スルモノトス

第三十三條　預主保護函ヲ開閉セントスルトキハ預證書又ハ承諾書ヲ持參セラルヘシ若シ代理人ヲシテ之レカ開閉ヲ爲サシメントスルトキハ委任狀ヲ添ヘラルヘシ

第三十四條　預主ハ保護函ノ使用ニ當リ任意ニ暗號ヲ選ヒ使用スルコトヲ得此場合ニアリテハ本行ハ其暗號ヲ用フルニ非ラサレハ取扱ヲナサヽルヘシ

第三十五條　本行ニ於テ保護函ニ修繕ヲ要スルカ爲メ容品ノ入レ替ヲ請求シタルトキハ預主ハ指定ノ期日ニ於テ之ニ應スルノ義務アルモノトス

第三十六條　契約滿期又ハ解約ノ場合ニ於テハ預主ハ第九條ノ手續ヲ爲シ預證書又ハ承諾書ト共ニ鍵ヲ返戻シ容品ヲ引取ラルヘシ

第三十七條　保護函使用權ハ轉貸又ハ讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

第三十八條　本行ハ保護函ノ容品ニ付キ何等ノ責ヲ負フコトナシ

第三十九條　預主鍵ヲ喪失シタルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人二名以上ノ連署ヲ以テ預證書又ハ承諾書ヲ添ヘテ届出テラルヘシ本行ハ其事實ヲ認メタル上預主ノ立會ヲ以テ保護函又ハ鍵函ヲ破毀スヘシ因テ生シタル損害ハ預主ノ負擔トス

第四十條　預主承諾書ヲ喪失シタルトキハ前條ニ依リ届出テラルヘシ本行ハ其事實ヲ認メタル上更ニ承諾書ヲ發行スヘシ

第四十一條　保護函ノ容積左ノ如シ

甲種　大形（内法）長一尺七寸五分　幅一尺八分　深一尺五分
　　小形（内法）長一尺一寸五分　幅九寸一分　深三寸

乙種　大形（内法）奥行一尺五寸　幅一尺二寸　深七寸
　　小形（内法）奥行一尺五寸　幅一尺二寸　深三寸

第四十二條　封緘保護預手數料及ヒ保護函使用料ハ一ケ月左ノ割合ニ依ル

大形　壹個　金五拾錢

小形　壹個　金參拾錢

第一號書式

披封保護預依賴書

一何品額面何圓

右ハ貴行保護預規程ニ依リ何年何月ヨリ何年何月マテ何年何ケ月間披封保護預致度此段及御依賴候也

年　月　日

住所
何某　㊞

日本銀行總裁（支店長、出張所長）宛

備考

預品他人記名ナルトキハ品目ノ肩ニ「何某記名」ト附記セラルヘシ

最近利渡期ニ相當セサル利札類ノ附屬スルトキハ特ニ「何年何月渡以降利札（其他之ニ關スルモノ）附屬」ト記入セラルヘシ

保護預

第二號書式

封緘保護預依賴書

一保護函大形（小形）　何個

右ハ貴行保護預規程ニ依リ何年何月ヨリ何年何月マテ何年何ケ月間封緘保護預致度此段及御依賴候也

年　月　日

日本銀行總裁（支店長、出張所長）宛

住所

何某　印

第三號書式

印紙

披封保護預證書（本證書ニハ原符ヲ設クヘシ）

第何號

自何年何月　至何年何月　何年何ケ月間

一品名額面何圓

此保護預手數料一ケ月金何圓何拾錢

右本行保護預規程ニ依リ預置候也

年　月　日

何某殿

備考

預品他人記名ナルトキハ品目ノ肩ニ「何某記名」ト附記スヘシ

日本銀行總裁（支店長、出張所長）

何某　印

第四號書式

印紙

披封保護預證書

禁讓渡質入

第何號

契約期間自何年何月　至何年何月　何年何ケ月間

紙數何葉

本帳記載ノ物件本行保護預規程ニ依リ預置候也

預入品ノ受授ハ株式局長（支店長、出張所長）ノ押印ヲ以テ之ヲ證ス

日本銀行總裁（支店長、出張所長）

何某　印

年　月　日

何某殿

（記入樣式略）

保護預

第五號書式

印紙

封緘保護預證書（本證書ニハ原符ヲ設クヘシ）

第何號

自何年何月　至何年何月　何年何ケ月間

一保護函　大形（小形）第何號　何個

此保護預手數料一ケ月ニ付金何拾錢

右本行保護預規程ニ依リ封緘ノ儘預置候也

年　月　日

何　某　殿

日本銀行總裁（支店長、出張所長）

何　某　㊞

第六號書式

印紙

承諾書（本證書ニハ原符ヲ設クヘシ）

第何號

禁讓渡質入

禁轉貸讓渡

自何年何月　至何年何月　何年何ケ月間

一保護函　大形（小形）第何號　何個

此保護函使用料一ケ月ニ付金何拾錢

右本行保護預規程ニ依リ保護預ノ爲メ御使用ノ儀承諾致候也

年　月　日

何　某　殿

日本銀行總裁（支店長、出張所長）

何　某　㊞

第七號書式

相續（遺贈）ニ付預證書（承諾書書換（預品又ハ保護函容品返戻又ハ引渡請求書

一品名額面何圓（保護函大形又ハ小形第何號）

右ハ豫テ何某ヨリ貴行ヘ披封封緘（保護預致置候處同人儀何年何月何日隱居（死亡其他ノ理由）致候ニ付家督相續人（遺産相續人又ハ受遺者）何某名義ニ御書換（何某ニ預品又ハ容品御返戻又ハ御引渡相成度此段及請求候也

年　月　日

（故何某家督相續人（遺産相續人又ハ受遺者）

住　所

何　某　㊞

保護預

被相續人(相續人又ハ遺言執行者)

住所

何某 ㊞

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

第八號書式

披封(封緘)保護預契約繼續依賴書

一品名額面何圓 (保護函大形又ハ小形第何號)

右ハ貴行ヘ披封封緘)保護預致置候處何年何月滿期ニ付更ニ何年何月ヨリ何年何月マテ何年何ヶ月間契約繼續致度此段及御依賴候也

年 月 日

住所

何某 ㊞

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

第九號書式

披封(封緘)保護預ニ關シ代理人屆

貴行ヘ披封(封緘)保護預ニ關シ何某ヲ以テ何々ノ件代理爲致候間代理人印鑑相添ヘ此段及御屆候也

年 月 日

住所

何某 ㊞

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

横一寸	
印鑑	㊞
住所	何某代理人
何某	
竪三寸	

第十號書式

保護預證券附屬利(賦)札(配當金券)領收證書

一何公債證書(何々會社株券)額面何圓ニ對スル

何年何月渡利(賦)札(配當金券)

右正ニ領收候也

年 月 日

何某 ㊞

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

第十一號書式

印紙

委任狀

日本銀行總裁(支店長、出張所長)何某ヲ拙者ノ代理人トシテ左ノ事項ヲ委任ス

一　日本銀行ヘ保護預(何某ヨリ保護預)ニ係ル公債證書ノ利(賦金毎期)受取方ノ件

一　前項利(賦金)ヲ以テ何公債證書(毎期)買入方ノ件

右委任狀如件

年　月　日

住所
何某　印

第十二號書式

披封保護預品交換(內渡預增)依賴書

一品名額面何圓　引出ノ分

一品名額面何圓　預入ノ分

貴行ヘ披封保護預致置候內前書ノ通交換相成度(內渡相成度)(預增致度)此預證書(通帳)相添ヘ此段及御依賴候也

年　月　日

住所
何某　印

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

第十三號書式

披封保護預品領收證

第何號通帳ノ分

一品名額面何圓

貴行ヘ披封保護預致置候內前書ノ分(交換ノ爲メ)正ニ領收候也

年　月　日

住所
何某　印

日本銀行總裁(支店長、出張所長)宛

尋テ同年八月十二日改正保護預規程施行ニ關シ左記ノ通取扱相成度旨株式局長ヨリ各支店出張所長ヘ通牒セリ

一　改正規程實施ノ際ハ現在預主ニ對シ新規程ヲ交付シ左記書式ノ承諾書ヲ徵スルコト

二　預主ニシテ承諾書ヲ提出セサル者ニ對シテハ契約滿期マテ現行規定ニ依ルコト

三　改正規程實施ノ日ヨリ發行スル預證書ノ表面適宜ノ場所ニ「裏面御注意」ノ文字ヲ裏面ニ保護預規程ノ主ナル條項ヲ印刷スルコト

（書式）

承諾書

明治四十一年九月一日改正ノ貴行保護預規程御送付相成正ニ受領致シ候御規程ノ趣旨承諾致シ候也

年　月　日

住所
保護預主　何　某　印

日本銀行支店出張所長宛

右保護預規程ノ改正ト共ニ内規中保護預ニ關スル條項モ亦從テ改正ノ必要アリシヲ以テ同年八月二十九日ヲ以テ内規中第七十四條乃至第七十六條ヲ左ノ通改正シ第七十七條乃至第八十一條ヲ削除セリ（總說編、内規ノ部參照）

一　公衆ノ爲メ相當ノ報酬ヲ徵求シテ有價證券、金銀貨幣、舊貨幣、貴金屬、寶石類、諸契約證書及ヒ貴重文書ノ保護預ヲ爲スモノトス

一　保護預ハ之ヲ分チテ披封保護預及ヒ封緘保護預ノ二種ト爲スモノトス

一　保護預ハ別ニ定ムル所ノ保護預規程ニ據リテ取扱フ可キモノトス

又同年九月二十五日保護預規程第三十四條ニ基キ封緘保護預主暗號使用手續ヲ左ノ如ク定メ即日實施ノ旨ヲ達シ又同月二十八日該手續第三條ニ規定スル書留簿ハ本店ニ於テハ左ノ樣式ノモノヲ使用スル旨參考ノ爲メ株式局長ヨリ各支店出張所ヘ通牒セリ

封緘保護預主暗號使用手續

第一條　封緘保護預主ハ保護函ノ使用ニ當リ暗號ノ使用ヲ請求セラルヽ片ハ本行ハ其暗號ヲ用フルニ非ラサレハ取扱ヲ爲サヽルヘシ

第二條　暗號ハ五語以上ノ文字ト定メ使用請求者ニ選定使用セシムルモノトス

第三條　暗號ハ使用者之ヲ本行備附ノ書留簿ニ記載シ記名捺印スルモノトス

第四條　暗號使用者保護函ヲ開閉セントスルキハ預證書若クハ承諾書ヲ提出スルト同時ニ口頭ヲ以テ暗號ヲ表セラルヘシ

本行ハ其吻合ヲ俟テ之カ取扱ヲ爲スモノトス

第五條　預主暗號ノ使用ヲ改廢セントスルキハ書留簿ニ其旨ヲ記載シ記名捺印セラルヘシ此場合ニ於テハ本行ハ豫メ印鑑及暗號ノ吻合ヲ認メタル上之ヲ承諾スルモノトス

明治　年　月　日

暗號使用者　何　之　某　印

封緘保護函　形第　號

暗號文字	

改正欄		改正ノ場合ニハ暗號終尾ニ捺印ヲ要ス	此處綴目

從來外人ニシテ往々保護預ヲ依頼スル者アリ將來益增加ノ趨勢アルニ依リ明治四十二年十月二十三日以後英譯ノ保護預規程ヲ外人ノ依頼者ニ配付スルコトヽシ並ニ外人ニ對シ發行スル保護預證書及承諾書ハ其請求ニ依リ譯文ヲ付シタル用紙ヲ使用スヘキ旨ヲ達シ尙英譯ノ保護預規程ヲ請求スルモノアルトキハ其需ニ應スヘキ旨株式局長ヨリ各支店出張所ヘ通牒セリ

保護預規程第三十條ニ依レハ鍵ハ封緘保護預物件ノ範圍外ニ屬セルモ其性質保護預ノ目的物トシテ差支ナキモノナルヲ以テ西部支店長ヨリノ稟申ニ從ヒ明治四十二年十月三十日ヲ以テ鍵ヲ封緘保護預トナスコトヲ承認セリ

又前記保護預規程第三十條ニ規定スル保管物件ハ實際其範圍狹隘ニ失スルノ嫌アルヲ以テ明治四十二年十二月二十八日大藏大臣ノ認可ヲ得テ同月三十日同條ニ「四、本行ニ於テ保管上差支ナシト認メタル貴重品」ノ一號ヲ追加スル旨ヲ達シ並ニ同月三十一日株式局長ヨリ各支店出張所長ニ對シ參考ノ爲メ右貴重品ノ範圍ニ屬スヘキモノハ鍵、印形、系圖、書畫骨董品、刀劍、鐙甲、珊瑚、眞珠等ノ類ニシテ其範圍外トスヘキモノハ液體藥品、遺髮、遺骨、位牌等ノ類其他容器ヲ毀損スヘキ危虞アル物品ナル旨ヲ通牒セリ

右第三十條第四號追加ノ結果內規ノ規定ニモ改正ヲ加フルノ必要ヲ生シ同月三十日ヲ以テ內規第七十四條中「及貴重文書」トアルヲ「貴重文書及本行ニ於テ保管上差支ナシト認メタル貴重品」ト改メタリ（總說編內規ノ部參照）

次ニ披封及封緘保護預品年末現在表ヲ掲クレハ左ノ如シ

年次	本店 口數	本店 金額	大阪支店 口數	大阪支店 金額	函館出張所（北海道支店） 口數	函館出張所（北海道支店） 金額	西部支店 口數	西部支店 金額	京都出張所 口數	京都出張所 金額	名古屋支店 口數	名古屋支店 金額	小樽出張所（小樽支店） 口數	小樽出張所（小樽支店） 金額	福島出張所 口數	福島出張所 金額	廣島出張所 口數	廣島出張所 金額	金澤出張所 口數	金澤出張所 金額	合計 口數	合計 金額	備考
十六年	五七	五八九三五〇〇〇円	四一	六九四三五〇〇〇円																	九八	一二八三五八〇〇〇円	外二地券一通（大阪支店保管）
十七年	三二	二三五三五〇〇〇	三七	三六九二五九〇〇〇																	六〇	三九四〇五〇〇〇	外二地券一通（大阪支店保管）
十八年	二〇	一一六二五〇〇〇	一八	二四二五九〇〇〇																	三八	二五八二〇〇〇	
十九年	八	九五九〇〇〇	一七	一一七〇〇〇																	二五	二九一〇四〇〇〇	外二地券一通（大阪支店保管）
二十年	一三	一四〇四〇〇〇	一五	一七三六〇〇〇																	三〇	三〇〇五〇〇〇	同
二十一年	一五	一七三六〇〇〇	六	六四八三五〇〇〇																	二一	二一一四九九〇〇〇	同
二十二年	一九	四六六〇〇〇	一一	五五二八五〇〇〇																	四〇	一三五九七一〇〇〇	同
二十三年	二七	五五二八五〇〇〇	一三	八二四五九五〇〇〇																	五一	一六九七一〇〇〇	
二十四年	三九	六四九九二五〇〇〇	一七	一〇〇七五〇〇〇																	七二	二三四〇〇〇	
二十五年	五七	九五〇八五〇〇〇	二一	一三〇五五〇〇〇																	七三	二二七四〇〇〇	
二十六年	五六	一一九三五〇〇〇	二一	一三〇五五〇〇〇																	一〇六	二六〇七〇〇〇	
二十七年	六三	九三八三五〇〇〇	二〇	一二四五〇〇〇																	一〇一	二二〇二六四〇〇〇	
二十八年	八二	一〇〇一〇九三〇〇〇	二一	一二四九三五〇〇〇	一	一四〇〇〇〇															一二六	二六〇七〇〇〇	
二十九年	一〇〇	八一六六八五〇〇〇	二一	一二四九三五〇〇〇																	一三六	二六〇七〇〇〇	
三十年	一〇五	三五四九二五〇〇〇	二一	一二四九三五〇〇〇																	一四八	二七二六八〇〇〇	
三十一年	一一三	一二八四〇六六〇〇〇	三三	四一四二三五〇〇〇																	一五二	三三五五六二七〇〇〇	
三十二年	一〇五	一一八九二八五〇〇〇	四一	五三四七三五〇〇〇																	一二四	三三四三五九〇〇〇	
三十三年	一一二	一一八三四二五〇〇〇	二七	一一三四五五〇〇〇																	一二八	三四七八五九〇〇〇	
三十四年	一六五	二八六八〇八五〇〇〇	三三	四一八〇九九二五〇〇〇																	一三二	三四七八四〇〇〇	
三十五年	一八一	三九五六一七五〇〇〇	三九	四四四九二五〇〇〇																	一三五	三五九二六四〇〇〇	
三十六年	一九六	三五五八五一〇五〇〇〇	四九	六一五八一〇〇〇〇																	一四七	三六〇四〇〇〇〇	
三十七年	二三五	三三三三五〇〇〇	六七	七〇九九二五〇〇〇																	一四九	三六〇七〇〇〇〇	
三十八年	二三九	三四五五五〇〇〇	六七	七〇八五〇三五〇〇〇																	一五六	三六〇七〇〇〇〇	
四十年	二四一	三五四二二五〇〇〇	六七	七〇八五〇三五〇〇〇																	一五六	三六〇七〇〇〇〇	
四十一年	二四一	三五四二二五〇〇〇	六七	七〇八五〇三五〇〇〇																	一五六	三六〇七〇〇〇〇	
四十二年	二四二	三五五〇〇〇〇	六七	七〇八五〇三五〇〇〇																	一五七	三六一二〇〇〇〇	

年次	本店 口數	本店 金額	大阪支店 口數	大阪支店 金額	西部支店 口數	西部支店 金額	京都出張所 口數	京都出張所 金額	名古屋支店 口數	名古屋支店 金額	福島出張所 口數	福島出張所 金額	廣島出張所 口數	廣島出張所 金額	合計 口數	合計 金額	備考
三十九年	四〇	三七、一〇三、三八七〇〇〇	三八	二一、三八、四九二五〇〇〇	一	一四、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	四八	一六、一四〇、四九二五〇〇〇	
四十年	三八	二一、三八、四九二五〇〇〇	三九	二二、〇六、四九二五〇〇〇	一	一四、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	四九	一六、一四〇、四九二五〇〇〇	
四十一年	三八	二一、三八、四九二五〇〇〇	三九	二二、〇六、四九二五〇〇〇	一	一四、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	四九	一六、一四〇、四九二五〇〇〇	
四十二年	四二七	三四、五五五、三五〇〇〇	四七	二六、四九〇、三五〇〇〇	一	一四、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇	五七	一七、一〇三、三八七〇〇〇	

封緘保護預品年末現在表

年次	本店	大阪支店	西部支店	京都出張所	名古屋支店	福島出張所	合計
十六年		六					六
十七年		一					一
十八年		一					一
十九年		一					一
二十年		一					一
二十一年		二					二
二十二年		二					二
二十三年		二					二
二十四年		二					二
二十五年		二					二
二十六年		二					二
二十七年		二					二
二十八年		二					二
二十九年		二					二
三十年		二					二
三十一年		二					二
三十二年		二					二
三十三年		二					二
三十四年		二					二
三十五年		二					二
三十六年		二					二
三十七年		二					二
三十八年		二					二
四十年		二					二
四十一年		二					二
四十二年		二					二
三十九年	一	二					三
四十年	一	二					三
四十一年	一	二					三
四十二年	一	二					三

保護預

記入帳

（明治十六年九月實施）

摘要	日期	期限	手數料	代價	物品

記入帳

（明治十七年二月實施）

摘要	返却月日	日期	期限	金額

次ニ封緘及披封保護預ニ關スル帳簿ニ就キ之ヲ述フレハ明治十六年九月四日保護預記入帳第一號樣式）ヲ設ケ尋テ十七年二月二十七日以降之ヲ改正シ（第二號樣式）其後三十三年一月以降再ヒ之ヲ改正シ（第三號樣式）タルカ三十六年七月以降之ヲ廢止シテ更ニ披封保護預記入帳（第四號樣式）、封緘保護預記入帳（第五號樣式）ヲ新設シタリ

又保護預手數料期日明細帳ハ明治十七年二月二十七日之ヲ設置シ二十五年一月諸帳簿改正ノ際右期日明細帳樣式ヲ別紙（第六號）ノ如ク定メ三十三年一月以降之ヲ改正シ（第七號樣式）尙帳簿名稱中「期日」ヲ「期限」ト改メ尋テ三十六年七月以降再ヒ其樣式ヲ改正セリ（第八號樣式）

又明治二十七年一月以降手數料勘定帳ヲ置キ收支シタル手數料ノ記入ニ充テタリシカ右ハ計算局ニ於ケル損益勘定元帳ノ記入ト全ク重複スルヲ以テ明治三十二年限リ之ヲ廢止セリ

三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年
九	一二	一三	一五	二一	二八	三六	四三	四八	六五	八〇
三	六	五	六	六	七	八	一〇	一八	一一	一八
			三							
		一						二	四	五
一										
一三	一八	一七	二四	二七	三五	四五	五五	六三	八四	一〇九

記　入　帳

（明治三十三年一月實施）

保證預

金額	合金額	約定期限 年	約定期限 月	返却月日 年	返却月日 月	返却月日 日	摘要
5,000 000							
5,000 000	10,000 000	33	10				

預　記　入　帳

何區何町何番地　（明治三十六年七月實施）

合計	約定期間 起算年	約定期間 起算月	約定期間 終了年	約定期間 終了月	返却 年	返却 月	返却 日	摘要
								舊帳何年何月何日ヨリ移記
40,000 00	33	7	40	12	36	10	6	内引出ニ付預證103號ニ書替
10,000 00	36	8	40	8				
25,000 00	33	7	〃	12	36	11	10	預ヶ增ニ付預證150號ニ書替
55,000 00	〃	〃	〃	〃				

※最初約定ヲ爲シタル年月ヲ記入スヘシ
替ヲ爲シタルトキト同シク全部ノ記入替ヲ爲スヘシ

第　一　號　保　護　預

明治年	番號	姓名	住所	諸證書

第　二　號　保　護　預

明治年	番號	姓名	住所	預リ物品

第三號　保護預

明治 卅二年		番號	姓名	住所	物品	個數又ハ量目
11	6	100	石田六平	日本橋區駿河町六番地	軍事公債	
〃	〃	〃	〃	〃	整理公債	

本帖ハ番號ヲ逐ヒ順次ニ記入スルコト從前ノ如クスヘシ

第四號　披封保護

甲　某

明治 卅六年		預證番號	種類	數量	金額
7	1	〇0	無記名軍事公債		25,000 00
〃	〃	〃	〃 整理公債		15,000 00
8	15	82	郵船株式會社株券	100	5,000 00
〃	〃	〃	日本鐵道株式會社株券	100	5,000 00
10	6	103	無記名軍事公債		25,000 00
11	10	150	〃 〃		55,000 00

本帳ハ預ケ主毎ニ口座ヲ設クヘシ
本帳ハ締上ヲ要セス
約定期間欄内ノ起算年月ハ預ケ品ノ交換又ハ内引出若クハ預ケ增ニ因リ預證ヲ書替タルトキト雖保護預規定第四條ノ通帳ヲ以テ預ケ品ノ交換又ハ内引出若クハ預ケ增ヲ爲シタルモノハ預證ノ書

第五號　封緘保護預記入帳

乙　某　　何區何町何番地（明治三十六年七月實施）

保護預	明治 卅六年		預證番號	保護函番號	個數	約定期間 起算年月		約定期間 終了年月		返却 年月日			摘要
	7	1	1	甲 1—3	3	36	1	37	12				舊帳何年何月何日ヨリ移記

本帳ノ記入ハ披封保護預記入帳ノ例ニ準スヘシ

第六號　保護預手數料期日明細帳

（明治二十五年一月實施、其以前不詳）

明治 年		番號	約定期限	受取期日		手數料		受取月日		摘要

第十一章　現金及有價證券ノ出納保管

第一節　現金ノ出納保管

現金ノ出納保管ハ當初假內規第百二十三條ニ依リ金庫局出納課ニ於テ之ヲ取扱ヒタリシカ明治二十三年一月本行組織改正ノ際出納課ヲ廢シタルモ現金ノ出納保管事務ハ依然金庫局ノ所管タリキ其後三十二年一月實施ノ內規ニヨリ金庫局ヲ改メテ出納局トナシタリ

而シテ之カ取扱手續ニ至リテハ假內規第百二十四條乃至第百二十七條ニ於テ二三重要ノ事項ヲ大要左ノ如ク規定セル外何等成文ノ據ルヘキモノナク多クハ慣行ノ手續ニ依リ取扱ヒタリ

一　出納課ニテ貸付割引其他一般ノ入金仕拂又ハ送金ヲ爲スヘキハ關係局長及總裁ノ調印アルヤ否ヤヲ檢査シ若シ之レ無キトキハ一切之カ仕拂又ハ送金ヲ爲スヘカラス又他ヨリ本行ヘ振込ミタル手形小切手其他證書等ノ仕拂ヲ爲スヘキハ豫テ其關係主務役員ノ檢印ヲ認メタル上ニ非サレハ一切之カ仕拂ヲ爲スヘカラス

一　出納課長ハ其日ニ收支スル所ノ現金受拂帳ヲ終結シ翌日開店ノ時前日中ノ營業ヲ明細表ニ製シ之ニ證據書類ヲ添ヘテ現金受拂帳ト共ニ計算局長ニ差出スヘシ計算局長ハ右明細表及受拂帳ヲ檢査シ不都合ナケレハ受拂帳ニ檢印ヲ爲シテ出納課ヘ還付スヘシ

一　金庫局長ハ日用金庫ノ金銀銅貨及紙幣等ヲ監護シ特別ノ簿冊ヲ設ケテ之カ出納ヲ日々ニ記入スルモノトス

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第七號　保護預手數料期限明細帳

（施實月一年三十三治明）　明治三十三年四月

明治 冊	年	番號	姓名	預リ高	手數料	約定期限	摘要
11	6	100	石田六平	10,000 000	960	33 10	

本帖ハ月毎ニ口座ヲ別ツヘシ
手數料收入ノトキハ其滿期限ノ月ノ口座ニ記入スヘシ假令ハ本年十一月ヨリ一ケ年間ノ保護預ナナミ手數料半年分ヲ領收シタルトセハ三十三年四月ノ口座ヘ記入スルコト上記ノ如シ

第八號　保護預手數料期限明細帳

（施實月七年六十三治明）　明治三十六年十二月

明治 冊	年	種類	證號	姓名	約定期限	手數料	結末月	日	摘要
7	1	披封	60	甲某	40	12	5 16	10	6	舊帳ヨリ移記
〃	〃	封緘	1	乙某	37	〃	18 00	37/1	8	預リ證103號ニ書替
10	6	披封	103	甲某	40	〃	0	11	10	舊帳ヨリ移記 三十七年十二月口座ヘ付替
11	10	〃	150	〃	〃	〃	54	37/1	7	預リ證150號ニ書替 三十七年十二月口座ヘ付替
				明治三十七年十二月						
37/1	7	披封	150	甲某	40	12	7 32			
〃	8	封緘	1	乙某	37	〃	18 00			
〃	11	披封	321	丙某	〃	〃	1 20	12	30	
3	15	〃	369	丁某	〃	〃				手數料後納

本帳ハ年月ヲ以テ口座ヲ設クヘシ
本帳ハ手數料ヲ領收シタルトキ其手數料ノ有效期限ニ相當スル口座ニ記入ヲ爲スヘシ
但シ手數料後納ノ契約アルモノハ該契約ノ期限ニ相當スル口座ニ於テ記入月日欄以下約定期限欄迄ノ記入ヲナシ其摘要ニ手數料後納ノ旨ヲ記載シ追テ手數料領收ノトキ金額及結末月日ノ記入ヲ爲スヘシ

一　凡ソ金銀出納ノ爲メ金庫ヲ開閉スヘキ者ハ重役集會ニテ之ヲ決定シ總裁（又ハ副總裁理事一名及ヒ金庫局長ノ面前ニ於テ之カ出納ヲ爲サシメ理事ハ其調書ヲ作リ總裁又ハ副總裁及ヒ金庫局長ト共ニ之ニ認印ヲ爲シ本書ハ文書局ニ藏メ其謄本一通ヲ金庫局長ニ渡スモノトス

然ルニ明治二十三年本行組織改正ニ伴ヒ同年九月三日金庫局處務規程ヲ制定シ國庫營業各部ノ取扱順序ヲ詳細ニ規定セリ該規程ノ全文ヲ掲クレハ左ノ如シ（書式缺）

金庫局處務規程

第一章　總則

第一條　金庫局ノ事務ヲ分ツテ國庫營業ノ二部トシ國庫金幷ニ營業金ノ出納事務ヲ取扱フモノトス

金庫ノ開閉ハ本行ニアルモノハ本行內金庫取締規則大藏省ニアルモノハ同省內金庫取締規則淺草ニアルモノハ淺草分庫取締規則ニヨリ取扱フモノトス

第二條　國庫金ノ出納ハ大藏大臣ノ指定セラレタル金庫時間內ニ於テス但シ金庫出納事務規程第二條但書ノ場合ニアツテハ時間ニ關ハラス其事務ヲ取扱フモノトス

第三條　營業金ノ出納ハ本行已定ノ時間內ニ於テス但シ金庫閉鎖後ニ於ケル收入金ハ別ニ定メタル金庫閉鎖後及休暇日收支金取扱順序ニ據リ其事務ヲ取扱フモノトス

第四條　金庫出納事務規程第二條但書ノ中央金庫時間外ニ於ケル支拂金取扱ハ別ニ定メタル金庫閉鎖後及休暇日收支金取扱順序ニ據リ取扱フモノトス

第五條　中央金庫ヨリ東京府下各廳ヘ派出ノ上其事務ヲ取扱フハ大藏大臣ノ令達ニヨリ金庫局

員又ハ特ニ契約アル他銀行員トス

第二章　事務分掌

第六條　國庫部ニ於テ分掌スヘキ事務ノ種類ハ概ネ左ノ如シ

一　中央金庫現金ノ收納及仕拂
一　納入告知書及現金拂込書ノ取扱
一　監守證及保管證書ノ取扱
一　返納告知書及郵便爲替過超金振替受入證書ノ取扱
一　本金庫廻送金ノ收支中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリノ回送金並ニ各廳申込ニ關ハル現送金ノ取扱
一　仕拂命令書、仕拂請求書、雜部引出切符、集合仕拂命令若クハ集合仕拂請求書ノ領收證ニヨリ現金ノ支拂ニ對スル取扱
一　中央金庫派出現金收支ノ取扱
一　損傷紙幣ノ交換並ニ各地本金庫ヨリ送納ニ係ル取扱
一　贋造貨幣鑑定並ニ流通不便貨幣ノ取扱
一　中央金庫ニ屬スル簿記並ニ諸報告表ノ調製
一　天保通寶並ニ琉球通寶ノ交換取扱

第七條　營業部ニ於テ分掌スヘキ事務ノ種類ハ概ネ左ノ如シ

一　營業現金ノ收納及仕拂

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

一　古金銀ノ鑑定

一　紙幣交換並ニ各地代理店ヨリ送納ニ係ル取扱

一　手形地金銀ノ保管

一　營業部ニ属スル簿記並ニ諸報告表ノ調製

第八條　國庫部ヲ收納、仕拂、調査、派出取扱損傷紙幣取扱、集計、簿記方ノ七部ニ小別シ第六條ノ事務ヲ分掌セシムルモノトス

第九條　營業部ヲ收納、仕拂、鑑定交換、簿記方ノ四部ニ小別シ第七條ノ事務ヲ分掌セシムルモノトス

第三章　國庫部取扱順序

第一款　中央金庫收納部

第十條　納入告知書若クハ現金拂込書ヲ添ヘ納金アルトキハ之ヲ領收シ金庫出納事務規程第七條及第八條ノ順序ヲ爲スモノトス

第十一條　出納官吏現金取扱規則第十七條ニヨリ各廳收入官吏ヨリ監守證ノ送付ヲ受クルトキハ金庫出納事務規程第九條ノ順序ヲ爲スモノトス

但シ監守證ノ歳出金ニ振替得ラルヽモノハ國庫局第二課ノ通知ヲ得テ拂出シ若シ歳出金ノ監守證ニ超過スルトキハ更ニ現金ヲ營業局ニ送付シ之レニ對スル送金手形若クハ爲換手形ヲ得テ同課ニ送付スルモノトス

第十二條　前條收入官吏ノ監守證ヲ以テ振替拂ニナシ能ハサル場合ニ於テハ明治二十二年大藏省訓令第七十三號第二項第三項ニ據リ左ノ手續ヲナスモノトス

第一　監守證ニ對スル現金受取ノ爲メ毎月一回（毎月二十日迄ニ爲換拂ニナシ能ハサル監守證ヲ取纏メ翌月々首ニ於テ受取方ヲ執行シ遅クモ同月二十日マテニハ派出人ヲシテ金庫ニ歸着セシムルモノトス）内國通運會社ヲシテ當該收入官吏所在地ヘ派出（本文派出ハ該社ノ定期便ヲ以テシ特ニ派出ヲ委托スルニ及ハサルナリ）セシムルモノトス

第二　金庫出納事務規程第九條ノ別符付領收證書ヲ調製シ（領收證書ハ調製スルモ此時收入官吏ノ拂込ニ立テサルモノトス）之ニ監守證ヲ添ヘ内國通運會社ヘ交付シ之ニ對スル受取證書ヲ取リ置クモノトス

第三　内國通運會社ハ前項ノ證書ヲ取揃ヘ携帯シテ收入官吏ニ就キ之ト引換ニ現金ヲ受取リ中央金庫ヘ差出スヘキニ付之ヲ受取リ收入官吏ノ拂込（某年度歳入トシテ記帳スルモノ）ニ立テ曩ニ内國通運會社ヨリ受取リタル受取證書ヲ同社ヘ返付スルモノトス

第十三條　各廳主任官吏ヨリ雜部保管金ノ拂込アルトキハ其現金ヲ領收シ金庫出納事務規程第五號書式ノ保管證書ヲ調製シ該官吏ヘ交付スルモノトス

第十四條　返納人ヨリ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受クルトキハ之ヲ領收シ金庫出納事務規程第二十五條ノ順序ヲナスモノトス

特別會計ニ属スル返納告知ニ對シ返納金ヲ領收シタルトキハ追第壹號書式ノ領收報告書ヲ調製シ會計主務官ヲ經由シテ仕拂命令官ヘ送付スルモノトス

第十五條　遞信省爲換貯金局ヨリ金庫相互間回送金振替金取扱順序第四號書式ノ振替受入證書及同第十九條ノ領收證書ヲ以テ現金引換方請求アルキハ同取扱順序第十五條中ノ順序ヲナスモノトス

第十六條　各地本金庫ヨリ中央金庫ヘノ回送金ハ國庫局第一課ヨリ當該本金庫ヘ通知スルト同

時ニ其旨ヲ金庫局ヘ通知スヘクニ付追テ當該本金庫ヨリ送金手形若クハ現金到着セシトキハ其ノ通知ニ對照シテ之ヲ領收シ(現金取付ケタルトキハ其送金手形ノ分ハ)金庫相互間回送金振換金取扱順序書式第一號ノ領收證書ヲ調製シ當該本金庫ヘ送付スルモノトス

第十七條　中央金庫ニ屬スル支金庫ノ現在金ヲ中央金庫ニ取付クルトキハ國庫局第二課ヨリ當該支金庫ヘ通知シ之ト同時ニ其旨ヲ金庫局ヘ通知スヘクニ付追テ當該支金庫ヨリ現金ヲ持參セシトキハ之ヲ領收シ金庫相互間回送金振替金取扱順序書式第一號ニ準シタル領收證書ヲ調製シ當該支金庫ヘ交付スルモノトス

第十八條　各地本金庫ヨリ送納ニ係ル損傷紙幣ニシテ鑑定濟ニ係ルモノハ各送納書ニ據リ第一號書式ノ領收證ヲ發遣スルモノトス

第二款　中央金庫支拂部

第十九條　令達ニヨリ中央金庫ヨリ各地本金庫ヘ回送スヘキ通知ヲ國庫局第一課ヨリ受クルトキハ金庫相互間回送金振替金取扱順序第二條中ノ順序ヲナシ第二號書式ノ回送金通知書ヲ回送先ノ金庫ヘ發送スルモノトス

第二十條　各地本金庫ヨリ前條回送金ノ領收證書到達スルトキハ調査ノ上第二號書式ノ原符ニ到達月日ヲ記入シ國庫局第二課ヘ送付スルモノトス

第二十一條　在外各公使領事館ヘ向ケ送金ヲ要スヘキ仕拂命令ヲ國庫局第二課ヨリ送付スルトキハ該公使領事ノ預リ金受入證書ニ對シ第三號書式ノ領收證書ヲ以テ回送ノ取扱ヲナスモノトス」

本條仕拂命令ハ國庫局第二課ニ就キ案內仕拂命令ニ照査ノ上前項ノ手續ヲナスモノトス

第二十二條　金庫所在地外ノ債主ヘ送金ヲ要スル連續ノ按內及仕拂命令若クハ請求書ヲ國庫局第一課ヨリ送付スルトキハ集計方ニ於テ正算ノ上普通仕拂ノ順序ヲナシ其振換納ニ屬スルモノハ更ニ之レカ納入ノ順序ヲナスモノトス

本條現送ニ關ハル遞送取扱人ヨリ差出スヘキ領收證書ハ文書方ニ於テ保管スルモノトス

第二十三條　國庫局第二課ヨリ照査濟ノ仕拂命令及仕拂請求書雜部引出切符若クハ集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ對スル領收證書等ヲ受クルトキハ集計方ニ於テ調査ノ上切符面ノ金額ヲ受取人ニ交付スルモノトス

現金交付ノ際ニハ金庫出納事務規程第十三條及第十六條ノ末文ニヨリ現金交付濟何年何月何日操上計算ノ印ヲ押捺スルモノトス

第二十四條　大藏省訓令第百十三號官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序第二條ノ仕拂命令仕拂請求書若クハ集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ對スル領取證書ヲ國庫局第二課ヨリ照査濟ノ上送付アルトキハ切符面特ニ記載シアル現金支給高ヲ受取人ニ交付シ前條第二項ノ手續ヲナスモノトス

第二十五條　仕拂濟ニ係ル第廿三條ノ領收證書若クハ第廿四條ノ仕拂命令(請求書)及領收證書ハ集計方ニ於テ第四號第五號書式ノ集計書ヲ添付シ現金支給高幷ニ國庫納金高ヲ各自合算シ簿記方ニ送付ノ手續ヲナスモノトス

第二十六條　官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序第二條第三項ニ揭ケアル金庫所在地外ノ債主ヘ送金スル場合ニ於テモ國庫納金高ハ前條ノ集計書ニ加算スルモノトス

第二十七條　交換濟ニ係ル天保通寶ヲ大阪本金庫ヘ回送スルトキハ郵船會社ノ定期便等ヲ以テ現送ノ手續ヲナシ第十九條末項ニ揭ケタル第二號書式回送金通知表ヲ發送スルモノトス

第二十八條　仕拂命令仕拂請求書規定ノ領收證書引出切符及仕拂切符ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルトキノ支拂ニ係ル債主ノ受取證書ヲ國庫局第二課ヨリ照査ノ上會計主務官ノ署名捺印セシ該債主ノ屆書ト併セテ送付アルトキハ第二十二條ノ取扱ヲナスモノトス

第二十九條　前條ノ受取證書ニシテ第四號及第五號書式ノ集計書ヲ添付スヘキモノハ其集計書ニハ受取證書何枚トシ會計主務官ノ署名捺印セル債主ノ屆書ト併セテ綴込ミ簿記方ニ送付ノ手續ヲ集計方ニ於テ取扱フモノトス

第三十條　金庫所在地外ノ債主ヘ現金ヲ以テ交付スルタメ內國通運會社若クハ三井銀行ヲシテ遞送セシメタル際債主ニ於テ會計主務官ヨリ交付セシ規定ノ領收證書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルニ付之ヲ徵スルヿ能ハサルトキハ現金ヲ交付セシメサラシムルモノトス

第三十一條　前條規定ノ領收證書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルニ付債主ヨリ屆出テタル屆書ヲ會計主務官ヨリ返付シ來タルトキハ國庫局第二課ヨリノ通知ヲ得テ更ニ現金ヲ遞送セシメ屆書ニ用ヒタル印章ト同一ナル印章ヲ押捺シタル受取證書及前ニ中央金庫ヨリ渡シ置キタル屆書ノ受取證書ト引替ニ現金ヲ交付セシムルモノトス

但印章ノ照合ニ要スルタメ遞送ノ際債主ノ屆書ヲ國庫局第二課ヨリ當該遞送人ヘ交付スルモノトス

第三款　中央金庫派出

第三十二條　中央金庫ノ派出ニシテ常ニ東京府下各廳ヘ派出スルモノ幷ニ臨時派出スルモノハ其ノ廳ニ於ケル收支現金ヲ各廳派出金錢取扱順序ニヨリ取扱フモノトス

第三十三條　前條派出人ヘ仕拂基金ヲ交付スヘキトキハ國庫局第二課ヨリ傳送ノ支拂傳票ニヨリ第六號書式ノ證印簿ニ記載證印セシメ現金ヲ交付スルモノトス但シ預金局派出ノ如キ特ニ仕拂基金ノ一定シテ日々出張スルモノハ本條ノ限リニアラス

附明治二十三年十月一日ヨリハ追第二號書式ノ證印簿ヲ用ユルモノトス

第三十四條　仕拂基金ノ殘額ヲ還納スルトキハ仕拂濟ノ證憑書ト差引計算之ヲ領收シ第六號書式證印簿還納額ノ欄內ヘ金庫局長又ハ筆頭書記檢印ヲ捺スルモノトス

臨時派出ニシテ仕拂殘額ノ戻入アルトキハ國庫局第二課ヘ通報スルモノトス

第三十五條　常派出人ヨリ派出先ニ於テ取扱ヒタル收支證憑書及日計書ノ交付アルトキハ何年何月何日計算ノ印ヲ押捺セシメ其ノ第四號書式ノ集計書ヲ添付スヘキモノハ其取扱ヲナサシメ支拂證憑ハ日計書ト共ニ國庫局第二課ノ調査ヲ受ケ收入ノ分ト合セテ同課ニ送付スルモノトス

第三十六條　派出先ニ於テ扱ヒタル收支金並ニ支拂基金ノ殘額ハ決算ノ上出納方ニ送付シ併セテ簿記方ヘモ報告スルモノトス

第三十七條　官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序第二條第三條ニヨリ派出人ヨリ仕拂濟ノ仕拂命令仕拂請求書及集合仕拂命令(請求書)ニ對スル領收證書幷ニ國庫納金引去高收入報告表ヲ受クルトキハ之ヲ調査シ第四號第五號書式ノ集計書ヲ調製セシメ國庫局第二課ノ照査ヲ得テ

簿記方ニ送付スルモノトス

第三十八條　各廳俸給ノ支拂ニ限リ派出スルモノニシテ前條支拂濟ノ仕拂命令（請求書）若クハ集合仕拂命令（請求書）ニ對スル領收證書ヲ受クルトキハ之ヲ調査シ第四號及第五號書式ノ集計書ヲ調製セシメ以下前條末文ノ順序ヲ爲スモノトス

第三十九條　各郵便電信局ヨリ收入金ノ通知書ヲ受クルトキハ各廳納入金通知留ニ記載シ同局納付書又ハ現金拂込書ト照合ノ手續ヲナスモノトス

第四十條　整備紙幣鑑定ノ爲メ大藏省國債局ヘ派出スルモノハ整備紙幣取扱手續ニヨリ取扱フモノトス

第四款　中央金庫簿記

第四十一條　中央金庫ニ屬スル現金ノ出納ヲ登記スルタメ左ノ帳簿ヲ設置シ簿記方ニ於テ管理スルモノトス

一　中央金庫現金受拂簿
一　中央金庫現金有高簿
一　中央金庫切手手形種類內譯簿
一　歲入金明細簿
一　歲出金明細簿
一　歲出仕拂未濟繰越金明細簿
一　作業歲入明細簿

一　作業歲出仕拂元金明細簿
一　鐵道歲入明細簿
一　鐵道歲出仕拂元金明細簿
一　官立學校及圖書館歲入明細簿
一　官立學校及圖書館歲出仕拂元金明細簿
一　雜部金受入明細簿
一　雜部金支出明細簿
一　監守證記入簿

第四十二條　中央金庫現金受拂簿ハ收支傳票若クハ各證憑書ニヨリ記入スルモノトス其書式第十一號ノ如シ

第四十三條　中央金庫現金有高簿ハ本行金庫大藏省內金庫及淺草分庫ニ區分シ本行金庫ニ係ルモノハ收納方及仕拂方ノ報告ニ據リ其收支金額ヲ集計登記シ又大藏省內金庫及淺草分庫ニ係ルモノハ各庫受拂報告ニヨリ收支金額ヲ登記スルモノトス其書式第十二號ノ如シ

第四十四條　中央金庫切手手形種類內譯簿ハ收納及仕拂方ノ報告ニヨリ其出入額及交換額ヲ集計登記スルモノトス其書式第十三號ノ如シ

第四十五條　歲入金明細簿作業歲入明細簿並ニ官立學校及圖書館歲入明細簿ハ各年度毎ニ之ヲ設置シ各取扱廳及各收入官吏ヲ區分シ現金收入濟ノ納入告知書現金拂込書若クハ第二十五條ノ國庫納金高集計書ニ據リ收入額ヲ登記スルモノトス其書式第十四號ノ如シ

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第四十六條　鐵道歲入明細簿ハ各年度毎ニ之ヲ設置シ各取扱廳及各收入官吏ヲ區分シ各地本金庫ヨリ送付スル鐵道歲入報告表ニヨリ其收入額ヲ登記スルモノトス其書式第十五號ノ如シ

第四十七條　歲出金明細簿ハ各年度毎ニ之ヲ設置シ各主管廳及各仕拂命令官ヲ區分シ現金交付濟ノ仕拂命令並ニ集合仕拂命令ニ對スル領收證書ニ據リ其支出額ヲ登記スルモノトス其書式第十六號ノ如シ

第四十八條　歲出仕拂未濟繰越金明細簿ハ各年度毎ニ各主管廳及各仕拂命令官ヲ區分シ現金交付濟ノ相當年度繰越ニ係ル仕拂命令若クハ集合仕拂命令ニ對スル領收證書ニヨリ其支出額ヲ登記スルモノトス

但廿二年度歲出仕拂未濟繰越金明細簿ニ限リ各取扱廳及會計主務官ヲ區分シ仕拂切符ニヨリ登記スルモノトス

第四十九條　作業歲出仕拂元金明細簿鐵道歲出仕拂元金明細簿幷ニ官立學校及圖書館歲出仕拂元金明細簿ハ各年度毎ニ之ヲ設置シ各主管廳及各仕拂命令官ヲ區分シ組替請求書若クハ組替令達書ニ據リ其元受金額ヲ登記シ現金仕拂濟ノ仕拂請求書及集合仕拂請求書ニ對スル領收證書ニ據リ其支出額ヲ登記スルモノトス其書式第十七號ノ如シ

第五十條　雜部金受入明細簿ハ保管預リニセシモノハ各仕拂命令官毎ニ區別シ保管證書ノ原符若クハ返納告知書ニ據リ領收セシモノハ各廳出納官吏毎ニ又返納告知書ニ據リ領記スルモノトス其書式第十八號ノ如シ

第五十一條　雜部金支出明細簿ハ各取扱廳及各出納官吏ヲ區別シ雜部金引出切符若クハ現金引換濟ノ保管證書ニヨリ其支出額ヲ登記スルモノトス其書式第十九號ノ如シ

第五十二條　監守證記入簿ハ各收入官吏ヲ區分シ該收入官吏ヨリ送付スル監守證ニ據リ其受領額ヲ登記シ追テ歲出金ヘ振替ヲナストキハ其事由ヲ記入スルモノトス其書式第二十號ノ如シ

第五十三條　前數條ノ諸帳簿若クハ各地本金庫及中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ送付スル報告表並ニ振替證書等ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スルモノトス其書式第二十一號乃至第三十五號及追第四號ニ示スカ如シ

一　國庫金受拂日計表
一　歲入金日計表
一　歲出金日計表
一　歲出仕拂未濟繰越金支出日計表
一　作業歲入收支日計表
一　作業歲出仕拂元金收支日計表
一　鐵道歲入收支日計表
一　鐵道歲出仕拂元金收支日計表
一　官立學校及圖書館歲入收支日計表
一　官立學校及圖書館歲出仕拂元金收支日計表
一　雜部金收支日計表
一　回送及振替金受拂日計表

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

一　支金庫回送金受拂日計表
一　預金部收支日計表
一　預金拂戻部收支日計表
一　天保通寶交換日計表
一　銅貨現在高內譯報告表
一　洋銀及外國貨幣現在高報告表
一　歲入國庫納金引去高收入報告表

第五十四條　前條第一項ヨリ第十六項マテノ各日計表ハ國庫局第二課ニ送付シ第十七項及第十八項ノ報告表ハ同局ヲ經由シテ大藏省ニ末項歲入國庫納金引去高收入報告表ハ官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序第三條ニヨリ直チニ各廳收入官吏ニ送付シ其證憑書類等ハ都テ國庫局第二課ヘ送付スルモノトス

第五款　損傷紙幣取扱

第五十五條　中央金庫ニ於テ取扱フヘキ損傷紙幣ノ種類ハ左ノ二種トス

一　政府發行壹圓以上紙幣
一　仝　五拾錢半圓及貳拾錢紙幣

第五十六條　政府發行壹圓以上紙幣ハ二十三年五月廿日大藏大臣達第二一四六號損傷紙幣交換手續五拾錢半圓及貳拾錢紙幣ハ第一一一四號大藏大臣達五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續ニ據リ取扱フモノトス

第五十七條　紙幣交換方ハ壹圓以上紙幣ハ銀券局ニ就キ銀貨若クハ兌換銀行券ト五拾錢半圓及貳拾錢紙幣ハ五拾錢貳拾錢ノ整備紙幣ヲ以テ交換スルモノトス但シ半額交換ニ屬スルモノ通シテ拾錢又ハ五錢ノ端數ヲ生スルトキハ補助銀貨又ハ白銅貨ヲ以テ交換スルモノトス

第五十八條　第五十五條ニ揭ケタル紙幣ノ交換請求アルトキハ損傷紙幣交換規則ニヨリ鑑定計查ノ上第五十七條ノ區別ニヨリ取扱ヒ卿印及中央數位打拔ノ手續ヲ了スルモノトス

第五十九條　損傷紙幣交換規則ニ照準シカタキモノ或ハ燒損等ノタメ交換額決シカタキモノハ交換請求人ヘ其旨ヲ示シ同規則第十條ニ據ツテ取扱フモノトス

第六十條　打拔濟損傷紙幣ハ適宜取纏メ其種類枚數金額等ヲ銀券局ヘ通知シ銀券局ニ於テハ預リ證ヲ交付シ五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續第二條ノ手續ヲ了スルモノトス

銀券局ヨリ代リ金ノ交付アルトキハ曩キニ受取リタル預リ證ト引換國庫現金有高ヘ補塡スルモノトス

第六十一條　鑑定ノ際贋造變造ニ關ハル紙幣ヲ發見シタルトキハ明治九年太政官第五十七號布告同年大藏省甲第十二號達ニヨリ處分シ搆改手入未整紛失見本等ノ無效紙幣ヲ發見シタルトキハ直チニ銀券局ニ通知シ銀券局於テ五拾錢半圓及貳拾錢損傷紙幣交換手續第六條ノ順序ヲ爲スモノトス

第六十二條　各地本金庫ヨリ打拔濟損傷紙幣及之ニ屬スル卿印若クハ數位ノ紙片送納アルトキハ鑑定計查ノ上國庫局第一課ヘ通知シ通貨ト見做シテ收納シ第壹號書式ノ領收證ヲ發送シタル後第六十條ノ手續ヲ爲スモノトス

第六十三條　各地本金庫ヨリ送納ニ關ル壹圓以上損傷紙幣ハ之ニ屬スル卿印若クハ數位ノ紙片

到達スルヲ待テ第五十七條ノ順序ヲナスモノトス

第六十四條　損傷紙幣ニシテ交換額決シカタキモノアリ各地本金庫ヨリ現紙幣ヲ添ヘ伺出アルトキハ便宜第七號書式ノ預リ證ヲ交付シ交換額ヲ指示スルモノトス

中央金庫ニ於テ尚ホ決シカタキモノハ大藏大臣ヘ伺出交換額ノ指令ヲ乞フモノトス

第六十五條　各地本金庫ヨリ送納ニ係ル損傷紙幣ニシテ過不足ヲ告クル場合アルトキハ二十三年六月六日伺濟ニ從ヒ其金額ヲ營業局第二課ニ通知シ營業部爲換尻ニ振替雜勘定書ヲ以テ當該金庫ヘ通知シ計算ヲ了スルモノトス其半額ニ交換スヘキヲ全額ニ及全額ニ交換スヘキモノヲ半額ニ見誤リタル分ニ於ケルモ亦本文ニヨルモノトス

第六十六條　各地本金庫ヨリ送納及中央金庫取扱ニ關ハル損傷紙幣ノ受拂ヲ計算スルタメ第八號書式ノ損傷紙幣種類別差引簿ヲ設置シ之カ整理ヲナスモノトス

第六十七條　損傷紙幣種類別差引簿ハ紙幣及新紙幣ヲ區別シ尚ホ其種類ヲ細別シ交換ノタメ受入レタルトキ若クハ各地本金庫ヨリ送納セシトキ之ヲ借方欄内ニ銀券局ヨリ大藏省ニ納付シタルトキ之ヲ貸方欄内ニ登記シ差引其殘高ヲ掲ケ置クモノトス

第六款　貨幣鑑定並交換取扱

第六十八條　各廳ヨリ本邦貨幣ヲ送付シテ之カ眞贋鑑定ヲ請求スルトキハ明治二十三年五月十三日第二〇五一號大藏大臣達貨幣鑑定及登記手續ニヨリ取扱フモノトス

第六十九條　鑑定ノ上其貨幣眞貨ナルトキハ其旨ヲ記載シテ之ヲ請求先各廳ニ返付シ若シ贋造品ナルトキハ其眞貨ニ異ナル所以ヲ詳記シタル鑑定書ヲ調製シ第九號書式ノ贋造貨幣登記簿ニ登記ノ上現品ト共ニ其鑑定書ヲ請求先各廳ヘ送付スルモノトス但シ警保局ノ請求ニ係ル分ニ限リ該鑑定書ヘ登記簿ト同一ノ符號ヲ記入スルモノトス符號ハ一號ヨリ以下數字ヲ以テ逐次付記スルモノトス

第七十條　鑑定上若シ分析試驗ヲ爲スニ非サレハ判定シカタシト認ムルトキハ其旨ヲ記載シ現品ヲ請求先各廳ヘ返付スルモノトス

第七十一條　各廳ヨリ請求スルモノヽ外中央金庫ニ於テ諸納金ノ中ヨリ贋造品ヲ發見シタルトキモ亦前條登記簿ニ登記スルモノトス

鑑定ノ形狀ヲ登記スルニ當リ先ニ已ニ登記シアルモノト同手ニ成リタルモノト認ムルトキハ其符號ノ部ニ記入スルモノトス

第七十二條　警保局ヨリ送付ノ分ニ付テハ已ニ鑑定ヲ經タル贋造品ト同手ニ成リタルモノト認ムルトキハ其鑑定書ニハ先ニ發見シタル符號及其要領ヲ記入スルモノトス

第七十三條　流通不便貨幣ノ金銀銅貨ヲ交換請求スルモノアルトキハ明治廿二年二月大藏省令第三號ニ據リ左ノ區別ニヨリ交換取扱フモノトス

一　量目減少セサルモノ　全額

一　量目減少セルモノ　現存價格

第七十四條　前條流通不便貨幣ハ第十號書式ノ流通不便貨幣交換勘定帳ニ貨幣種類別ニ記入整理シ置クモノトス

第七十五條　天保通寶幷ニ琉球通寶ノ交換ヲ請求スルモノアルトキハ其請求書ヲ徵シ天保通寶

交換手續ニヨリ交換取扱フモノトス

第四章　營業部取扱順序

第一款　收納支拂及古金銀鑑定

第七十六條　現金ノ收支ハ定式ノ鑑定計査ヲナシ其收納幷ニ仕拂傳票ヘ收入濟又ハ仕拂濟ノ印章ヲ押捺シ帳簿ヘ登記ノ上仕拂人又ハ受取人ヲシテ其主務局ヘ返付セシムルモノトス

第七十七條　現金ト見做シ收入セル手形及小切手類ハ其支拂銀行ノ本行ト當座勘定取引アルモノハ直チニ營業局第二課ヘ送付シ現金ノ拂出ヲ請求ス其取引ナキ銀行手形ハ直チニ現金ヲ取付クルモノトス但シ當座勘定貸借上ニ付其日ニ取引ヲ了セサル場合アルトキハ收納金ノ種類ハ手形トシテ決算シ置クモノトス

第七十八條　當座勘定取引アルモノニ限リ各廳仕拂命令(請求書若クハ雜部引出切符ヲ以テ現金代リトシテ收納スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ先ツ營業局第二課ノ調査ヲ受ケシメ更ニ國庫局第二課ノ照査ヲ得テ中央金庫ヨリ現金ヲ受取ルモノトス若シ國庫局第二課於テ照査シ能ハサル事故ノアルトキハ營業局第二課ヘ返付シ更ニ現金ノ交付ヲ請求スルモノトス

第七十九條　中央金庫ヘ納入スヘキ送金手形ノ送附アルトキハ其支拂銀行ニシテ本行ト當座勘定取引アルモノハ前條ノ手續ニヨリ營業局第二課ヘ送付シ現金ノ交付ヲ得テ中央金庫ヘ納付スルモノトス若シ其當座勘定取引ナキモノハ直チニ現金ヲ取付クルモノトス

第八十條　內閣官報局ニ限リ送金手形又ハ小切手類ヲ以テ現金取立方依賴アルトキハ前條ノ手續ヲナシ現金取立ノ旨ヲ通知ス官報局ハ右通知書ヲ以テ中央金庫ノ納入金トナスモノトス

第八十一條　地金銀並ニ古金銀ヲ鑑定檢査ノ爲メ取扱局ヨリ送付アルトキハ其通知書ニヨリ綿密ニ之ヲ鑑定シ該通知書ニ證印ヲ捺シ之ヲ返付スルモノトス

第二款　紙幣交換

第八十二條　大藏大臣ノ命任ニヨリ交換スヘキ紙幣ハ左ノ三種トス

一　政府發行壹圓以上紙幣同損傷紙幣
一　同　五拾錢以下紙幣
一　鎖店銀行紙幣

第八十三條　鎖店銀行紙幣ハ左ノ四種トス

一　飯山第二十四國立銀行發行紙幣
一　大阪第二十六國立銀行　仝　上
一　須賀川第百八國立銀行　仝　上
一　大阪第百二十六國立銀行　仝　上

第八十四條　紙幣交換方ハ左ノ區別ニヨリ取扱フモノトス

一　政府發行壹圓以上紙幣同損傷紙幣ハ　壹圓銀貨　補助銀貨　又白銅貨
一　同　五拾錢以下紙幣ハ　通　貨
一　鎖店銀行紙幣ハ

第八十五條　交換ヲ請求セシ紙幣ニシテ損傷ニ係ルモノハ政府發行紙幣ハ明治十年大藏省布達乙第二十一號損傷紙幣交換規則ニ鎖店銀行紙幣ハ國立銀行成規損壞銀行紙幣引換方之部第二

十四條（明治十二年第三號布告ヲ以テ改正）ニヨリ取扱フモノトス

第八十六條　交換濟ノ紙幣ニシテ政府發行ニ係ルモノハ大藏卿ノ印章若クハ中央數位ヲ打拔キ翌月二十五日限リ鎖店銀行紙幣ハ其表面及裏面ニ廢棄ノ印ヲ押捺シ翌月五日限リ銀券局ヘ通知シ銀券局ニ於テ還納ノ手續ヲナスモノトス

第八十七條　各地代理店ヨリ送納ニ係ル前條ノ手續ヲ了シタル紙幣ニシテ銀券局ヨリ轉送アルトキハ鑑定計查ノ上銀券局ニ於テ還納ノ手續ヲ了スルモノトス

第八十八條　本款取扱順序ニ掲記セサル他ノ事項ハ第三章第五款損傷紙幣取扱ノ順序ヲ適用スルモノトス

第三款　營業部簿記

第八十九條　營業部ニ屬スル現金ノ出納ヲ登記スルタメ左ノ帳簿ヲ設置シ簿記方ニ於テ管理スルモノトス

一　收納帳
一　仕拂帳
一　金銀有高內譯帳
一　兌換券有高內譯帳
一　金庫出納帳
一　保管地金銀出納帳
一　他店切手手形記入帳

第九十條　收納帳及仕拂帳ハ收支兩傳票ニヨリ登記シ收納帳ハ其締高ヲ現金ト對照シ仕拂帳ハ收納帳締高ヲ前日差引殘高ヘ加算シ當日仕拂締高ヲ差引殘高ヲ以テ現金有高ニ對照スルモノトス其書式第三十六號ノ如シ

第九十一條　金銀有高內譯帳ハ一ハ中央金庫及營業ノ有高ヲ合計金種類區別ノ上一ハ官金銀券局營業金ノ三口座ヲ設ケ各自ノ有高ヲ金種類區別ノ上記入スルモノトス其書式第三十七號ノ如シ

第九十二條　兌換券有高內譯帳ハ中央金庫及營業部ノ兩出納高並ニ前日ノ有高ヲ種類別ノ上記入シ差引當日ノ殘高ヲ掲記スルモノトス其書式第三十八號ノ如シ

第九十三條　金庫出納帳ハ庫中金銀ノ出入アル都度其金額ヲ登記スルモノトス其書式第三十九號ノ如シ

第九十四條　保管地金銀出納帳ハ營業局第二課ヨリ送付スル地金銀預ケ入證印簿ヨリ當日ノ出納ヲ記入スルモノトス其書式第四十號ノ如シ

第九十五條　他店切手手形記入帳ハ其受取先振出人及名宛人等ヲ一枚毎詳細ニ記入シ置キ他日該切手手形ヲ現金ト引換ヘタルトキハ摘要欄內ヘ現金引換濟ノ旨ヲ記入スルモノトス其書式第四十一號ノ如シ

第九十六條　中央金庫及營業部ノ現金出納ヲ計算局ヘ報告スルタメ第四十二號書式ノ日計表ヲ調製スルモノトス

第九十七條　前條ノ外每週追第五號書式ノ報告表ヲ調製シ計算局ヘ送付スルモノトス但シ該報

告表ハ前條ニ揭ケタル第四十二號書式ノ日計表一週間ノ合計ト符合スルモノトス

第五章

第九十八條　國庫部及營業部取扱ニ於ケル收支ヲ總括セシムルタメ別ニ出納方ヲ置キ金銀ノ出納並ニ日々ノ總勘定ヲ決算セシムルモノトス

第九十九條　金庫局ニ別ニ文書方ヲ置キ往復文書ノ整理、取扱規則ノ編纂及ヒ第二章國庫部ニ屬スル事務ヲ分掌取扱ハシムルモノトス

第百條　新タニ處務規程ノ追加必要ノ生スル場合若クハ改正削除ヲ要スルトキハ伺濟ノ上本規程ヲ增減スルモノトス

右處務規程ノ制定ニ依リ現金ノ保管出納事務ハ稍整理ニ就キタルモ尙未タ十分ナラサルモノアルヲ以テ同年十二月金庫局ニ於ケル金庫ノ取締及事務ノ分掌ニ關スル改正意見ヲ左ノ如ク伺定シ二十四年一月ヨリ實施セリ

金庫局事務改正見込

大體ニ就テノ改正

一　本行內金庫取締規則第五條ニ據リ金庫局長管守スル所ノ第二號第三號第六號第七號ノ金庫ノ鎖鑰ヲ從來鍵箱ニ藏メ筆頭書記封印ヲ爲シ文書局ヘ委托シ同局所管ノ鐵匣ニ藏メ保管セリ右ニテハ金庫局長責任ノ義務ヲ盡サヽルモノト云フ可シ依テ金庫局專用ノ鐵匣ヲ備ヘ右ヘ主管ノ金庫鎖鑰ヲ藏メ該銀匣ノ鍵二箇ノ內一箇ハ金庫局長ニ於テ又壹箇ハ筆頭書記ニ於テ常時保管スル事ニ致度候

一　金庫ノ封緘ハ從來其日ニ數回金庫ヲ開閉スルモ之レカ封緘ヲ爲サス其日ノ終リニ於テ其封緘ヲ爲スコトニナリ居ルモ右ニテハ取締上懸念少ナカラサルニ付開閉ノ時々一日ニ何ケ度ニテモ封緘ヲ爲スコトニ致度候

又右封緘ハ筆頭書記ト金庫監査役ト合緘致シ居レモ本行內金庫取締規則第六條ニ金庫局長金庫監査役ノ印章ヲ以テ封緘ストアルニ依リ以來ハ右ノ如ク必ラス金庫局長ト金庫監査役トノ合封ニ致シ度就テハ右封緘用紙ヲ別紙ノ如ク改正致度候

但シ本文ノ如クナスモ金庫ノ開閉ニ臨ムハ筆頭書記代理ヲ爲スハ妨ケナキモノトス

又是迄金庫監査役ハ朝夕開閉ノ時ノミニ立會シ例ナレモ右ニテハ有名無實ニ付以來ハ開閉ノ時ニ何ケ度ニテモ立會ヲニ致度候

一　本行內金庫取締規則第十三條ノ趣旨ニ依リ毎月一日必ラス總裁ノ臨檢ヲ請フヲニ致シ度候

一　金庫局ノ事務分科ヲ左ノ如ク改正致度候

一　現金總括方

右現金總括方ハ金庫ノ出入幷ニ中央金庫派出員收支取扱等ニ關スル事ヲ掌ルモノトス

二　收納方

中央金庫收納方

營業部收納方

三　仕拂方

中央金庫仕拂方

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

營業部仕拂方

四　簿記方

中央金庫簿記方

營業部簿記方

五　損傷札古金銀鑑査方

六　中央金庫仕拂證書受付方

一　前項分科ノ座席ハ別紙粗繪圖面ノ通リ(略之)區畫致シ度候右圖面ノ如ク判然區畫スルトキハ譬ヘハ現金ヲ取扱フ者ト事務ヲ執ルモノト判然區分アルカ故ニ若シ現金ト帳簿ト計算齟齬スルコトアルモ何レカ一方ノ非ナル方ノミ居殘リ是ナル方ハ退行スルモ敢テ不取締ノ懸念無之現金取扱上肝要ノ事歟ト被存候

但現金取扱場所ニハ猥リニ他人ノ入込マサル樣其入口ニ標札ヲ掲ケ置キ自然公務上ニ應接スヘキ者ハ其入口外ニ於テナスモノトス

右ハ從來ニ比シ費用モ相增シ無益ノ樣ニ考ヘラレ候得共右ノ如ク爲シ置クヲ現金取扱場所ヘ他人入リ交リタルトキ直ニ之ヲ識別シ得ルノミナラス取締上幾分歟安全ニシテ且ツ外見體裁上大ニ宜シキヲ得世上ニ對シ日本銀行ノ信用益々厚カラシメ一擧兩全ノ事ト被存候

執務手續上ニ就テノ改正

一　金庫現金物品ノ出入ハ必ス現金總括方ニ於テ擔當スルモノトシ他ノ局員ハ金庫局長又ハ筆頭書記ノ命ニ依ルニアラサレハ之ニ關係セサル樣致度候

又從來金庫內部ニモ本行守衞立入候得共右ハ取締上ニ關シ不都合ニ付以來守衞ハ外部ノミヲ守護シ平常金庫內部ニ立入ラサル樣致度候

但臨時事故等ノ爲メ金庫內部ニ守衞ヲ要スルトキハ此限ニアラス

一　前項金庫現金物品ノ出入ハ必ラス帳簿ニ其員額物品ノ種類等ヲ登記シ出入ノ都度金庫戶口ニ於テ帳簿ト現物ト對照スル樣致度候

右帳簿ヲ區分調理スルコト概ネ左ノ如シ

一　金庫出入簿

是ハ物品ヲ出入スルトキ其物品ハ總テ現金總括方ニ於テ擔當シ右出入簿ヘ登記スルモノトス其書式別紙第一號ノ如シ

二　納金簿

是ハ收納方ニ於テ其當日ニ領收セシ現金種類ヲ區分シ各其金額ヲ掲ケ其函數ヲモ登記スルモノトス其書式別紙第二號ノ如シ

三　仕拂基金授受簿

是ハ仕拂方ニ於テ其當日仕拂基トシテ金庫ヨリ受取タル現金種類ヲ區分シ各其金額ヲ掲ケ又其當日仕拂タル金額ヲ掲ケ差引シテ其殘額ヲ登記スルモノトス其書式別紙第三號ノ如シ

一　現金總括方ニ於テハ各金庫毎ニ一覽表ヲ調製シ金庫外ニ居テ常ニ庫中現金等排置ヲ一目明瞭ナラシムル爲メ特ニ調製スルモノトス其記式別紙第四號ノ如シ

右ハ從來ニ比シ大ニ手數ヲ勞スル嫌ナキ能ハスト雖モ金庫整理上缺ク可ラサルモノニ付以來

必ラス調製致度候

右一覧表ヲ調製スル場合ニハ納金簿及仕拂基金授受簿ニ據リ函詰ニ爲セシモノハ其函ノ番號金額等挿シ紙ニ認メ右一覧表ヘ挿入シ毎日ノ終ニ於テ其挿シ札ノ金額ヲ合計シテ帳簿ニ照合シ且時々現物ト對査スヘキ樣致度候

一　現金總括方ニ於テハ計算上整理ノ爲メ便宜左ノ帳簿ヲ備ヘ其計算ヲ明瞭ナラシムルコトニ致度候

一　金庫現金細種類別差引簿

是ハ中央金庫幷ニ營業部總體ノ現金ニ就キ其細種類ヲ區別登記シ其計算ヲ明瞭ナラシムルモノトス其書式別紙第五號ノ如シ

二　金庫別差引簿

是ハ各金庫別ニ其出入セシ金額ヲ登記スルモノトス其書式別紙第六號ノ如シ

一　現金總括方ニ於テハ前項ノ帳簿ニ據リ左ノ計表ヲ調製シ毎翌日金庫局長ヘ呈出候樣致度候

一　金庫殘高細種類別表

是ハ金庫現金細種類別差引簿ニ據リ毎土曜日ニ其殘額ヲ登記スルモノトス其書式別紙第七號ノ如シ

二　金庫別殘高表

是ハ金庫別差引簿ニ據リ毎日其殘額ヲ登記スルモノトス其書式別紙第八號ノ如シ

一　收納方（中央金庫ト營業部ト兩方ヲ云フ）ニ於テ毎日領收セシ現金ヲ函詰ニナストキハ筆頭書記立會ノ上其函詰ヲナシ別紙第九號書式ノ入記ヲ製シ函詰人兩名署名捺印シ尙筆頭書記ノ檢印ヲ得テ入函シ此函ニハ筆頭書記ノ封緘ヲナスモノトス其封緘用紙ハ別紙ノ如ク改正致度候

又函詰ヲナス者ハ必ラス二人ト極メ置其內一人ハ收納方首席者（中央金庫ノ分ナレハ其首席者又營業部ナレハ其首席者ヲ云フ）

一　前項ノ如ク函詰ヲナシ其函ノ小口ニ其金額種類ヲ標記スルモノトス其用紙ハ中央金庫ト營業部ノ分ヲ一見シテ識別シ易キ樣中央金庫ノ分ハ白色紙營業部ノ分ハ青色紙ヲ用フル樣致度候

一　本行各局ヨリ發スル收支傳票ニ往々見惡キ數字アリ之レカ爲メ計算ヲ誤ルコトナキヲ保セス故ニ金員ニ用フル數字ハ可成精確ヲ要ス殊ニ一二三十ノ如キハ壹貳參拾ノ重畫ヲ用フルコトニ致度候尤モ各局ヘノ御達案ハ別ニ相伺可申候

第壹號書式

第何號 ——金庫ノ番號ナリ

金庫出入簿

金庫局

現金總括方

何月何日入庫 ㊞ ——筆頭書記ノ檢印

一	簞笥	壹個 ㊞ ——現金總括方主任印
	但何々書類入	
一	革嚢	壹個 ㊞ 仝上
	但現金何千何百圓入	
一	狀箱	壹個 ㊞ 仝上
	但何々入	

何月何日出庫 ㊞ ——筆頭書記ノ檢印

一	簞笥	壹個 ㊞ ——現物品ヲ受取タル主任印
	但何々書類入	
一	狀函	壹個 ㊞ 仝上
	但何々入	
一	文庫	壹個 ㊞ 仝上
	但何々入	
一	莚包	壹個 ㊞ 仝上
	但損傷紙幣入	
一	麻袋	壹個 ㊞ 仝上
	但壹圓銀貨貳千圓入	

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第貳號書式

（中央金庫）部納金簿

（中央金庫）部

收納方

備考

一　營業部モ之ニ準ス

二　函數ノ冒頭ニハ現金總括方ニ於テ其藏置スヘキ金庫ノ番號印ヲ押捺スルモノトス

何月何日㊞（筆頭書記ノ檢印）

一金何拾何萬圓㊞（收納方主任印）

內譯

金貨何千圓㊞

壹圓銀貨何千圓㊞

紙幣何拾萬圓㊞

銀券何萬圓㊞

〆

此函數

受入

第何號金庫入				
紙幣何萬圓入第何號	箱ノ番號ナリ（以下皆同シ）	壹	個㊞	現金總括方主任印
全上	同　何萬圓入第何號	壹	個㊞	全上
全上	同　何萬圓入第何號	壹	個㊞	全上
全上	銀券何萬圓入第何號	壹	個㊞	全上
全上	金貨何千圓入第何號	壹	個㊞	全上
全上	壹圓銀貨何千圓入第何號	壹	個㊞	全上

〆

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第三號書式

（中央金庫）部

仕拂基金受簿

（中央金庫）部

仕拂方

備考

一　營業部モ之ニ準ス

二　現金ノ種類二種以上アルトキハ各其種類ヲ明記シ其金額チ内譯ニ記載スルモノトス

三　仕拂基受及還納金額ノ冒頭ニハ現金總括方ニ於テ其出入スヘキ金庫ノ番號印ヲ押捺スルモノトス

何月何日　㊞　筆頭書記ノ檢印　（以下之ニ同シ）

第何號金庫出　一金何拾何萬何千圓㊞　仕拂基受

内

金何拾萬圓㊞　仕拂方主任印（以下之レニ仝シ）　本日仕拂

殘

第何號金庫入　金何萬何千圓㊞　現金總括方主任印　還納

但簞笥壹個

何月何日㊞

第何號金庫出　一金何萬何千圓㊞　仕拂基受

仝　上　一金何拾萬圓㊞　同上

又ハ收納方ヨリ振換タルキニ

收納方ヨリ振換　合計何拾何萬何千圓

内

金何萬何千圓㊞

殘

第何號金庫入　金何拾萬圓㊞　本日仕拂

但何萬圓入箱

何萬圓入簞笥

還納

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

壹個㊞……現金總括方主任印

壹個㊞……同上

第四號書式

第何號

金庫一覽表

備考

此挿シ札ハ一箱ニ付一枚宛調製スルモノトス但金銀貨ノ如キハ此限ニアラス

此一覽表ノ末尾ニ其總計ヲ付シ各種類ヲ區分シ置クモノトス

庫中棚ヘ積置クモノハ此書式ノ如ク其段毎ニ挿シ札ヲ製シ又庫中ノ土間ニ積置クモノハ之ニイロハ記號ヲ付シ挿シ札モ其記號ニ從ヒ一枚ニ製スルモノトス

い號		ろ號
一段		一段
1, 號 兌換券	35,000	
2, 號 紙幣	100,000	
3, 號 銀行紙幣	50,000	
二段		二段
10, 號 兌換券	40,000	
7, 號 兌換券	70,000	
9, 號 紙幣	100,000	

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第七號書式　明治何年何月金庫殘高細種類別表

金庫局長筆頭書記

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

種類	金額 円	錢	厘
金貨			
貳拾圓			
拾圓			
五圓			
貳圓			
壹圓			
金地金			
計			
壹圓銀貨			
補助銀貨			
五拾錢			
貳拾錢			
拾錢			
五錢			
計			
白銅貨			
新銅貨			
貳錢			
壹錢			
半錢			
壹厘			
計			
舊銅貨			
天保錢			
貳厘錢			
壹厘五毛錢			
壹厘錢			
計			
追次			

種類	金額 円	錢	厘
前行締高			
紙幣			
百圓			
五拾圓			
拾圓			
五圓			
貳圓			
壹圓			
五拾錢			
貳拾錢			
計			
銀行紙幣			
貳拾圓			
拾圓			
五圓			
壹圓			
計			
兌換銀券			
百圓			
拾圓			
五圓			
壹圓			
計			
仕拂基金			
持出手形			
切手			
損傷紙幣			
總計			

備考

一　流通不便ノ貨幣地金等總テ此例ニ依リ列記スルモノトス

二　仕拂基金持出金ノ内ニハ各廳派出金モ包含セシムルモノトス

三　大藏省構内分庫及淺草分庫モ之ニ包含セシムルモノトス

四　金銀地金ニシテ金貨若クハ壹圓銀貨トシテ計算ナシ居ルモノハ金貨若クハ壹圓銀貨ノ下ヘ「金地金」又ハ「銀地金」トシテ別項ニ掲クルモノトス但全ク地金トシテ計算ナシ居ルモノハ地金ノ一科目ヲ起シ之ヲ記載スルモノトス

第五號書式　金庫現金細種類別差引簿

金貨貳拾圓　　金貨拾圓

年	月	日	摘要	借 円	錢	厘	貸 円	錢	厘	殘 円	錢	厘
何	何		受入	0								
	〃		拂出				0			0		

第六號書式　金庫別差引簿

第何號金貨　　第何號壹圓銀貨

年	月	日	摘要	借 円	錢	厘	貸 円	錢	厘	殘 円	錢	厘
何	何		受入	0								
	〃		拂出				0			0		

日金庫別殘高表

金庫局長
筆頭書記

第　　號	大藏省構內分庫	淺草分庫	合　　計
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘

金櫃封印紙

何年何月何日
金庫局
筆頭書記 ㊞

第八號書式　　明治何年何月何

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

金種類	第壹號	第貳號	第　　號
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
金貨			
壹圓銀貨			
補助銀貨			
白銅貨			
銅貨			
紙幣			
銀行紙幣			
兌換銀券			
損傷紙幣			
端數國			
受入證書			
切手手形			
合計			

金庫封印紙

何年何月何日
金庫局長 ㊞
金庫監査役 ㊞

第九號書式　用紙美濃紙半截
周圍花紋ヲ置ク

入記　㊞――筆頭書記檢印

一何圓銀券何萬何千圓
又ハ　何圓紙幣何拾何萬圓

函詰人　何之誰㊞
何之誰㊞

明治何年何月何日

尋テ明治三十四年十月二十四日出納局長(三十二年一月一日金庫局ヲ出納局ト改稱限リ假ニ同局事務分掌規定總說漏本店ヲ定メタルト同時ニ同局收納、仕拂、總括三係ノ事務取扱細則ヲ左ノ如ク定メ

翌二十五日ヨリ實施セリ(四十年十月同局分掌規程ノ制定ニ依リ曩ノ金庫局處務規程ハ廢止セラルヽト共ニ各係事務取扱細則ハ別ニ之ヲ定ムルコトヽナレリ)

收納係事務取扱細則

第一條　收納係ヲ左ノ三部ニ分チ各其事務ヲ分擔セシム

一　營業部收納方
二　中央金庫收納方
三　手形交換方

第二條　現金收納ノ手續ハ左ノ各項ニ據ルモノトス

一　窓口受付人ハ金額ヲ各證憑書ニ對照精査シ之ヲ擔當者ニ交付ス
二　擔當者ハ交付ヲ受ケタル金額ヲ再ヒ證憑書ニ對照精査ノ上現金ヲ收納ス
三　特ニ契約アル取引先ヨリノ收納金ニ對シテハ前條ノ手續ニ拘ハラス便宜ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

但此場合ニ於テハ後日鑑定ノ際過不足又ハ贋造變造通貨等ヲ發見セシ時ハ其旨該取引先ニ通知シ返付又ハ辨償セシムルモノトス

營業部收納方

第三條　各局課ノ發行ニ係ル收納傳票ニ現金ヲ添ヘ差出ス者アル時ハ現金ヲ傳票ニ對照鑑定ノ上受入レ傳票ニハ現金收納濟及取扱者ノ印ヲ押捺シ簿記方ヘ回付シ記帳濟ノ上之ヲ入金者ニ返付スルモノトス

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第四條　現金ヲ受入レタル時ハ添表ヲ調製シ再鑑ニ便シ且ツ營業ノ終ニ於テ決算ノ用ニ供スルモノトス

第五條　當座預金ニ限リ便宜ノ爲メ添表ハ入金者之ヲ製シ傳票ハ收納方ニ調製スルモノトス

第六條　切手手形ヲ以テ入金スル者アル時ハ添表ト共ニ之ヲ手形交換方ヘ回付シ該添表ニ證印ヲ徵シ營業ノ終ニ於テ手形有高表ヲ受クルモノトス

第七條　仕拂命令ヲ以テ入金スル者アル時ハ之ヲ中央金庫仕拂方ヘ回付シ振替受入ヲ爲スモノトス

第八條　收納金中金貨幣アル時ハ便宜之ヲ營業部仕拂方ヘ又多額ノ補助貨幣アル時ハ之ヲ中央金庫收納方又ハ同仕拂方ヘ回付シ整理スルモノトス

第九條　收納方及仕拂方間ニ於ケル金員ノ授受ハ回符又ハ手控張ヲ以テ振替ヘ當日ノ終ニ於テ計算整理スルモノトス

第十條　現金收納ノ際贋造變造通貨等ヲ發見シタル時ハ之ヲ入金者ニ示シ理由書ヲ徵シ現品ト共ニ之ヲ金庫方ニ回付シ成規ノ手續ヲ爲スモノトス

第十一條　每日營業ノ終ニ於テ兌換銀行券ノ收支ヲ取調ヘ兌換銀行券添表ヲ製シ發行又ハ還納方ヲ發行局ヘ通知スルモノトス

第十二條　每日營業ノ終ニ於テ現金ト添表ノ合計ヲ對照シタル上現金收納表ヲ調製シ當日ノ入庫金額及端數ヲ金庫方ニ通知シ合計ヲ簿記方帳簿ト對照シ以テ當日ノ計算ヲ完了シタル後局長ノ檢査ヲ受ケ現金ハ封印ヲ爲シテ金庫方ヘ引繼クモノトス

第十三條　諸官廳ノ發行ニ係ル各證憑書又ハ供託書振替納金請求書等ニ現金ヲ添ヘ差出ス者アル時ハ現金ヲ證憑書ニ對照鑑定ノ上受入レ納人ニハ番號標ヲ交付シ置キ證憑書ニ現金收納濟及取扱者ノ印ヲ押捺シ之ヲ照査方ヘ回付スルモノトス

但鑑定ノ際贋造變造通貨等ヲ發見シタル時ハ官廳又ハ取引銀行ヲ除クノ外ハ直ニ行內出張ノ巡査ニ通知シ本人ヲ引渡シ該通貨ハ金庫方ヘ回付シ成規ノ手續ヲ爲スモノトス

第十四條　照査方ニ於テ前條ノ納金ニ對シ領收證書保管證書又ハ供託受領證、振替拂證書等ヲ調製シ送付シ來リタル時ハ番號標ト引換ニ之ヲ納人ニ交付スルモノトス

第十五條　仕拂命令振替拂證書又ハ切手手形等ヲ以テ納金スル者アル時ハ仕拂命令及振替拂證書ハ照査方ヘ又切手手形ハ營業部收納方ヲ經テ手形交換方ヘ回付シ振替受入ヲ爲スモノトス

第十六條　海軍省ヨリ返納告知書ニ添ヘ外國貨幣ヲ送付シ來リタル時ハ國庫局ヘ通知ノ上受入レ假領收證書ヲ交付シ置キ正金銀行支店ニ就キ該貨幣ヲ賣却シ代リ金ハ換算表ト共ニ小切手ニテ受取リ換算表ヲ國庫局ヘ送付シ追テ同局ヨリ通知ヲ得テ返納ノ手續ヲ爲スモノトス

第十七條　收納金中流通不便貨幣アリタル時又ハ營業部仕拂方ヨリ同貨幣ヲ回付シ來リタル時ハ交換票ヲ調製シ交換受入ヲ爲シ便宜取纏メ大阪本金庫ヘ送付スルモノトス

第十八條　各地本金庫ヨリ補助銀貨、白銅貨、銅貨等ヲ送付シ來リタル時ハ其儘受領シ置キ事務ノ都合ニ依リ漸次鑑定スルモノトス

第十九條　各地本支金庫ヨリ穿印濟壹圓兌換銀行券ヲ送納シ來リタル時ハ添表ヲ付シ發行局ヘ

回付シ追テ同局ヨリ鑑定濟ノ通知ニ接シタル時該送納書ヘ現金領收濟及取扱者ノ印ヲ押捺シ照査方ヘ回付シ領收證書ヲ調製シ之ヲ當該金庫ヘ送付スルモノトス

第二十條　每日執務ノ終ニ於テ現金ヲ照査方證憑書ニ對照シタル上現金收納表ヲ調製シ當日ノ入庫金額及端數ヲ金庫方ニ通知シ合計ヲ簿記方帳簿ニ對照シ以テ當日ノ計算ヲ完了シタル後局長ノ檢査ヲ受ケ現金ハ封印ヲ爲シテ金庫方ヘ引繼クモノトス

手形交換方

第二十一條　手形交換方ハ他店切手手形、割引手形並ニ代金取立手形ノ交換振替及取立ノ事務ヲ取扱フモノトス

第二十二條　諸切手手形ヲ受入ルヽ時ハ其正否ヲ精査シ添表ニ證印ノ上營業部收納方ニ回付シ手形ハ簿記方ノ記帳ヲ經テ區分整理シ營業ノ終ニ於テ手形有高表ヲ調製シ營業部收納方及金庫方ニ報告スルモノトス

第二十三條　割引手形ハ期日ノ五日前ニ營業局ヨリ受取リ取立手形期日明細帳ヘ記入ノ上傳票ヲ調製シ期日前ニ計算局ノ精算ヲ受ケ手形ハ期日ニ至リ交換振替又ハ取立等ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十四條　營業局ヨリ支店出張所又ハ他店ヨリノ依賴ニ係ル取立手形ヲ送付シ來リタル時ハ當所代金取立手形記入帳並ニ取立手形期日明細帳ニ記入シタル上前條ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十五條　取立手形ノ內交換所組合銀行ヲ仕拂銀行ニ指定シアルモノハ交換所ヘ提出シ其他ハ係員ヲ派シ仕拂人ニ就キ代金ノ取立ヲ爲スモノトス

第二十六條　交換所ヲ經テ受入レタル仕拂命令ハ中央金庫仕拂方ヘ切手手形等ハ營業局第一課ヘ送付シテ代リ金ノ仕拂ヲ受クルモノトス

第二十七條　期日ニ至リ不渡リトナリタル手形ハ送付簿ヘ記入ノ上文書局ヘ送付シ成規ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十八條　手形有高ハ每日營業ノ終ニ於テ取纏メ封印ヲ爲シ金庫方ヘ引繼キ翌朝返付ヲ受クルモノトス

仕拂係事務取扱細則

第一條　仕拂係ヲ左ノ三部ニ分チ各其事務ヲ分擔セシム

一　營業部仕拂方

二　中央金庫仕拂方

三　照査方

第二條　現金仕拂ノ手續ハ左ノ各項ニ據ルモノトス

一　擔當者ハ各仕拂證憑ノ對照濟押印ヲ認メタル上該金額ヲ仕出シ再鑑者ニ交付ス

二　再鑑者ハ擔當者ヨリ交付ヲ受ケタル仕拂證憑書ト金額トヲ對査シ正確ト認メタル上證憑書ニ現金仕拂濟ノ印ヲ押捺シ窓口渡人ヘ交付ス

三　窓口渡人ハ再鑑者ヨリ交付ヲ受ケタル金額ヲ計査シ證憑書裏面ニ記載シアル番號ヲ以テ債主ヲ呼出シ債主ヲシテ金額氏名ヲ陳述セシメ氏名金額トモ符合シタル時番號標ト引換ニ現金ヲ交付ス

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第三條　各債主ヨリ甲號仕拂傳票ヲ受ケタル時ハ豫テ各局課ヨリ回付シアル乙號傳票ト對照ノ上現金ノ仕拂ヲ爲スモノトス

但當座小切手及爲替手形ハ對照スヘキ案内營業局ヨリ到達セサルモ局課印並ニ取扱者ノ捺印ヲ認メテ現金ヲ仕拂フコトヲ得

第四條　公債證書ノ利拂ハ營業局ヨリ乙號假傳票ニ番號ヲ付シ同局第二課印ヲ押捺シ回付スヘキニ依リ之ヲ認メテ現金ノ仕拂ヲ爲シ營業ノ終ニ於テ假傳票ヲ集計シ本傳票ト交換スルモノトス

第五條　本行株式配當金仕拂請求ノ爲メ債主ヨリ受取證書(豫テ株式局ヨリ各株主ニ交付シアルモノ)ヲ差出シタル時ハ株式局取扱者ノ捺印ヲ認メ株主姓名簿ニ記載ノ金額番號ニ對照シ照査濟ノ契印ヲ押捺シ現金ノ仕拂ヲ爲シ營業ノ終ニ於テ集計シ仕拂傳票ト交換スルモノトス

第六條　行員給料仕拂請求ノ爲メ行員ヨリ證票(文書局第二課ヨリ交付シアル金額氏名ヲ記載シタルモノ)ヲ差出シタル時ハ本人ノ捺印ヲ認メテ現金ノ仕拂ヲ爲シ營業ノ終ニ於テ集計シ仕拂傳票ト交換スルモノトス

第七條　保管金並ニ供託金及預金利子ノ仕拂ヲ請求スルモノアル時ハ該證憑書ニ中央金庫印並ニ國庫局又ハ營業局ノ取扱者印ヲ認メタル上仕拂ヲナシ營業ノ終ニ於テ集計シ仕拂傳票ト交換スルモノトス

第八條　金貨並ニ損傷通貨等ヲ差出シ交換ヲ請求スル者アル時ハ金額ヲ調ヘ氏名及交換代リ金種類ヲ聽取リ之ヲ端紙ニ書留擔當者ニ交付ス擔當者ハ之カ眞贋及員數等ヲ調査ノ上代リ金ヲ交付スルモノトス

但鑑定ノ際贋造變造通貨等ヲ發見シタル時ハ直ニ行内出張ノ巡査ニ通知シ本人ヲ引渡シ該通貨ハ金庫方ニ回付シ成規ノ手續ヲ爲スモノトス

第九條　交換濟損傷兌換銀行券ハ交換ノ翌朝各種類ヲ取調ヘ還納表ヲ添ヘ發行局ヘ送付スルモノトス

第十條　交換濟損傷政府紙幣五拾錢以下政府紙幣銀行紙幣及鎖店銀行紙幣ハ毎日之ヲ取纏メ各金種類ヲ取調ヘ交換請求書ヲ添ヘ發行局ヘ送付シ代リ金ヲ請求スルモノトス

第十一條　交換基金金貨ハ毎日營業ノ終ニ於テ當日ノ收支ヲ取調ヘ發行局ヘ報告スルモノトス

第十二條　仕拂基金トシテ當日受入レタル兌換銀行券ノ殘高ハ營業ノ終ニ於テ各種類毎ニ取調ヘ還納ノ手續ヲ爲スモノトス

第十三條　當座小切手、爲替手形又ハ仕拂傳票金額ノ全部若クハ其一部ヲ以テ納金ニ振替方ヲ請求スル者アル時ハ該振替金額ヲ端紙ニ記載シ收納方ヘ回付シ營業ノ終ニ於テ計算整理スルモノトス

第十四條　仕拂濟傳票及切手手形ハ漸次簿記方ヘ送付シ營業ノ終ニ於テ現金仕拂基金受拂表ヲ調製シ當日ノ元受及殘額ヲ金庫方ニ通知シ仕拂額ヲ簿記方帳簿ニ對照シ以テ當日ノ計算ヲ完了シタル後局長ノ檢査ヲ受ケ現金ハ封印ヲ爲シテ金庫方ニ引繼クモノトス

中央金庫仕拂方

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第十五條　仕拂命令仕拂請求書雜部金引出切符仕拂命令官ノ通知書適宜領收證書預金領收證書、保管證書、拂渡證書、供託受領證、振替取消拂請求書等ハ總テ照査方ノ照査濟捺印ヲ認メテ仕拂ヲ爲スモノトス

第十六條　前條記載ノ證書金額ノ全部若クハ其一部ヲ以テ納金ニ振替方ヲ請求スル者アル時ハ該振替金額ヲ端紙ニ記載シ收納方ヘ回付シ執務ノ終ニ於テ計算整理スルモノトス

第十七條　振替回送ニ係ル回送金ハ照査方照較濟ノ振替拂證書又ハ適宜領收證書ニ依リ支拂ヲナスモノトス

第十八條　各地本支金庫ヘノ回送金ハ國庫局發行ノ仕拂傳票ニ據リ仕拂ヲナスモノトス

但現送金ニ係ルモノハ金額種類及ヒ發送日ヲ文書局ヘ通知シ當日ニ至リ同局又ハ同局指定ノ者ニ拂渡スモノトス

第十九條　金庫所在地外ヘノ送金ハ國庫局又ハ照査方ヨリ回付ノ仕拂票ニ據リ回送者又ハ文書局ニ引繼クモノトス

第二十條　各郵便電信局派出仕拂基金ハ當該局ヨリ送付ノ派出仕拂基金請求書ニ據リ派出取扱人ニ拂渡シ證印簿ニ捺印セシムルモノトス

第二十一條　各廳俸給及諸給ノ派出仕拂基金ハ照査方ヨリ回付ノ案内仕拂命令同仕拂請求書集合仕拂命令同仕拂請求書又ハ案内引出切符ニ據リ派出取扱人ニ命令書ト共ニ拂渡シ證印簿ニ捺印セシムルモノトス

但官廳ノ請求ニ依リ各自ノ袋入ヲ爲スモノハ案内未着ナルモ便宜袋表ニ記載ノ金額ヲ袋ト共ニ前渡スルコトヲ得

第二十二條　派出取扱ノ計算ハ仕拂日ノ翌日ヲ以テ決算スルニ依リ當日ハ證印簿持出金額ヲ現金ト見做シ整理スルモノトス

第二十三條　臨時拂準備金ハ毎日執務ノ終ニ於テ當局宿直員ヲシテ準備金受渡證印簿ヘ金額ヲ記載捺印セシメ之ヲ交付シ殘額ハ翌朝立會計算ノ上受取ルモノトス

第二十四條　仕拂證憑書類ハ漸次簿記方ヘ送付シ執務ノ終ニ於テ現金仕拂基金受拂表ヲ調製シ當日ノ元受及殘額ヲ金庫方ニ通知シ仕拂額ヲ簿記方帳簿ニ對照シ以テ當日ノ計算ヲ完了シタル後局長ノ檢査ヲ受ケ現金ハ封印ヲ爲シテ金庫方ニ引繼クモノトス

照査方

第二十五條　照査方ハ中央金庫ニ於ケル收納仕拂ニ關シ以下各條定ムル所ニ據リ調査整理ヲ爲スモノトス

第二十六條　各官廳發行ノ返納告知書、納入告知書、納稅告知書、送付書、寄托通知書及納入ヨリ納付書現金拂込書等ヲ受ケタルトキハ精査ノ上之ヲ受領シ領收證書又ハ保管證書ヲ調製シ中央金庫收納方ヲ經テ納入ニ交付シ領收濟通知書ハ當該官廳ヘ原符及受入證憑書ハ簿記方ヘ回付スルモノトス

第二十七條　各本支金庫ノ發行ニ係ル振替拂證書ヲ添ヘ定額戻入金ヲ納ムル者アルトキハ之ヲ受入レ振替拂證書ニ對シテハ各本金庫毎ニ集計シ振替回送拂出ノ計算ヲ以テ中央金庫支拂方ヘ回付シ當該本金庫ヘ拂出報告表ヲ發遣スルモノトス

第二十八條　各地本支金庫所在官廳ヘ返納ヲ要スルモノヨリ振替拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ仕拂命令官官氏名金額等ヲ記シタル請求書ヲ徵シ規定ノ振替拂證書ヲ製シ收納方ヲ經テ請求者ヘ交付シ同時ニ振替拂通知書ヲ當該本支金庫ヘ送付スルモノトス

第二十九條　在外官廳收入官吏ノ監守證ヲ以テ歲入金ニ振替ノ際ハ規定ノ拂込書ヲ調製シ領收證書ハ國庫局ヲ經テ納人ニ交付シ通知書ハ歲入徵收官ヘ送付スルモノトス

第三十條　各省留學生費及外國旅費ヲ返納ノ際ハ納人ニ於テ該返納告知書ニ記載ノ外國貨幣ヲ本邦通貨ニ換算シ納入スヘキニ依リ其換算額ヲ告知書中ヘ記入ノ上受入レ若シ指定額ニ超過スル時ハ歲入ヘ編入ノ手續ヲ爲シ其旨當該官廳ヘ報告スルモノトス

第三十一條　振替拂證書又ハ雜部保管證書等ヲ亡失シ其證明方ヲ請求スル者アル時ハ證明請求書ヲ徵シ證明書又ハ保管證書寫ヲ交付スルモノトス

第三十二條　預金ハ拂込書ニ依リ受入レ通帳ヲ交付スルモノトス

第三十三條　供託金ハ其原因及法令ノ適否等ヲ調査シ收納方ヘ回付シ現金收納濟ノ上供託受領證ヲ本人ニ交付スルモノトス

第三十四條　各納人ヨリ銀行小切手又ハ郵便爲替券ヲ郵送納入シ來リタルトキハ之ヲ取立方ニ回付シ其傳票ヲ得テ收納方ヘ交付スルモノトス

第三十五條　各地金庫ヨリ郵便爲替資金拂濟ノ電報ヲ受ケタルトキハ郵便爲替貯金管理所ヲシテ預金ノ拂出ヲナサシメ其拂出金ヲ振替回送受入トシテ納入シ(各地金庫ノ拂濟電報ト管理所カ受付タル各地郵便局ノ電報ト照較シ)當該金庫ヘ振替回送受入報告表ヲ發遣スルモノトス

第三十六條　大藏省ヨリ官立學校、圖書館、資金部預金利子元加方ノ通知書ヲ受ケタル時ハ營業局發行ノ仕拂傳票ニ據リ利子ノ仕拂及該利子額ノ證明ヲ受ケ之ヲ元加トシテ領收證書ヲ調製シ營業局ヘ回付スルモノトス

各自預金利子元加仕譯書ヲ國庫局ヨリ送付シ來リタル時モ亦前項ノ手續ニ據ルモノトス

第三十七條　大藏省ヨリ受入令達及預金部受入令達ヲ受ケタル時ハ調査ノ上領收證書ヲ營業局ヘ回付スルモノトス

第三十八條　各歲入金、定額戻入金、回送金、雜部保管金、預金、保管供託金等納入證憑書ヲ調査照較シタルモノハ當日執務ノ終ニ至リ其種類每ニ集計シ簿記方帳簿ニ對照スルモノトス

第三十九條　案內仕拂命令同仕拂請求書(共ニ集合仕拂命令同請求書ヲ包含ス以下各條亦同シ)及案內引出切符ヲ國庫局ヨリ受領セシ時ハ之ヲ各廳每ニ區分シ照較ノ用ニ供スルモノトス

集合仕拂命令同請求書ニ對シテハ規定ノ領收證書ヲ調製シ仕拂命令官ニ送付スルモノトス

第四十條　案內引出切符ニシテ其發行日ヨリ三日(但公暇日ヲ除ク)ヲ經過スルモ尙現金仕拂ノ請求ナキモノハ當該出納官吏ヘ返付スルモノトス

第四十一條　債主ヨリ證憑書ヲ提出シ現金ノ仕拂ヲ請求スル時ハ番號標ト引換ニ之ヲ受領シ調査ノ上照査濟ノ檢印ヲ捺シ仕拂方ヘ回付スルモノトス

第四十二條　債主ヨリ提出シタル證憑書ヲ調査ノ際不正ト認ムルモノ汚損ノ爲メ其要部ヲ認メ難キモノ若クハ違式又ハ印鑑ノ符合セサルモノアル時ハ其事由ヲ說明シ之ヲ返付スルモノト

ス

第四十三條　仕拂命令仕拂請求書引出切符ハ各案内仕拂命令案内仕拂請求書案内引出切符ニ對照シ通知書ハ金額氏名表ニ對照スルモノトス

第四十四條　中央金庫出納區域内ニシテ金庫所在地外ニ在ル債主ヘ送金スヘキ仕拂命令仕拂請求書ヲ國庫局ヨリ受ケタル時ハ第三十九條第一項ニ據リ之ヲ區分シ仕拂命令官發行ノ通知書ヲ提出シ仕拂ヲ請求スル債主ニ對シテハ直ニ仕拂ノ手續ヲ爲シ居住地ヘ送金ノ請求ヲ爲ス債主ニ對シテハ仕譯表ヲ調製シ(郵便ニ托送スルモノハ債主ヘノ通知書ヲ添ヘ)歳出送金拂出傳票ト共ニ仕拂方ヘ回付スルモノトス各地本支金庫發行振替拂ニ對シ送金請求アル時亦同シ

第四十五條　送金濟ニ係ル債主ノ領收ヲ證シタル仕拂命令官發行ノ通知書ハ仕拂命令同請求書歳出振替拂通知書等ニ對照シ毎月一回之カ決算報告表ヲ調製シ國庫局ヘ報告スルモノトス

第四十六條　債主不在又ハ其他ノ事故ニ依リ現金ヲ交付シ能ハサルモノハ歳出送金ヲ取消シ現送金ノ戻入ヲ爲スモノトス

第四十七條　雜部金保管ヲ爲シタル官吏ヨリ之ヲ引出ス爲メ其所屬長官ノ證明書又ハ領收證書ヲ受ケタル時ハ調査ノ上國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

第四十八條　債主ヨリ仕拂命令仕拂請求書引出切符又ハ通知書ヲ盜取セラレ若クハ亡失シタル旨屆出タル時ハ之ヲ調査シ既ニ現金仕拂濟ナル時ハ直ニ返付シ仕拂未濟ナル時ハ受領ノ上受取證書ヲ交付シ之ニ該當スル案内仕拂命令案内仕拂請求書案内引出切符又ハ金額氏名表ニ故障ノ事由ヲ附箋シ屆書ハ當該官吏ニ送付シ證明ヲ求ムルモノトス

第四十九條　前條ノ屆書ヲ證明ノ上當該官吏ヨリ返付シ來リタル時ハ債主ニ通知シ領收證書及前キニ交付シアル受取證書ヲ提出セシメ該領收證書ヲ以テ仕拂ノ證憑書ト爲スモノトス

第五十條　仕拂命令仕拂請求書又ハ引出切符ニ對シ當該官吏ヨリ仕拂停止ノ通知ヲ受ケタル時ハ之ヲ調査シ既ニ仕拂濟ナル時ハ其旨附箋シテ通知書ヲ返付シ仕拂未濟ナル時ハ案内仕拂命令案内仕拂請求書案内引出切符又ハ金額氏名表ニ其旨附箋シ置クモノトス

第五十一條　集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ對シ仕拂命令官ヨリ歳入ヘ編入ノ請求ヲ受ケタル時ハ金額氏名表ニ其旨附記シ該請求書ハ國庫局ヘ送附スルモノトス

第五十二條　毎月末日ニ於ケル仕拂未濟額送金未決算額ハ仕拂命令官毎ニ集計シ國庫局帳簿ニ對照スルモノトス又國庫納金引去高ハ規定ノ報告表ヲ調製シ當該歳入徵收官ヘ送付スルモノトス

第五十三條　毎年度ノ案内仕拂命令案内仕拂請求書ニシテ各其會計出納閉鎖期限ニ於ケル仕拂未濟額ハ仕拂命令官毎ニ集計シ其命令官氏名金額ヲ國庫局ヘ報告スルモノトス

第五十四條　年度經過後五ケ年ヲ經過シ尚仕拂未濟ニ係ル案内仕拂命令同請求書ハ一葉毎ニ寫取リ命令ト共ニ國庫局ヘ引繼クヘキモノトス

第五十五條　債主ヨリ中央金庫出納區域外所在仕拂命令官發行ノ通知書若クハ電信通知及之ニ對スル領收證書ヲ提出シ現金仕拂ヲ請求スル時ハ豫テ國庫局ヨリ回付シアル振出元金庫ノ通知書ニ對照調査シ領收證書ヘハ各歳出ノ種別押印ヲナスモノトス

日々ノ仕拂額ハ各歳出金庫別ニ集計シ國庫局ヘ報告スルモノトス

第五十六條　郵便爲替貯金管理所長ヨリ振替受入甲號證書若クハ領收證書ヲ受ケタル時ハ豫テ國庫局ヨリ回付シアル振出元金庫ノ振替受入乙號證書若クハ電信通知ニ對照調査スルモノトス其仕拂額ニ付テハ即日振替回送金拂出報告表ヲ當該金庫ヘ發遣スルモノトス

第五十七條　第五十五條及第五十六條ノ電信通知ヲ文書局ヨリ受ケタル片ハ直ニ之ヲ飜譯シ仕拂執行ノ準備ヲナスモノトス

但第五十五條ノ電信案内ハ國庫局帳簿ノ登記ヲ求ムルモノトス

第五十八條　出納官吏身元保證金若クハ各自預金公債證書購入代金等ノ振替拂通知書ニ對スル現金交付ノ請求者アリタルキハ振出元金庫ヨリ債主ヘ發シタル通知書及適宜ノ領收證書ヲ徴シ調査スルモノトス其仕拂濟ニ付テハ即日振替回送金拂出報告表ヲ發遣スルモノトス

第五十九條　各金庫ヨリ發行セル振替拂通知書ニ對シ每月末日迄ニ仕拂濟ニ至ラサルモノハ之ヲ集計シ國庫局ヘ送付スルモノトス

毎年度未ニ於ケル前項ノ未拂額ハ各歳出金庫別ニ集計シ規定ノ報告表ヲ調製シ國庫局ヘ送付スルモノトス

第六十條　振替拂通知書ニ對シ當該金庫ヨリ仕拂停止若クハ取消ノ通知ヲ受ケタル時ハ之ヲ調査シ既ニ仕拂濟ナル時ハ該通知書ヲ返付シ仕拂未濟ナル時ハ其手續ヲ爲シ其旨當該金庫ヘ通知スルモノトス

第六十一條　保管金及預金拂戻ノ際照較ノ用ニ供スル爲メ左ノ印鑑簿ヲ備ヘ置クモノトス

一　預金者印鑑簿

二　保管金取扱廳吏員印鑑簿

第六十二條　保管金取扱主任官吏ノ任命更替ニ關シ官報又ハ官廳ノ通知ニ接シ若クハ印鑑ノ送付ヲ受ケタル時又ハ預金擔當者ノ名義變更改印位置變換等ノ屆書ヲ受ケタル時ハ各其印鑑ヲ訂正シ尚ホ關係局課ヘ回覽ヲ要スルモノハ其手續ヲ爲スモノトス

第六十三條　預金者ヨリ預金通帳ニ領收證書ヲ添ヘ拂戻ヲ請求スル時ハ調査ノ上國庫方ヘ回付シ帳簿ノ對照及ヒ仕拂額ノ記入ヲ受ケ通帳ヲ本人ニ返付スルモノトヌ

但全額拂戻ノ際ハ通帳ヲ引上ケ每年末ニ取纏メ文書局ヘ交付スルモノトス

第六十四條　預金者ヨリ預金利子請求書若クハ公債證書購入請求書ヲ受ケタル時ハ調査ノ上國庫局ヘ送付スルモノトス

第六十五條　預金者ヨリ領收ノ裏書證印ヲ爲シタル公債證書購入通知書及通帳ヲ受ケタル時ハ印鑑及株式局ヨリ回付シアル保管證書ニ照合シタル上國庫局ヘ回付シ通帳ニ仕拂額ノ記入ヲ受ケ保管證書ト共ニ之ヲ本人ニ交付スルモノトス

第六十六條　預金部拂出命令ニ對スル領收證書ヲ受ケタル時ハ大藏大臣發行ノ拂出命令ニ對照調査スルモノトス

第六十七條　債主ヨリ取扱官廳ノ拂戻裏書證印ヲ爲シタル保管證書ヲ提出シ拂戻ヲ請求スル時ハ印鑑及保管證書原符ニ照合シタル上國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

但適宜振替拂請求書ヲ添付シタルモノハ前項ノ手續ヲ經テ國庫局送金係ヘ送付スルモノトス

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第六十八條　保管金取扱官廳變更ノ通知ヲ受ケタル時ハ保管證書原符ニ記載ノ官廳名ヲ訂正シ該通知書ヲ國庫局ヘ送付スルモノトス

第六十九條　保管金取扱官廳ヨリ保管證書ヲ提出シ分割請求ヲ爲ス時ハ新ニ保管證書ヲ調製シ之ヲ交付シ原符ニ其旨ヲ記入シ請求書ハ國庫局ヘ送付スルモノトス

第七十條　債主ヨリ各官廳ノ發行セル拂渡證書ヲ提出シ仕拂ヲ請求スル時ハ調査ノ上國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

第七十一條　供託者又ハ供託者ノ指定シタル者若クハ供託金ヲ受取ヘキ權利者ヨリ供託金ノ全部拂戻請求書及領收ヲ證シタル供託受領證若クハ幾部拂戻請求書及領收證書ニ添ヘ供託受領證ヲ提出シ拂戻ヲ請求スル時ハ各證還書ヲ調査シ國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

但幾部拂戻ニ係ルモノハ供託受領證ノ末尾ニ內渡ノ金額年月日ヲ奥書證印シ之ヲ請求者ヘ返付スルモノトス

裁判所ノ通知ニ依リ全部又ハ幾部ノ拂戻ヲ爲ス時モ亦前項ノ手續ニ據ルモノトス

第七十二條　裁判所又ハ官廳ヨリ供託金ノ分割拂渡請求書ヲ受ケタル時ハ國庫局ヘ合議回覽ニ供スルモノトス

債主ヨリ裁判所又ハ官廳ノ發行ニ係ル拂渡證書ヲ提出シ仕拂ヲ請求スル時ハ其拂渡證書ニ領收ヲ證セシメ前項拂渡請求書ニ對照調查ノ上國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

第七十三條　附屬供託又ハ代供託物ノ拂戻ニ關シテハ總テ本供託金拂戻ノ手續ニ據ルモノトス

第七十四條　裁判所ヨリ預金保管金供託金ノ差押命令ヲ受ケタル時ハ其要旨ヲ書留メ置キ該命令ハ國庫局ヘ合議回覽ニ供スルモノトス

差押解除及債權轉付又ハ取立命令ヲ受ケタル時モ亦前項ノ手續ヲ爲シ債主ヨリ拂戻ノ請求ヲ受ケタル時ハ調查上ノ國庫局ヘ回付シ帳簿ノ對照ヲ求ムルモノトス

第七十五條　各歲出金雜部保管金振替金預金保管金供託金等ノ仕拂證還書ヲ照較シタルモノハ當日執務ノ終ニ於テ各其種類每ニ集計シ簿記方帳簿ニ對照スルモノトス

第七十六條　各證還書ハ左記ノ區分ニ依リ第一乃至第三ハ國庫局ヘ第四以下ハ文書局ヘ引繼クヘキモノトス

一　案內仕拂命令同請求書（集合ノ分）　即日

二　送金命令同請求書ニ對スル決算濟領收證書（亦同シ）　每月二十七日

三　保管證書原符　每年二期

四　案內引出切符（每月出納官吏別ニ集計編綴スルヿ）　年度後一ヶ月以內

五　各年度繰越ニ係ル案內仕拂命令同請求書（每月仕拂命令官別ニ集計編綴スルヿ）　仝

六　送金命令同請求書（每月仕拂命令官別ニ集計編綴スルヿ）　上

七　振替拂通知書及電信案內　仝　上

八　供託金拂戻請求書及差押轉付取立等命令書　仝　上

第七十七條　仕拂未濟ニ係ル案內命令案內請求書案內切符等ハ每日執務ノ終ニ於テ當局宿直員

ヘ交付シ翌朝返付ヲ受ルモノトス

總括係事務取扱細則

第一條　總括係ヲ左ノ二部ニ分チ各其事務ヲ分擔セシム

一　金庫方

二　簿記方

金庫方

第二條　毎朝子號金庫ヲ開ク時ハ出納局長及檢査局長代理者立會ノ上外扉ハ檢査局長代理者内扉ハ主任書記之ヲ開キ現金ヲ出庫スルモノトス

第三條　營業時間中現金ヲ出入スル時ハ出納局長立會ノ上主任書記之ヲ開キ局長ノ封印ヲ以テ閉鎖スルモノトス

第四條　毎日營業ノ終ニ於テ子號金庫ヲ閉鎖スル時ハ出納局長及檢査局長代理者立會合封ノ上内扉ハ主任書記外扉ハ檢査局長代理者之ヲ閉鎖スルモノトス

第五條　土中金庫ヲ開閉スル時ハ金庫開閉之證ヲ衞兵ニ示シ出納局長及檢査局長代理者立會ノ上外扉及内扉ハ檢査局長代理者中扉ハ主任書記之カ開閉ヲ爲シ甲號金庫内扉ニハ總裁ノ封印ヲ附シ其他ハ出納局長及檢査局長合封閉鎖スルモノトス

第六條　庫中ニハ常ニ金種類ヲ區別シ種類金額等ヲ明記セシ塗札ヲ掲ケ置クモノトス

第七條　庫中ニ在ル現金ノ位置種類金額等ヲ明記セル一覽表ヲ備ヘ置キ現金ノ出入毎ニ必ス突合ヲ爲スモノトス

第八條　現金ノ出入ヲ爲ス時ハ現金出入簿ニ種類金額函數ヲ記入シ局長ノ認印ヲ受ケ當該主任者ノ捺印ヲ徵シテ現金ノ授受ヲ證スルモノトス

第九條　收納又ハ仕拂方ヨリ入記ヲ回付シ現金ノ入庫ヲ通知シ來リタル時ハ其種類金額等ヲ一覽表ニ記入ノ上該入記ヘ一覽表記入濟ノ印ヲ押捺シテ返付スルモノトス

第十條　各支店及本金庫ヨリ現金ヲ回送シ來リ直ニ金庫ニ受入レシ時又ハ金庫ニテ直チニ拂出シタル時ハ其種類金額函數等ヲ收納又ハ仕拂方ヘ通知スルモノトス

第十一條　各本支金庫ヘ回送金ノ仕拂傳票ヲ國庫局ヨリ回付シ來リタル時ハ記帳ノ上傳票ヲ中央金庫仕拂方ヘ送付シ電信送金ナル時ハ電信ニテ當該金庫ヘ通知ノ手續ヲ爲シ普通送金ナル時ハ納付票ヲ調製シ爲替手形ト共ニ文書局ヘ交付シ又現送ナル時ハ送付票ト共ニ現金ヲ仕拂方ヘ交付シ回送ノ手續ヲ爲シ其旨當該金庫ヘ通知スルモノトス

第十二條　便宜ノ爲メ常ニ若干ノ未發行兌換銀行券ヲ發行局ヨリ預リ置キ營業部收納方ノ請求ニ依リ發行シ營業ノ終ニ於テ預リ兌換銀行券在庫出入表ヲ調製シ簿記方ヘ報告スルモノトス

第十三條　毎日營業ノ終ニ於テ收納方及仕拂方ヨリ當日ノ收納高端數及仕拂殘高ノ通知ヲ得テ之ヲ一覽表ノ金額ニ合算シ簿記方帳簿ニ對照シ基金受拂表及現金收納表ニ對照スルモノトス

第十四條　毎日計算完了ノ後收納方及仕拂方ヨリ當日ノ收納高及仕拂殘高ヲ手形交換方ヨリ諸切手手形ヲ封印ノ儘受取リ入庫保管シ翌朝之ヲ出庫スルモノトス

第十五條　局印局長印中央金庫領收之印及各金庫鍵金庫開閉之證金庫通鑑其他金銀標本諸證書

等重要物件ノ保管ヲ爲スモノトス

第十六條　局内ニ到達スル一切ノ文書ヲ受付ケ各主務係ヘ配布シ又局内ヨリ發遣スヘキ文書及回議書等ハ文書局第一課ヲ經テ發遣ノ手續ヲ爲シ處分濟トナリタル書類ハ保存年限ヲ定メ文書局ヘ引繼クモノトス

第十七條　諸規定通達及回議回覽書等ヲ接受セシ時ハ局長並各關係ノ閲覽ニ供シタル上他局ヘ返付スヘキモノハ之ヲ返付シ其他ハ適宜編綴整理シ置クモノトス

第十八條　照査方又ハ株式局ヨリ中央金庫領收之印押捺ノ爲メ領收證書又ハ保管供託寄托及預金證書等ヲ送付シ來リタル時ハ取扱者ノ捺印ヲ認メタル上中央金庫領收之印ヲ押捺シテ返付スルモノトス

第十九條　收納方又ハ仕拂方ヨリ現品ヲ添ヘ贋造變造通貨等ヲ發見シタル旨通知シ來リタル時ハ成規ニ據リ所轄警察署ヘ届出ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十條　營業局其他諸官廳ノ請求ニ依リ金銀地金及通貨ノ鑑定ヲ爲スモノトス

第二十一條　舊貨幣外國貨幣地金銀類營業局第一課ニ於テ買入ル、際同課係員ノ押印アル代價領收用紙ヲ添ヘ賣渡人持參スレハ現物鑑査ノ上領收シテ其代價領收用紙ヘ種類員數又ハ品位量目等ヲ記載シ取扱人押印ヲ爲シ金庫方帳簿ニ其種類員數品位量目等ヲ書留メ直ニ營業局第一課ヘ回付シ同局第一課ヨリハ地金銀有高内譯帳ヘ該種類員數品位量目等ヲ記載シテ回付アルニヨリ局長及取扱人金庫方簿記方等證印ヲ爲シテ返付スルモノトス

第二十二條　外國貨幣、地金銀等賣却ノ爲メ營業局第一課ヨリ地金銀有高内譯帳ヘ其種類員數品位量目等重要物件ノ保管ヲ爲スモノトス

第二十三條　小樽出張所ヨリ地金銀類ヲ回送アリタル時ハ入記及營業局第一課ニ到達セシ該送付書ニ對照シ品位量目等鑑査ノ上同局ヘ受入濟ヲ通知ス其他ノ整理ハ第二十一條ニ據ル

第二十四條　地金銀ハ品位試驗ノ爲メ便宜造幣支局ヘ輸納シテ貨幣製造ノ請求ヲ爲スモノトス

但此場合ニハ營業局ノ承諾ヲ要ス

第二十五條　各廳派出金錢取扱員ノ印鑑ヲ整理シ且ツ變更ノ都度各關係官廳ヘ通知ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十六條　定日毎ニ左ノ諸表ヲ調製シ主任者捺印ノ上局長ノ檢印ヲ受ケ國庫局ヘ報告スルモノトス

一　補助五拾錢銀貨有高表　　毎　五、十　日

一　銅貨有高表　　毎　五、十　日

一　補助銀貨及白銅貨有高表　　毎　十　日

第二十七條　左ノ帳簿ヲ備ヘ保管現金及地金銀ノ出納ヲ登記スルモノトス

但左記帳簿ノ内金庫別金銀保藏高帳ハ局長ノ檢印ヲ受クルモノトス

現金及有價證券ノ出納保管　　現金ノ出納保管

一　金銀保藏高帳
二　中央金庫金銀保藏高帳
三　金庫別金銀保藏高帳
四　金銀塊保藏高帳
五　外國貨幣保藏高帳
六　舊貨幣保藏高帳
七　金貨證書保藏高帳
八　金庫別地金銀保藏高帳

第二十八條　本則規定外ノ事項ニシテ他係ニ屬セサル庶務ハ總テ金庫方ニ於テ取扱フモノトス

簿記方

第二十九條　簿記方ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スルモノトス

一　收納帳
二　仕拂帳
三　金庫出納帳
四　他店切手手形記入帳
五　保管金銀塊出納帳
六　保管外國貨幣出納帳
七　保管舊貨幣出納帳

八　保管金貨證書出納帳
九　未發行兌換銀行券有高帳
十　中央金庫現金受拂簿
十一　中央金庫內譯有高簿

第三十條　計算報告ノ爲メ諸帳簿ニ據リ左ノ報告表ヲ調製スルモノトス

一　現金有高表
二　未發行兌換銀行券現在高表
三　別口預未發行兌換銀行券收支日計表
四　收支合計表
五　中央金庫現金受拂報告表
六　派出受拂表
七　現金出納每週統計報告

第三十一條　收納帳ハ營業部收納方ノ現金收納濟及取扱者ノ捺印アル收納傳票ニ據リ一口每ニ登記シ每日其總計額ニ交換高ヲ合算シ現金收納高ニ對照スルモノトス

第三十二條　仕拂帳ハ營業部仕拂方ノ現金仕拂濟及取扱者ノ捺印アル仕拂傳票ニ據リ一口每ニ登記シ每日其總計額ニ交換高ヲ合算シ現金仕拂高ニ對照シ殘高ヲ金庫方ニ對照スルモノトス

第三十三條　金庫出納帳ハ各金種類每ニ區別シ營業部現金收納表及同現金仕拂基金受拂表ニ據リ每日其收支金額ヲ登記シ殘高合計ヲ仕拂帳殘高ニ內譯殘高ヲ保藏高帳殘高ニ對照スルモノ

トス

第三十四條　他店切手手形記入帳ハ營業部收納方ニ於テ每日收納セル諸切手手形ニ據リ登記シ取立月日ハ現金引換ノ交換表ニ據リ登記スルモノトス

第三十五條　地金ニ屬スル各出納帳ハ各種類每ニ區別シ金庫方ノ報告及營業局第一課ヨリ送付ノ地金銀有高內譯帳ニ據リ登記セシ殘高ヲ保藏高帳殘高ニ對照スルモノトス

第三十六條　未發行兌換銀行券有高帳ハ還納額ト別口預リ額トヲ區別シ營業部仕拂方及金庫方ノ報告ニ據リ種類每ニ出入及殘高ヲ登記スルモノトス

第三十七條　中央金庫現金收納方同仕拂方ノ現金收納濟又ハ現金仕拂濟及取扱者ノ捺印アル證憑書ヲ原簿科目ニ從ヒ區分集計シ派出受拂表記載ノ金額ト共ニ合算シタル上科目每ニ登記シ其總計額ヲ現金收支高ニ對照シ殘高ヲ保藏高帳ニ對照スルモノトス

各證憑書ノ內照查方ヲ經由セシモノハ科目每ニ突合セタル上之ヲ國庫局ヘ送付スルモノトス

第三十八條　中央金庫內譯有高簿ハ中央金庫現金收納表及同仕拂基金受拂表ニ據リ金種類每ニ收支額ヲ登記シ殘高ヲ中央金庫現金受拂簿殘高ニ對照スルモノトス

第三十九條　現金有高表ハ金庫出納帳及中央金庫內譯簿ニ據リ殘額ヲ揭記シ國庫局補助簿方ニ對照ノ上計算局ヘ送付スルモノトス

第四十條　未發行兌換銀行券現在高表及別口預未發行兌換銀行券收支日計表ハ未發行兌換銀行券有高帳ヨリ揭記シ發行局ヘ送付スルモノトス

第四十一條　收支合計表ハ收納帳及仕拂帳ニ據リ揭記シ計算局ヘ送付スルモノトス

第四十二條　中央金庫現金受拂報告表ハ中央金庫現金受拂簿ニ據リ揭記シ國庫局ヘ送付スルモノトス

第四十三條　派出受拂表ハ派出取扱人ニ於テ原簿科目ニ從ヒ區分セル證憑書(案內仕拂命令同仕拂請求書等ニ屬スルモノハ除ク)ヲ調查ノ上證印簿ニ對照シ各科目ノ集計高ヲ揭記シ證憑書ト共ニ國庫局ヘ送付シ突合濟ノ上其返付ヲ受クルモノトス

第四十四條　現金出納每週統計報告ハ收納帳仕拂帳及中央金庫現金受拂簿ヨリ每日ノ收支額ヲ揭記シ土曜日每ニ檢查局ヘ報告スルモノトス

第四十五條　諸帳簿及諸計表ハ總テ局長ノ檢印ヲ受クルモノトス

明治四十年六月一日ヨリ本行ニ地金銀分析所ヲ新設シ本店ニテ購入スル金銀地金ノ中鎔解又ハ試驗分析ヲ要スルモノヲ分析スルコトヽナリ同月十六日分析所處務順序ヲ制定(本編地金銀賣買及國債ノ部參照シタルヲ以テ左ノ條項ヲ出納局事務取扱細則中ニ追加シ關係ノ各係ヲシテ該細則ニ據リ事務ヲ處理セシメタリ

地金一係

第一　分析所ニ於テ試驗ヲ了リタル地金塊ニ其試驗片碎屑等ヲ添ヘ鑑定表ト共ニ引繼ヲ受ケタルトキハ試驗濟地金出納帳ニ登記シ現品ハ鑑鑰付容器ニ藏メ局長ノ檢查ヲ受ケ封印ヲ施シ鑑定表ハ營業局ヘ回付スヘキモノトス

但容量大ナル地金塊ハ容器ニ藏メサルコトアルヘシ

第二　營業局ニ於テ買入ノ手續ヲ了シタル旨ノ通知ニ接シタルトキ又ハ第三項ノ如ク返付シタル

キハ其事由月日ヲ試驗濟地金出納帳ニ登記スヘキモノトス

第三　試驗ノ結果賣渡ノ取消ヲ求ムルモノアルキハ營業局ヘ申出サシメ同局長又ハ代理者ノ檢印アル現品領收ノ奥書賣渡請求書ノ末尾ヲ認メ保管證引替ニ現品ヲ交付スルモノトス

第四　イリデアムノ如キ分析シ難キ金屬ノ引繼ヲ受ケタルキハ代リ金仕拂ノ節適宜ノ領收證ヲ徵シテ賣渡請求者ヘ返付スルモノトス

第五　第三項ニ依リ引上ケタル賣渡請求書ハ即日營業局ヘ返付スルモノトス

第六　營業局ニ於テ引上ケタル保管證ノ返付ヲ受ケタルキハ第三項ニ依リ引上ケタル保管證ト共ニ六ケ月間保存ノ後廢棄スルモノトス

第七　買入又ハ返却セシキハ直チニ簿記係ヘ通知スヘキモノトス

第八　第一項ニ依ル地金塊試驗片碎屑等ハ毎日事務ノ終リニ於テ金庫係ヘ引繼キ其證印ヲ受クヘキモノトス

簿記係

第一　分析所保管ニ係ル地金銀ハ同所ノ通知簿ニ依リ保管證ノ番號受入年月日賣渡請求者氏名品目量目等ヲ賣渡請求地金保管帳ニ登記シ尚地金係ヨリ買入又ハ返却濟ノ通知ヲ受ケタルキハ其事由月日ヲ記入スヘキモノトス

第二　買入濟ニ係ル地金銀ハ保管金銀塊出納帳ニ記入スヘキモノトス

金庫係

第一　分析所ニ於テ受入タル地金銀ノ保管證ニ局印押捺ノタメ通知簿ト共ニ送付シ來リタルキハ其要點ヲ檢メ局長ノ檢印ヲ經テ局印ヲ押捺シ保管證ハ直チニ營業局ヘ送附シ通知簿ハ簿記係ヘ回付スヘキモノトス

尚現金ノ出納保管ニ關シテハ各特別ノ場合ニ於テ隨時其取扱方ヲ定メタリ依テ今其中最重要ナルモノニ就キ順次之ヲ叙述スヘシ

各地金庫ヨリ大阪本金庫ヘ配賦傳達外回送ニ係ル新舊銅貨等ハ鑑定上時日ヲ要シ數月ヲ經ルモ往々回金受入ノ手續ヲナスニ至ラサルモノアリ依テ明治二十三年十二月十二日金庫出納役ヨリ各金庫ニ對シ右銅貨ハ封印ノ儘回金受入ノ手續ヲ了シ成規ノ領收證書ヲ發行セシムルニ依リ發送元本金庫ニ於テハ右ニ據リ回金拂出ノ順序取計フヘク尤大阪本金庫ニ於テ實際鑑査結了スルトキハ其旨同金庫ヨリ特ニ通知スヘキヲ以テ右通知ヲ得テ其責任ヲ免ルヽモノト心得ヘク又右鑑査ノ際自然過剩アル場合ニハ便宜還付取計フヘキ不足スルトキハ該金額辨償スヘキ旨ヲ通達セリ

其後明治三十六年頃ニ至リ大阪支店ニ於テ從來各地本金庫ヨリ大阪本金庫ニ回送シ來レル巨額ノ銅貨ヲ鑑定整理セル際往々封中ヨリ過不足ヲ發見シタルカ是等ハ固ヨリ前記二十三年十二月金庫出納役達ニ依リ處分スヘキモノナルモ數年以前ニ溯リ當該金庫ニ辨償ヲ命スルモ穩當ナラサルニヨリ同年十月大阪支店長ノ稟申ヲ容レ右銅貨ニ限リ同店ノ損益勘定ヲ以テ處分スルコトヲ承認セリ

又各地本金庫ヨリ中央金庫ヘ回送ニ係ル新銅貨ハ明治三十一年以降著シク其額ヲ增加シ三十三年頃ニ至リテハ鑑定未濟ノモノ土中金庫ニ堆積スルノミナラス尚漸次增加ノ傾向アリ然ルニ一方ニ於テハ日々收納スル補助銀貨及白銅貨等亦夥シク之カ鑑定ニ日モ亦足ラサルカ如キ有樣ニシテ當

時ニ於ケル出納局ノ現在人員ニテハ到底右銅貨ノ鑑定ニ着手スルノ餘裕ナク爲メニ右鑑定ヲ了スルニ迄ニハ幾年ヲ要スルヤノ見込立タス然ルニ回送先金庫ニ對シテハ該回送金ノ鑑定ヲ了セシ上價造若クハ不足金等ノ辨償ヲ要スルノ手續ナルヲ以テ假令數年前ニ遡ルモ尚之カ辨償ヲ命セサルヘカラサルモノナルモ右ハ頗ル穩當ナラサルニヨリ同年六月十三日ヲ以テ此際ニ限リ一々鑑定ノ手數ヲ省キ便宜紙包ノ儘ニテ一先ツ鑑定ヲ了ヘ後日眞鑑定ノ際價造若クハ不足等ヲ發見セシ場合ニハ雜損勘定ヲ以テ之ヲ補塡スルコトヽ定メタリ

中央金庫ニ收納スル租稅其他一般ノ歲入及預金保管金中切手手形ヲ以テ納金シ得ヘキモノハ明治三十年六月大藏省令第十號國稅徵收法施行細則第七條ニ依ル租稅及手數料並ニ三十一年十二月大藏省訓令第五十一條ニ依ル煙草賣拂代金等ニ限ルモ其他ノ納金ニ對シテモ切手手形ヲ持參シ納付スルモノ少カラス又海外公使館領事館ヨリ手形ヲ送付シ來ル場合又ハ各府縣所在ノ納人カ郵便爲替券若クハ所在地銀行ノ振出シニ係ル手形ヲ郵送スル場合アリ斯カル場合ニ於テハ從來其時々取付又ハ交換ノ後納入取扱ヒ即日交換ヲ了シ難キモノ及窓口持込ニ係ルモノヽ中確實ト認メタル分ハ營業部收納方ヘ回付シ本行ニ於テ立替拂ヲナシタルモ既ニ煙草賣拂代金トシテ納入セシ切手手形中當日現金ニ引換了ラサル分ヲ切手手形ノ儘計算整理(現金種類別簿ノ計算ハ紙幣銅貨ノ科目ニシテ只當日國庫局ヘ報告スル受拂報告表並現金有高日計表ニ切手手形ノ科目ヲ以テ登記スルノミ)スルニ於テハ其他ノ收納手形類モ同樣ノ取扱トナスモ何等不都合ナキヲ以テ明治三十八年四月十二日以後ハ交換未了ノ分ニ付テハ本行ニ於テ立替拂ノ手續ヲ經ス切手手形ノ儘整理シ翌日交換スルコトヽシ尙右實施ニ付受入手形中萬一不渡ヲ生スルトキハ本行ニ於テ之ヲ辨償スヘキモノナルモ其責任ハ從來立替拂ヲ爲シタル場合ト同樣ナルヲ以テ從前ト同シク手形受入ノ際周到ナル注意ヲ以テ鑑定スルコトヽセリ

又明治三十一年頃ヨリ取引先ト特約シ同取引先ノ鑑査ヲナシ難キ場合ニハ先ツ大束ノ儘收納シ置キ後日鑑査ノ際不足又ハ贋造等アル場合ニハ取引先ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトヽセシカ其後明治四十一年十一月二十五日調査局長ヨリ支店出張所ヘ對シ爾後取引先又ハ各地本支金庫取扱店ト特約ヲ以テ一枚又ハ一箇ツヽノ鑑定ヲ省略シ現金ヲ收入シタル場合ニ於テ其初鑑ト再鑑トノ間ニ時日ヲ要スヘキ時ト雖再鑑結了マテ受入先ヲ明ニシ置クヘキ旨依命通牒セリ

次ニ現金及地金銀ノ出納保管ニ關スル帳簿及科目ニ就テ之ヲ述フレハ當初本行創立委員ハ現金ノ出納保管ニ關シ收納帳(第一號樣式)仕拂帳第二號樣式)金庫有高帳(第三號樣式)及金銀內分帳ヲ設ケタリ尋テ明治十八年五月九日以降收納帳「他店切手」欄ノ次ニ「兌換銀行券」ノ一欄ヲ追加シ仕拂帳樣式ニモ亦改正ヲ加ヘタリ(第四號)

其後明治十九年四月收納帳(第五號樣式)及仕拂帳(第六號樣式)ノ樣式ヲ改メ又金庫有高帳ヲ廢止シテ金庫出納帳(第七號樣式)ヲ新設シ國庫金部、兌換券發行部、營業部ノ三種ニ分チテ帳簿ヲ整理スルコトヽセリ

斯クテ同年十一月收納帳樣式中「銀貨」欄ヲ「一圓銀貨」「他店切手」欄ヲ「切手手形」「總計」欄ヲ「合計」ト改メテ欄ノ順序ヲ變更シ金貨、一圓銀貨、補助銀貨、銅貨、紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、切手手形、摘要、合計トナシタリ

又爲換或ハ現金ヲ以テ仕拂元金ヲ國庫現金仕拂所ニ回送スルニ際シ回送先ヘノ未達勘定ヲ整理スル爲メ同年十二月回送金記入帳(第八號樣式)ヲ設置セリ

更ニ明治二十年四月ニ至リ國庫金取扱ニ關シ左記四帳簿ヲ設ケタリ

一　回送拂出金記入帳　(第九號樣式)

一　回送受入金記入帳　(第十號樣式)

一　支出命令差引帳　(第十一號樣式)

一　金庫局振替拂記入帳　(第十二號樣式)

右ノ中支出命令差引帳ハ之ヲ記帳スルニ手數勘カラサルヲ以テ同月三十日別ニ支出命令書記入帳(第十三號樣式)及支出減額命令書記入帳(第十四號樣式)ヲ設ケテ日々命令ノ都度之ニ記帳シ毎週土曜日ニ於テ一週ノ合計高ヲ前記差引帳ニ謄記スルコトヽセリ

又地金銀ノ保管ニ關シテハ當初何等ノ帳簿ヲ設ケサリシカ明治二十三年二月十日以降保管地金銀出納帳ヲ設置セリ

收納帳及仕拂帳ニ於テハ現金ノ收支ニ際シ前記ノ如ク明治十九年三月以來金種類ニ據リ一々區別記帳シ來リタルモ此方法ヲ續行スルトキハ爲メニ事務ノ澁滯ヲ釀スコトアルヘキヲ以テ明治二十三年四月以降金種類ノ如何ニ關セス雜種ニテ受拂ヲ爲シ隨テ收支ニ關スル傳票ノ樣式ヲ改正スルト共ニ總說編、計算及統計記帳證憑ノ部參照收納帳(第十五號樣式)仕拂帳(第十六號樣式)ノ樣式ヲ改正セリ

又金庫出納帳ハ從來官金銀券局及營業金ノ三種ニ區別セシモ同月以降樣式ヲ改正シ「名印」欄ヲ削除シ「入高」「出高」及「差引殘高」ノ各欄ニ前記三種ノ內譯欄ヲ設ケ一帳簿ニ取纏メ整理スルコトヽヒリ

尋テ明治二十四年四月以降岐阜和歌山兩出張所ヲ設置スルニ及ヒ現金ノ出納ニ關シテハ收納帳、仕拂帳ヲ設置セス現金受拂帳(第十七號樣式)ヲ置キテ兩者ヲ兼用シ別ニ金銀有高帳(第十八號樣式)ヲ置キテ現在高ヲ明瞭ナラシムルコトヽセリ

尋テ同年四月以降金銀及地金銀有高ヲ金庫別ニ記帳スルヲ必要ト認メ金銀保藏高帳(第十九號樣式)金庫別金銀保藏高帳(第二十號樣式)並ニ金庫別地金銀保藏高帳(第二十一號樣式)ヲ設ケタリ

尋テ同年五月一日以降收納帳、仕拂帳及金庫出納帳ノ樣式中官金、銀券局、營業金ノ三欄ニ區別スルヲ廢シ其樣式ヲ改正セリ(第二十二號乃至第二十四號)

斯クテ明治二十五年一月以降諸帳簿樣式改正正實施ノ際現金及地金銀ノ保管ニ關スルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

收納帳　(樣式變更ナシ)

仕拂帳　(同　上)

金庫出納帳　(同　上)

金銀保藏高帳　(同　上)

金庫別金銀保藏高帳　(同　上)

金庫別地金銀保藏高帳　(同　上)

保管地金銀出納帳　(同　上)

金庫別金銀保藏高帳　(同　上)

(第二十五號樣式)

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

(支店專用　第二十六號樣式)

本店預地金銀種類内譯帳
現金受拂帳
金銀有高帳

尋テ官金勘定ニ屬スル兌換券ノ取扱方ヲ改正シタルニ付明治二十五年十二月十五日以降收納帳、仕拂帳、金庫出納帳、金銀保藏高帳(第二十八號樣式)金庫別金銀保藏高帳(第二十九號樣式)ノ樣式ヲ改正シ官金、金銀券局營業金ノ三部ニ區別スルコトヽセリ是ニ於テ收納帳ハ曩ニ明治二十三年四月實施ノ樣式ニ復シ仕拂帳ハ同月實施ノ樣式未尾ニ「摘要」欄ヲ追加シ金庫出納帳ハ同月實施ノ改定樣式ノ「入高」「出高」ノ文字ヲ「受入高」「拂出高」ニ改メタルニ止マレリ

然ルニ官金事務及銀行紙幣消却事務ハ明治二十六年十二月末日ヲ以テ營業事務ヨリ分離取扱フコトヽナリタルヲ以テ二十七年一月以降收納帳、仕拂帳、金庫出納帳及金銀保藏高帳ハ各「官金」欄ノ次ニ「銀行紙幣消却部」ノ欄ヲ追加セリ

出張所使用帳簿ハ可成簡易ヲ旨トシタルヲ以テ本支店ニ於テ使用セル金庫出納帳ハ初メ之ヲ設置セス金銀有高帳ヲ以テ兼用セシメ來リタルモ明治二十七年一月以降本支店同樣之ヲ設ケタリ

其後收納帳、仕拂帳、金庫出納帳及金銀保藏高帳ノ「官金」欄ヲ廢シ「銀券局」ヲ「發行部」ト改メ「營業金」ヲ「營業部」ト改メタリ

尋テ明治三十二年七月一日以降發行部事務ノ取扱ヲ改正セシヲ以テ營業部及發行部ニ屬スル地金銀ノ保管高ヲ明瞭ナラシムル爲メ地金銀出納帳ヲ廢シテ更ニ保管金銀塊出納帳(第三十號樣式)保管舊貨幣出納帳(第三十一號樣式)保管外國貨幣出納帳(同上)及保管金貨證書出納帳(第三十二號樣式)ヲ新設シ又金庫別地金銀保藏高帳(第三十三號樣式)ノ樣式ヲ改メタリ

其後明治三十三年三月一日以降地金銀ヲ金庫別ニ記帳整理スルノ目的ヲ以テ金銀塊保藏高帳(第三十四號樣式)金貨證書保藏高帳(第三十五號樣式)舊貨幣保藏高帳(第三十六號樣式)及外國貨幣保藏高帳(同上)ヲ設ケタリ

明治三十三年四月以降大阪支店ニ於テハ金庫別本店保管金保藏高帳(第三十七號樣式)ヲ設ケ同時ニ本店保管地金銀種類内譯帳ヲ廢シ本店保管金保藏高帳(第三十八號樣式)ヲ改正セリ其後他ノ支店出張所ニ於テモ本店保管金ノ取扱ヲナサシムルコトヽシタルニ依リ明治三十五年五月以降大阪支店同樣ノ帳簿ヲ使用セシメタリ

初メ本支店出張所相互間ニ現金ヲ回送スル場合ハ直ニ當該勘定科目ヲ以テ支出シ來リシカ此方法タルヤ現金遞送中ハ本行ノ金銀勘定ヨリ除却セラルヽノ結果トナルヲ以テ明治三十七年五月十六日以降右ノ場合ニ於テハ直ニ仕拂傳票ヲ作成セス回送先ニ到達シタルトキ始メテ之ヲ作成スルニ改メ其記帳手續ヲ左ノ如ク定メタリ

本支店出張所相互間現金回送ニ係ル記帳手續

一　本支店出張所相互間現金回送ノキハ當該勘定ニ對スル主務局課(係)ヨリ別紙樣式ノ遞送金通知書(第三十九號樣式)ヲ以テ回送方ヲ出納局(係)ニ通知シ出納局(係)ハ該通知ニ依リ金庫在高ニ對シテ拂出ノ記帳ヲナシ遞送金明細帳(第四十號樣式)ニ轉記スルモノトス

二　前項回送金ニ對シ其受入先ニ於テ受入ノ記帳ヲナシタルトキハ直ニ電報ヲ以テ其旨ヲ回送發送先ニ報告スルモノトス

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

三　回送金受入濟ノ電報回送金發送先ニ到達シタルキハ當該勘定ニ對スル主務局課(係)ニ於テ相當科目ヲ以テ仕拂傳票ヲ作成シ出納局(係)ハ之ニ依リ遞送金明細帳ノ決算整理ヲナスモノトス

四　第二項及第三項ノ受拂ハ發送先及受入先ニ於テ其同日ニ記帳整理スルヲ要スルモノトス

通貨、地金其他ノ物件ニシテ大阪支店ノ計算ニ屬セサル假保管品ヲ整理スル爲メ同支店ノ申出ニ依リ明治四十年一月以降假保管品記入帳(第四十一號乃至第四十三號樣式)及假保管品出入帳(第四十四號樣式)ヲ設置セリ

尋テ明治四十年七月以降本行內ニ分析所ヲ設置シタルヲ以テ之カ取扱事務ヲ整理スルカ爲メ賣渡請求地金保管帳(第四十五號樣式)分析所地金出納帳(第四十六號樣式試驗濟地金出納帳(第四十七號樣式)分析所地金記入帳(第四十八號樣式)金銀地金成績帳(第四十九號樣式)及金銀混合地金成績帳(第五十號樣式)ヲ設置セリ

國庫金ノ出納保管ニ關シテハ從來一般現金出納保管ノ帳簿ニ依リテ整理シ來リシモ明治二十三年四月一日以降國庫金取扱ニ關スル組織改正セラレタルヲ以來中央金庫ニ屬スル現金ノ出納ハ中央金庫現金受拂簿(第五十一號樣式)及中央金庫內譯有高簿(第五十二號樣式)ニ依リテ整理スルコトヽセリ」

尋テ明治三十三年一月以降國庫部現金金庫有高ヲ詳記スルカ爲メ本店ニ於テハ中央金庫現金保藏高帳(第五十三號樣式)ヲ設ケタリ

前記ノ如ク本店ニ於テハ國庫金出納保管ニ關シ中央金庫現金受拂簿同內譯有高簿及同金銀保藏高帳ヲ使用シ來リタルモ支店出張所ニ於テハ之ト同一目的ノ帳簿ノ設備ナカリシヲ以テ明治四十年一月以降其名稱ヲ國庫現金受拂簿、國庫現金內譯簿、國庫現金保藏高簿(樣式總テ從前ノ通)ト改メ本支店出張所共用トシ尙右ノ中國庫現金保藏高簿ハ國庫金ニ關シ二ヶ所以上ノ金庫ヲ使用セサル支店「出張所ニ在テハ國庫現金內譯簿ヲ以テ代用スルヲ得ヘク又同帳簿ハ營業部用金銀保藏高帳ニ準シ金庫每ニ大別シ金種類每ニ口座ヲ設ケテ記入スルコトヽセリ

又明治三十七年軍用切符發行ニ付現品ノ出納上整理帳簿ノ設置ヲ必要トシ同年一月軍用切符受拂帳、償還濟軍用切符受拂帳(第五十四號樣式)ヲ設ケタルカ現品出納手續ノ改正ニヨリ三十八年一月ニ至リ之ヲ廢止セリ

第一號　收納帳

明治　年　月　日（明治十五年十月實施）

金貨	銀貨	銅貨	紙幣	銀行紙幣	他店切手	摘要	總計

第二號　仕拂帳

明治　年　月　日（明治十五年十月實施）

金貨	銀貨	銅貨	紙幣	銀行紙幣	摘要	總計	仕拂元金

第三號　金庫有高帳

（明治十五年十月實施）

明治年	摘要	收入	仕拂	名印	差引殘高

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

帳

月　日　（明治十八年五月實施）

摘要	總計	仕拂元金			
		通貨	銀行紙幣	兌換銀行券	摘要

帳

月　　日　　（明治十九年四月實施）

總計	摘要	銅貨	兌換銀行券	切手	他店

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

帳

月　　日　　（明治十九年四月實施）

仕拂元金									
金貨	壹圓銀貨	補助銀貨	銅貨	紙幣	銀行紙幣	兌換銀行券	切手手形	摘要	

第四號　　仕拂

明治　　年

金貨	銀貨	銅貨	紙幣	銀行紙幣	兌換銀行券

第五號　收納

明治　年

金貨	銀貨	補助銀貨	紙幣	銀行紙幣

第六號　仕拂

明治　年

金貨	壹圓銀貨	補助銀貨	銅貨	紙幣	銀行紙幣	兌換券銀行	手形切手	摘要	總計

第七號　金庫出納帳

（施實月四年九十治明）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

明治年	摘要	受	出	名印	差引殘高有

第八號　回送金記入帳

（明治十九年十二月實施）

明治年	支拂所名	種類	金額	領收月日	摘要

第九號　回送拂出金記入帳

（明治二十年四月實施）

發出月日	回送先名	種類	金員	爲換又ハ現送	領收月日	摘要

第十號　回送受入金記入帳

（明治二十年四月實施）

令達附日	番號記號	送納先	種類	金額	爲換又ハ現送	發送月日	期納附日	領收月日	月納附日	日怠納數	利怠納息	摘要

第十一號　支出命令差引帳

（明治二十年四月實施）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

明治年	摘要	番號	支出命令高	支出命令減額高	支出ノ分納返高	現支出高	差引未拂高

第十二號　金庫局振替拂記入帳

（明治二十年四月實施）

明治年	渡先	符號番號	符日切月	金額	信ハ便電又郵	濟拂日月	摘要

第十五號　収納帳

明治　年　月　日（明治二十三年四月實施）

摘要	官金	銀券局	營業金

現金及有價證券ノ出納保管

現金ノ出納保管

帳

月　日　（明治二十三年四月實施）

摘要	仕拂元		
	官金	銀券局	營業金

第十三號　支出命令書記入帳

（明治二十年四月實施）

明治年	出納所名	摘要	番號	證書月日	支出命令高	送附月日

第十四號　支出減額命令書記入帳

（明治二十年四月實施）

明治年	出納所名	摘要	番號	證書月日	支出減額命令高	送附月日

第十七號　現金受拂帳

明治　年　月　日（明治二十四年四月實施）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

摘要	收納高	摘要	仕拂高

第十六號　仕拂帳

明治　年

官金	銀券局	營業金

高帳

（明治二十四年四月實行）

銅貨	紙幣	銀行紙幣	兌換銀行券	他店手形 切手	合計

第十九號　金銀保藏高帳

（施實月四年四十二治明）

現金及有價證券ノ出納保管

現金ノ出納保管

明治年	摘要	受入高		拂出高		差引殘高	

金庫ヲ以テ大別シ國庫金又ハ營業金ノ金種類ニ小別ス

第十八號　有金銀

明治年	摘要	金貨		壹圓銀貨		補助銀貨		白銅貨	

第二十號

金庫別金銀保藏高帳

明治　年　月　日

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

種類	本店 第一號金庫	本店 第二號金庫	本店 第三號金庫	本店 第五號金庫	本店 第六號金庫	大藏 第一號金庫
國庫金						
金貨						
壹圓銀貨						
補助銀貨						
白銅貨						
銅貨						
紙幣						
銀行紙幣						
切手々形						
兌換銀行券						
壹分銀						
流通不便貨幣						
舊貨幣						
外國貨幣						
合計						
營業金						
金貨						
壹圓銀貨						
補助銀貨						
白銅貨						
銅貨						
紙幣						
銀行紙幣						
切手々形						
合計						
未發行兌換銀行券						
引上紙幣						

（施實月四年四十二治明）

省分庫 第二號金庫	省分庫 第四號金庫	大阪支店	横濱正金銀行	三井銀行横濱分店	淺草金庫			合計
							金銀保藏高帳ヨリ轉記ス	

第二十一號　　金地金別庫

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

明治年	摘要	金貨	金塊	金塊證書	銀塊	英國金貨
	本行内第　號金庫					
	大藏省内第　號金庫					
	大阪支店金庫					
	外預ケ先金庫					
	合計					

本帖ハ保管地金銀出納帖ニヨリ登記スルモノトス

第二十三號　　仕拂帳

明治　年　月　日（明治二十四年五月實施）

金額	摘要	仕拂元金	
		金額	摘要

保藏高帳

（明治二十四年四月實施）

佛國金貨	米國金貨	以上外諸國金貨	舊貨幣	混同地金銀		

第二十二號　　收納帳

（明治二十四年五月實施）

明治　年　月　日　　明治　年　月　日

摘要	金額	摘要	金額

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

保藏高帳

月　日　(明治二十五年一月實施)

摘要	第號金庫	第號金庫	第號金庫	第號金庫	第號金庫	崎川分庫	波難分庫
官金							
金貨							
壹圓銀貨							
補助銀貨							
白銅貨							
銅貨							
紙幣							
銀行紙幣							
切手手形							
兌換銀行券							
營業金							
金貨							
壹圓銀貨							
補助銀貨							
白銅貨							
銅貨							
紙幣							
銀行紙幣							
切手手形							
兌換銀行券							
未發行兌換銀行券							
引上紙幣							

第二十四號　金庫出納帳

(明治二十四年五月實施)

明治年	摘要	受入高	拂出高	差引殘高

第二十五號　保管地金銀出納帳

(明治二十五年一月實施)

明治年	摘要	受入高	拂出高	差引殘高

第二十六號　　金庫別金銀

明治　　年

摘要	第金號庫	第金號庫	第金號庫	第金號庫	第金號庫	川分崎庫	難分波庫
國庫金							
金貨							
壹圓銀貨							
補助銀貨							
白銅貨							
銅貨							
紙幣							
銀行紙幣							
切手手形							
兌換銀行券							
壹分銀							
流通不便貨幣							
舊貨幣							
外國貨幣							
銀券部							
金貨							
壹圓銀貨							
補助銀貨							

種類內譯帳

(明治二十五年一月實施)

出高		差引殘高		
金貨	銀貨	個數	金貨	銀貨

現金及有價證券ノ出納保管

現金ノ出納保管

藏高帳

(明治二十五年十二月實施)

出高		差引殘高		
銀券局	營業金	官金	銀券局	營業金

第二十九號　金庫別金銀保藏高帳

（明治二十五年十二月實施）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

種類	何號金庫	何號金庫		

第二十七號　本店預地金銀

明治年	摘要	受入高 個數	受入高 金貨	受入高 銀貨	拂 個數

第二十八號　保金銀

明治年	摘要	受入高 官金	受入高 銀券局	受入高 營業金	拂 官金

第三十號　保管金銀

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

明治年	摘要	受高								拂高			
		營業部				發行部				營業部			
		箇數	全量	雜分量	純量	箇數	全量	雜分量	純量	箇數	全量	雜分量	純量

定型金塊、雜金塊、銀塊等ノ口座ヲ設ク

第三十一號　保管舊貨幣出納帳　保管外國貨幣出納帳

明治年	摘要	受高		拂高		差引殘高	
		營業部	發行部	營業部	發行部	營業部	發行部

保管舊貨幣出納帳
一　舊貨幣種類毎ニ且「總計」ノ口座ヲ設ク
二　舊貨幣ハ箇數ヲ以テ受拂ヲナスヘシ

保管外國貨幣出納帳
一　外國貨幣種類毎ニ且「總計」ノ口座ヲ設ク
二　外國貨幣ハ各國本位ノ名(假令ハ磅、法、弗、留等)ヲ以テ受拂ヲナスヘシ

塊出納帳

(明治三十二年七月實施)

拂高						差引殘高					
營業部			發行部			營業部			發行部		
箇數	全量	雜分量	純量	箇數	全量	雜分量	箇數	全量	雜分量	純量	箇數	全量	雜分量	純量

幣出納帳　貨幣出納帳

(明治三十二年七月實施)

拂高		差引殘高	
營業部	發行部	營業部	發行部

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第三十二號　保管金貨

明治年	摘要	受高 營業部 枚數	受高 營業部 金額	受高 發行部 枚數	受高 發行部 金額

第三十三號　金庫別地金銀保藏高帳

明治　年　月　日（明治三十二年七月實施）

種類	甲號金庫 營業部	甲號金庫 發行部	子號金庫 營業部	子號金庫 發行部	合計 營業部	合計 發行部
英國金貨						
米國金貨						
金貨證書						
舊貨幣						
雜金塊						

證書出納帳

（施實月七年二十三治明）

拂高 營業部 枚數	拂高 營業部 金額	拂高 發行部 枚數	拂高 發行部 金額	差引殘高 營業部 枚數	差引殘高 營業部 金額	差引殘高 發行部 枚數	差引殘高 發行部 金額

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第三十四號　金銀塊保藏高帳

（明治三十三年三月實施）

明治年	摘要	受高 全量	金分量	銀分量	雜分量	拂高 全量	金分量	銀分量	雜分量	差引殘高 全量	金分量	銀分量	雜分量

本帖ハ發行部、營業部ニ區別シ又金庫毎ニ且種類別ニ口座ヲ設クヘシ

第三十五號　金貨證書保藏高帳

（明治三十三年三月實施）

明治年	摘要	受高 營業部 枚數	金額	發行部 枚數	金額	拂高 營業部 枚數	金額	發行部 枚數	金額	差引殘高 營業部 枚數	金額	發行部 枚數	金額

本帖ハ金庫別ニ口座ヲ設クヘシ

第三十六號　　舊貨幣保藏高帳
　　外國貨幣保藏高帳

（施實月三年三十三治明）

明治年	摘要	受高		拂高		差引殘高	
		營業部	發行部	營業部	發行部	營業部	發行部

本帖ハ金庫別ニ口座ヲ設クヘシ

營金保藏高帳

月　　日　　（施實月四年三十三治明）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第四號庫		第五號庫		新築甲號庫		新築乙號庫		合計	

保藏高帳

證書　金銀雜　　（施實月四年三十三治明）

拂出高				差引殘高					
純量		代價		個數枚數又ハ全量	純量		代價		
金　分	銀　分	金　分	銀　分		金　分	銀　分	金　分	銀　分	

第三十九號樣式

遞送金通知書

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

金額	
回送先	
摘要	

明治　年　月　日

出納局(係)御中

局(係)

年月日	明治　年　月　日
金額	
回送先	
摘要	

第四十號　遞送金明細帳

明治年	摘要	回送高	到達高	差引殘高

備考

本帳ハ口座ヲ金種類ニ區別シ末尾ニ合計ヲ設ク可シ

第三十七號　金庫別本店保

明治　年

摘要	第一號庫		第二號庫		第三號庫	
金貨證書						
定型金塊						
金塊						
金銀雜(金分)						
〃(銀分)						
舊貨幣(金分)						
〃(銀分)						
別口金塊(金塊)						
〃(證書)						
別口銀塊						
別口保管金						

第三十八號　本店保管金

何號庫　何金塊　金貨

明治年	摘要	受入高						個數枚數又ハ全量
		個數枚數又ハ全量	純量			代價		
			金 分	銀 分		金 分	銀 分	

備考

本帳簿ハ各種類並ニ金庫別ニ口座ヲ設ク

同種類ニシテ所在ノ金庫ヲ異ニスルモノハ尚金庫別ニ區分ス

記　　入　　帳

（明治四十年一月實施）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

造幣局試驗成績						拂出月日	拂出摘要
試驗濟月日	鎔解減		殘量		貨幣拂渡證書		
					枚數	金額	
	匁		匁				

第四十四號　假保管品出入帳

（明治四十年一月實施）

明治年	摘要	受入高	拂出高	差引殘高

第四十一號　假保管品記入帳

（內國銀地金分）　（明治四十年一月實施）

明治年	摘要	量目	拂出種別	拂出月日	報告番號
		匁			

第四十二號　假保管品記入帳

（外國銀塊分）　（明治四十年一月實施）

明治年	受入摘要	船名	回着月日	個數	量目	造幣局秤量	拂出月日	拂出摘要
					匁			

金出納帳

（施實月七年十四治明）

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

拂				殘
試驗片	試驗片	碎屑	鎔解減	
匁 分	匁 分	匁 分	匁 分	貫 匁 分

第四十七號　試驗濟地金出納帳

（明治四十年七月實施）

明治年	摘要	受	拂	殘
		貫 匁 分	貫 匁 分	貫 匁 分

第四十三號　假保管品

（分塊金國外）

明治年	受入摘要	船名	回着月日	個數	目量
					匁

第四十五號　賣渡請求地金保管帳

（明治四十年七月實施）

明治年	證書番號	請求者	品目	數量	完了月日	摘要

第四十六號　　分析所地

明治年	摘要	受	鎔解濟塊
		貫 匁 分	貫 匁 分

金記入帳

（明治四十年七月實施）

塊ノ番號	塊ノ量	試驗片	試驗片	碎屑	鎔解減	報告月日	買入又ハ返却月日	備考
	貫 匁 分	匁 分	匁 分	匁 分	匁 分			

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第四十八號　　分析所地

保管證番號	受入月日	姓名及名稱	原量	記號	試驗濟月日	品位 金	品位 銀
			貫 匁 分			千 分 中	千 分 中

金銀地金成績帳

（明治四十年七月實施）

塊ノ番號	試驗品位 千 分 中	每塊ノ量 貫 匁 分	試驗片 匁 分	試驗片品位 千 分 中	試驗片 匁 分	碎屑品位 千 分 中	碎屑 匁 分	純金(銀)量 貫 匁 分	又ハ買入返却月日	備考

金銀地金成績表

（明治四十年七月實施）

每塊ノ量 貫 匁 分	試驗片 匁 分	試驗片品位 金 千 分 中	試驗片品位 銀 千 分 中	試驗片 匁 分	碎屑品位 金 千 分 中	碎屑品位 銀 千 分 中	碎屑 匁 分	純金量 貫 匁 分	純銀量 貫 匁 分	又ハ買入返却月日 明治 年	備考

第四十九號　金銀地金

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

保管證號番	受入月日	姓名	地金名稱	記號	原量 貫 匁 分	鎔解減 貫 匁 分	殘量 貫 匁 分

第五十號　金銀混合地金

保管證號番	受入月日 明治 年	姓名	地金名稱	記號	原量 貫 匁 分	鎔解減 貫 匁 分	殘量 貫 匁 分	塊ノ號番	試驗品位 金 千 分 中	試驗品位 銀 千 分 中

第五十一號　中央金庫現金受拂簿

（明治二十三年四月實施）

明治年	摘要	受高	拂高	差引殘高

第五十二號　中央金庫內譯有高簿

（明治二十三年四月實施）

明治年	摘要	金貨	壹圓銀貨	補助銀貨	白銅貨	銅貨	何々	何々	合計

現金及有價證券ノ出納保管　現金ノ出納保管

第三十五號　中央金庫現金保藏高帳

（施實月一年三十三治明）

治明年	摘要	受入高	拂出高	差引殘高

第四十五號　{軍用切符受拂帳 / 償還濟軍用切符受拂帳}

（施實月一年七十三治明）

治明年	摘要	受入高		拂出高		差引殘高	
		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額

備考

軍用切符受拂帳

本帳ハ現品ヲ受入レタルトキハ受入高ニ仕拂ヲナシタルトキ及他ヘ回送シタルトキハ拂出高ニ記入スルモノトス

本帳ノ口座ハ切符ノ種類ニ區別シ末尾ニ合計ヲ設クルモノトス

償還濟軍用切符受拂帳

本帳ハ當所ニ於テ引換償還シタルモノ及他所ニ於テ引換ノ上回送シ來リタルモノヲ受入高ニ又大藏省ヘ還納シタルモノヲ拂出高ニ記入スルモノトス

本帳ノ口座ハ切符ノ種類ニ區別シ末尾ニ合計ヲ設クルモノトス

第二節　有價證券ノ出納保管

本行所有ノ公債證書及保護預又ハ抵當ニ取リタル物品證券等ノ保管ハ初メ假内規第百五十六條ノ規定ニ依リ株式局公債課ニ於テ之ヲ取扱フヘキモノトセリ而シテ右有價證券ノ出納保管ニ關スル取扱ノ細目ハ本編割引、定期貸等ノ各章並總說編資本金、株式ノ章等ニ讓リ以下其手續ノ概要ヲ略記センニ初メ抵當品保證品等ハ主務ノ局課ニ於テ査收シ株式局公債課ニ回付シ同局ニ於テ再鑑ノ上保管シ來リシニ其後現品ハ預ケ主ヨリ直接株式局ニ提出スヘキモノトナシ明治十六年六月二十五日代理店ヨリ國庫局ニ預ルヘキ保證品ノ取扱手續（本編、定期貸ノ部參照）十七年四月十日割引保證品預入手續（本編、當座預金及當座貸ノ部參照）ヲ定メタリ

當品收出手續（本編、當座貸ノ部參照）

降テ明治二十三年一月本行組織改正ノ際株式局ノ分課ヲ廢止シタルモ有價證券保管ノ事務ハ依然株式局ノ主管タリキ尋テ同年八月二十日株式局事務取扱手續ヲ制定スルニ及ヒ其第四章ニ於テ保護預並出納官吏身元保證保管預リ手續第五章ニ於テ各種保管品取扱手續第六章ニ於テ公債當籤證書及利札截斷取扱手續ヲ規定セリ然ルニ其後有價證券ノ出納保管ニ關スル取扱手續ハ時日ノ經過スルニ從ヒ多少ノ變更ヲ見ルニ至レリ

元來國庫金取扱所代理店保證品及「コルレスポンデンス」根抵當品ハ本行本支店ノ内ヘ預入スルノ規定ナリシカ遠隔ノ地ニアル代理店ノ便宜ヲ圖リ明治十六年八月二十九日大藏卿ヘ經伺ノ上自今便宜代理店所在地ノ地方廳ヘ預入スルヲ得ルモノトシ同年九月八日縣廳ニ於ケル保證品出入手續（本編現金及有價證券ノ出納保管　有價證券ノ出納保管）

爲換ノ部參照ヲ定メタリシカ其後交通ノ便開クルニ從ヒ三十一年十月三日以降凡テ本行本支店出張所ニ於テ之ヲ保管スルモノトセリ

越エテ明治三十二年一月實施ノ內規第二十三條ニ於テ保證品ヲ預リタルトキハ之ニ對シ預證又ハ通帳ヲ交付スルモノトスト規定シ抵當品及根抵當品ノ取扱手續ハ凡テ右第二十三條ニ準據スヘキモノトシ尙本店ニ於ケル有價證券ノ保管事務ハ依然株式局ノ主管タルコトヲ明カニセリ

尋テ同年九月二十六日本支店出張所ニ於ケル當座「コルレスポンデンス」根抵當品及金庫公債事務保證品ノ保管方ヲ整理スル爲メ文書局主管ノ保證品及根抵當品保管取扱手續(本編當座預金及當座貸ノ部參照ヲ定メ以テ該有價證券出納ノ取扱手續ヲ詳細規定スルト共ニ從ヒ屢次改正增補ヲ爲シタル處アリシカ爾後必要ニ從ヒ尙又右取扱手續ハ明治四十二年十月二十六日ヲ以テ鐵道派出所及鐵道預金取扱代理店ヨリ徵求スル保證品ノ保管方ニモ之ヲ準用スルモノトセリ

是ヨリ先明治三十三年十二月十三日行內有價證券寄託規則ヲ制定シ三十四年一月一日ヨリ實施スルコトヽセリ右ハ從來本店各局課長並秘書役ニ於テ主管スル有價證券及契約書等ノ保管方ヲ統一整理スルカ爲ナリ

次ニ有價證券ノ出納保管ニ關スル帳簿ヲ記載センニ當初公債證書番號記入帳ノ外ハ十數種ノ假帳ヲ設ケテ記入整理シタリシカ斯クテハ事務取扱上不便尠カラサルヲ以テ明治十六年十二月六日右假帳ヲ廢シ代フルニ保管品預リ帳、同種類區別帳及同出入帳ヲ以テセリ

然ルニ保管品預リ帳及同種類區別帳ハ明治二十年七月一日以降之ヲ廢シ更ニ保管品記入帳ヲ設置セリ

其後明治二十五年一月以降諸帳簿ノ樣式ヲ一定シタル際有價證券ノ出納保管ニ關スル帳簿トシテ擧ケタルモノハ左ノ如シ

保管品記入帳(第一號樣式)
保管品出入帳(第二號樣式)
公債證書番號記入帳(第三號樣式)
本行所有(元資)公債種類別帳(第四號樣式)

其後本店ニ於テハ保管品記入帳中國庫部ヲ除クノ外「預リ先」欄ヲ削除シ取引先每ニ口座ヲ設ケ記入スルコトヽシタルカ三十三年一月以降支店出張所ニ於テモ同樣「預リ先」欄ヲ削除シタリ

從來本行所有ノ公債證書モ他ヨリ保管ヲ依賴セラレタルモノモ共ニ公債證書番號記入帳ニ記入シ來リタルカ明治三十五年十一月十四日之ヲ區別シ所有公債證書記番號記入帳及保管公債證書記番號記入帳(第五號樣式)ノ二種トセリ

保管品記入帳ハ從來記帳上ノ便宜ヲ圖ル爲メ之ヲ數種ニ區別シ明治三十九年十二月頃ニ於テハ(一)定期貸抵當、割引保證(二)割引據置保證當座勘定根抵當、コルレス根抵當(三)金庫公債事務保證、保護預、行內寄托、保管、供託、移送保管、移送供託、各自預金ノ三種トセリ然ルニ明治四十年一月以降之ヲ改正シテ二種トナシ第一種第六號樣式)ヲ定期貸抵當、割引保證(商品)(有價證券)(據置保證品)、當座貸根抵當、コルレス根抵當トシ第二種(第七號樣式)ヲ金庫公債事務保證、行內寄托(披封)(封緘)供託、保管、各自預金各人移送供託、移送保管トセリ

現金及有價證券ノ出納保管　有價證券ノ出納保管

明治三十九年株式局ニ於ケル有價證券保管倉庫ヲ二ケ所ニ區分スルヤ翌四十年一月ヨリ保管品保藏高帳第八號様式)ヲ新設セリ

曩ニ明治三十七八年戰役ニ關シ下賜セラレタル陸海軍々人行賞ニ係ル公債證書ハ明治三十九年八月以降中央金庫又ハ各地金庫ヘ預托スルヲ得ルコトヽナリ爾來其取扱高多數ニ上リ從來使用ノ帳簿ニテハ多大ノ手數ヲ要シ隨テ整理上遲滯ヲ釀スノ虞アルニ依リ同月十八日別ニ株式局ニ保管公債證書記番號記入帳(第九號様式)ヲ新設シタルカ爾來保管ノ枚數頗ル增加シ明治四十年三月頃ニ於テ約百二十萬枚ニ達シ尚增加ノ趨勢アリ而シテ受賞者ノ請求ニ依リ預金部ヘ買入ヘキ枚數モ約五十萬枚ニ達スヘキヲ以テ右記入帳ニテハ事務ノ澁滯ヲ來シ誤謬ヲ生スルノ恐アルヲ以テ「カード」ヲ以テ記入帳ニ代ヘ右預金部買上公債證書ヲ整理シ尚引續キ預金運用購入及各自預金購入保管公債證書ヲモ左記改正要領ニ從ヒ(詳細ノ取扱手續ハ略ス)「カード」ヲ以テ整理スルコトヽセリ

一　預金部ノ(預金運用購入、各自預金購入保管)各公債證書等ハ現今各別ニ整理保管シアルヲ今後ハ證書種別及ヒ記號ノ異同ニ從ヒ凡テ一團ト爲シ番號順ニ整理スル事

一　右公債證書一葉毎ニ之ヲ表スル「カード」ヲ調製シ之ヲ計算科目別ニ分割整理スル事

一　各科目間相互振替ヘ(例ハ預金運用ヲ拂出シ各自購入保管ニ組ミ入ルヽカ如シ)ノ場合ニハ單ニ「カード」ノミヲ入レ替ヘ現物ハ更ニ動カサヽル事

一　「カード」ヲ以テ記番號帳ニ代ヘ記番號帳ヲ廢スル事

一　現物ヲ金庫ヨリ取出シタルトキハ之ニ對スル「カード」ヲ抽出シ當該科目毎ニ區分シ記番號帳保存期間保存シ置ク事

從來保管品記入帳ハ本支店出張所ヲ通シテ之ヲ設ケタルモ支店出張所ニ於テハ本帳ヲ省略スルモ左シテ差支ナキヲ以テ明治四十一年七月以降各店執務上ノ都合ニ依リ便宜之ヲ省略シ得ルコトヽセリ

曩ニ記載シタル公債種別帳ハ明治四十一年七月以降之ヲ國債證券種類別帳ト改稱シタルカ其後勸業債券、貯蓄債券等ノ保管高漸次增加セルヲ以テ明治四十二年二月一日以降是等ノ證券ヲモ國債證券ト同様ニ記帳シ隨テ帳簿名稱ヲ證券種類別帳ト改ムルト共ニ其様式(第十號)ヲ改正セリ

第一號　保管品記入帳

（明治二十五年一月實施、其以前不詳）

明治年	番號	預リ先	種類	個數又量目	金額	返却月日	摘要

第二號　保管品出入帳

（明治二十五年一月實施、其以前不詳）

明治年	摘要	受入高		拂出高		差引殘高	
		個數又量目	金額	個數又量目	金額	個數又量目	金額

第三號　公債證書番號記入帳

（明治二十五年一月實施、其以前不詳）

現金及有價證券ノ出納保管　有價證券ノ出納保管

明治年	受入摘要	記號	番號	仕拂摘要

第四號　公債種類別帳　{本行所有 / 本行元資}

（明治二十五年一月實施、其以前不詳）

明治年	摘要	受入高		拂出高		差引殘高	
		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額

第五號　所有保管公債證書記番號記入帳

（明治三十五年十一月實施）

明治年	摘要	番號	拂出			
			年	月	日	摘要

第六號　保管品記入帳

（本支店出張所共用）（明治四十年一月實施）

明治年	番號	種類	數量	金額	返却年月日	摘要

第七號　保管品記入帳

（本支店出張所共用）（明治四十年一月實施）

明治年	番號	預リ先	種類	數量	金額	返却年月日	摘要

現金及有價證券ノ出納保管　有價證券ノ出納保管

第八號　保管品保藏高帳

（明治四十年一月實施）

明治年	摘要	受入高		拂出高		差引殘高	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額

現金及有價證券ノ出納保管　有價證券ノ出納保管

第　十　號　　證　券　種

明治年	摘要	入						
		円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券

券種類欄ヲ記號又ハ發行回數欄ニ改ムルコトヲ妨ケス

第　九　號　保管公債證書記番號記入帳（明治三十九年八月實施）

行賞　特別五分利公債　圓券　第　番ヨリ第　番

受入年月日	番號	仕拂年月日	受入年月日	番號	仕拂年月日	受入年月日	番號	仕拂年月日
	1			51			101	
	2			52			102	
	3			53			103	
	4			54			104	
	5			55			105	
	50			100			150	

類　別　帳

（施實月二年二十四治明）

出							殘						
円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券	円券

第十二章　手形ノ交換及取立

手形ノ交換

本行ハ手形交換所ノ設立ニ付密接ナル關係ヲ有スルカ故ニ今左ニ本邦各地方ニ於ケル手形交換所設立ノ由來及其後ノ沿革ニ就テ概說スル所アルヘシ

明治十年七月中澁澤榮一等ノ首唱ニ依リ東京ニ於テ擇善會ナルモノヲ組織シ同盟銀行營業上ノ機關ニ供シタリシカ十三年八月ニ至リ其組織ヲ變更シテ東京銀行集會所トナシ尋テ同年十月ニ至リ同集會所同盟各銀行申合ノ上爲替取組所ヲ設ケ同盟銀行ノ爲替ヲ取扱ヒ來リシカ十五年手形條例ノ頒布ニ依リ一層手形ノ取引ヲ擴伸スルノ目的ヲ以テ十六年九月大藏卿ノ認可ヲ得テ爲替取組所ヲ廢シ之カ代リニ手形取引所ヲ設置シ申合規則ヲ作リテ手形取引ニ從事シタルカ其申合規則未タ完キヲ得サルモノアリテ一時之ヲ中止セリ其後第一國立銀行外十五行協議ノ上二十年十二月一日ヨリ新ニ東京銀行集會所内ヘ東京手形交換所ヲ開キ手形小切手ノ交換ヲ開始シタリ然ルニ同交換所ニ於ケル交換差額決濟ノ方法ハ借方銀行ヨリ小切手ヲ振出シテ貸方銀行ニ交付セルヲ以テ實際ノ決濟ヲ爲サントスルヘカラサルノ不便アリ其他不備ノ點多カリシカ故ニ二十四年二月二十八日限リ之ヲ廢止シ同年三月一日ヨリ第一國立銀行外十行ノ發起ニテ東京交換所ヲ設立セリ

是ヨリ先明治二十三年十二月十二日東京銀行集會所ヨリ同所内ニ設置セル東京手形交換所決算上ノ都合ニ依リ本行ヨリモ同盟銀行ト同シク交換員ヲ出席セシメ本行ニ於テ收入ノ手形ハ都テ交換所ヘ持出サシムルカ又ハ右交換員ノ出席不可能ナラハ交換所ハ之ヲ廢シ各銀行ヘ收入ノ他店手形小切手ハ都テ本行ヘ當座預金トシテ振込ムヘキニ付假令今後枚數ノ增加アルモ從前ノ如ク附替報告アリタキ旨ヲ申來レリ

依テ本行ハ歐米各國ニ於ケル手形交換所ト中央銀行トノ關係ヲ取調ヘ本邦ニ於ケル手形小切手ノ流通ヲ奬勵スルノ目的ヲ以テ手形交換所ノ依賴ニ應シ本行ヨリモ交換員ヲ出席セシムルコトヽシ尙歐米ニ行ハルヽ手形交換所ノ規定ヲ參酌シテ交換所規則並手形小切手交換順序ヲ起草シ同月二十九日參考ノ爲メ之ヲ銀行集會所ヘ回付シ從來ノ諸規則ヲ改正シ且委員監事等選定ノ上更ニ申出ツヘキ旨ヲ回答セリ

尋テ翌二十四年二月二十五日東京銀行集會所ヨリ同盟銀行協議ノ上從前ノ手形交換所ハ二月二十八日限リ相廢シ更ニ第一國立銀行外十行申合セノ上東京交換所ヲ設置シ左ノ規則書ニ據リ同年三月一日ヨリ實施スヘキ旨ヲ通報シ並ニ同交換所組合銀行ニ關係ノ手形小切手ニシテ本行ヘ收入シタルモノハ總テ取纏メノ上毎日交換時間迄ニ本行々員一名客員トシテ出席シ本行ニ於テ同交換所ノ交換尻ヲ振替決算スルコトヲ請求シ尙右規則ヲ加除更正スル場合又ハ組合銀行ノ增減アル場合ニハ總テ本行ノ同意ヲ得テ實施スヘキ旨ヲ申越シタルニ依リ本行ハ同月二十六日右承諾ノ旨ヲ回答シ爾後本行ハ各組合銀行ノ交換尻ヲ本行ノ當座勘定ヲ以テ振替決算スルコトヽシ又組合銀行ハ其受入レタル一切ノ手形ヲ必ス交換所ヘ持出シ現金ノ取付ハ全ク之ヲ爲サヽルコトヽセリ

東京交換所規則

第一章　總則

第一條　當交換所ハ東京交換所ト稱シ日本橋阪本町東京銀行集會所内ニ設置ス

第二條　當交換所ハ交換所組合銀行中ニ於テ日々收入シタル各種ノ手形小切手ヲ交換決算スルヲ以テ目的トス

第三條　當交換所ニ於テ交換シタル手形小切手ノ不渡リ又ハ交換ノ錯誤ヨリ生スル要求ハ其關係銀行ノ間ニ於テ處辨スヘキモノトシ交換所ハ一切其責ニ任セス

第二章　交換規定

第四條　當交換所ノ交換時間ハ毎日(一般ノ休業日ヲ除ク)午前十時ニ開キ同十時三十分迄ニ差引決算ヲ行フヘキモノトス

但本條ノ時間ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第五條　當交換所ニ於テ交換スヘキ手形小切手ハ交換所組合銀行中ニテ支拂フヘキモノニ限ル

第六條　手形小切手ノ交換ハ第七條以下ノ手續ニヨリテ之ヲ行ヒ其差引殘高ハ日本銀行當座勘定ノ貸借振替ヲ以テ結了スヘキモノトス

第七條　組合銀行ノ交換方ハ交換スヘキ手形小切手ヲ分類シ壹枚毎ニ裏書ヲ爲シ交換添表ニ其金額ヲ記入シ該添表ノ合計金額ヲ交換差引表ノ貸方ニ記載シテ手形小切手ト共ニ當交換所ヘ持參スヘシ

第八條　組合銀行ノ交換方ハ交換時間迄ニ當交換所ヘ參集シ手形小切手ヲ添表ト共ニ互ニ交換シ其受取タル添表ノ金高ヲ交換差引表ノ借方ニ記載シ貸借ノ決算ヲ爲シ交換殘高表ヲ作リ證印ノ上監事ヘ差出スヘシ

第九條　監事ハ交換方ヨリ差出タル殘高表ノ金額ヲ點檢シ書記ヲシテ交換決算簿ニ記入セシメ貸借合計ヲ現ハシ計算ノ確實ナルヲ認メタル上交換方ヲシテ交換尻振替ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十條　交換決算上借方トナリタル銀行ハ交換尻振替請求書(甲號)ヲ認メ交換方記名調印ノ上之ヲ日本銀行ヘ持參シ同行ヨリ振替濟ノ報告書(甲號)ヲ受取リ監事ニ差出シ振替濟ノ證印ヲ受クヘシ

第十一條　交換決算上貸方トナリタル銀行ハ交換尻振替請求書乙號)ヲ認メ交換方記名調印ノ上之ヲ監事ニ差出シ其證印ヲ得テ日本銀行ヘ持參シ交換振替濟ノ報告書乙號)ヲ受取ルヘシ

第十二條　監事ハ交換決算後直ニ總決算表ヲ作リ記名調印ノ上日々之ヲ日本銀行ヘ差出スヘシ

第十三條　當交換所ニ於テ交換シタル手形小切手ノ内不渡ノモノアルトキハ翌日交換時間迄ニ之ヲ持出シタル銀行ヘ返却シテ其代リ金ヲ受取ルヘシ

第十四條　組合銀行中前條規定ノ時間内ニ不渡リ手形若クハ小切手ノ返却ヲ受ケ其代リ金ヲ渡サルヽカ又ハ交換尻支拂金ヲ當日ノ正午十二時(土曜日ハ十一時卅分)迄ニ日本銀行ヘ振込マサル時ハ相手方ノ銀行ハ直ニ其理由ヲ詳記シテ監事ヘ届ケ出ヘシ監事ハ其銀行ヲ督責シテ支拂ヲ爲サシムヘシ

第十五條　前條ノ場合ニ於テ借方ノ銀行其支拂ヲ爲サヽル時ハ監事ハ翌日ノ交換時間迄ニ決算ヲ繰戻シ其銀行ノ持歸リタル手形小切手ヲ引揚ケ相手方ノ銀行ヘ返戻スヘシ

但借方ノ銀行ニテ其手形小切手ヘ渡濟記入濟等ノ印ヲ押捺セシモノハ未拂ノ旨ヲ附箋セシ

ムヘシ若シ之ヲ肯セサルトキハ監事ハ交換所ノ帳簿ニ據リテ之ヲ證明スヘシ

第三章　交換所組合銀行

第十六條　交換所組合銀行ハ東京銀行集會所同盟銀行ニシテ日本銀行ト當座勘定ヲ開キタルモノニ限ル

第十七條　日本銀行ハ當交換所ノ爲メニ客員トシテ日々交換方ヲ當交換所ヘ出席セシムルモノトス

第十八條　組合銀行ハ保證トシテ五分以上利付ノ公債證書壹萬圓ヲ當交換所ヘ預ケ入ルヘシ

第十九條　組合銀行ハ第三十九條ニ定メタル割合ヲ以テ當交換所ノ費用ヲ分擔シ委員ノ通知ニヨリテ之ヲ支出スヘシ

第廿條　組合銀行ハ組合中ニ於テ仕拂ヘキ手形小切手等ヲ取引先ヨリ受取ルトキハ相當ノ理由ナクシテ之ヲ拒絶スヘカラス且其受取タルモノハ總テ當交換所ノ交換ニ持出スヘシ

第廿一條　組合銀行ハ交換スヘキ手形小切手ヲ所持スルト否トニ拘ハラス毎日交換時間ニ交換方ヲ當交換所ヘ出席セシメ毎月交換高ノ內譯表ヲ作リ翌月五日迄ニ監事ヘ差出スヘシ

但交換方ハ其銀行ノ代理人トシテ交換ニ係ル一切ノ責任ヲ有スルモノトス

第廿二條　新タニ交換所ニ加入セント欲スル者ハ組合銀行ノ紹介ヲ以テ其由ヲ委員ニ申出ヘシ

委員ハ組合銀行ヘ通達シ日ヲ定メテ匿名投票ヲ行ヒ四分三以上ノ同意ヲ以テ其加入ヲ許諾スヘシ

第廿三條　組合銀行中組合外銀行ノ交換代理ヲ引受ケントスルトキハ其由ヲ委員ニ申出ツヘシ委員ハ組合銀行ヘ通達シ四分三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ許諾スヘシ

但委托銀行ニ於テ支拂フヘキ手形小切手ハ總テ受托銀行ノ責任トシテ之ヲ交換スヘシ

第廿四條　組合銀行中退會ヲ望ムモノハ其由ヲ委員ニ申出ヘシ委員ハ組合銀行ニ通達シ異議ナキトキハ之ヲ許諾スヘシ

但委員ノ許諾ヲ得サル間ハ第十八條ノ保證品ヲ取戻スコトヲ得ス又第廿一條ノ交換時間ニハ交換方ヲ當交換所ヘ差出スヘシ

第廿五條　組合銀行中第十四條ノ支拂ヲ爲サヽルモノアルトキハ委員ハ預リ置タル保證品ヲ賣却シ其代金ヲ以テ相手方ニ對スル未拂金ヲ決算セシムヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ委員ハ其銀行ヲ除名シ直ニ組合銀行ヘ通達シテ該行ニ係ル手形小切手ハ一切受取ラサルモノトス

第廿六條　組合銀行中營業危險ナリト認ムヘキ事實アルカ又ハ此規則ニ悖戻スルモノアルトキハ委員ハ其銀行ノ出席ヲ止メ直ニ組合銀行臨時總會ヲ開キ出席員四分三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ除名スヘシ

第四章　總會

第廿七條　當交換所ノ總會ハ組合銀行ヨリ支配人以上ノ重役一名若クハ二名ヲ出シ內一名ヲ代理者ト定メ交換所ニ係ル要件ヲ議決スルモノトス

第廿八條　定式總會ハ毎年一月七月委員ノ定ムル時日ニ於テ當交換所ニ開キ委員ヨリ前半季交換高ノ統計及費用ノ決算ヲ報告スルモノトス

第廿九條　臨時總會ハ委員ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ組合銀行三行以上ノ請求アルトキハ何時ニテモ開會スルコトヲ得

第三十條　總會ノ會長ハ委員長之ニ任ス

但委員長事故アルトキハ委員ノ内ニテ代理スヘシ

第三十一條　定式及臨時總會ニ組合銀行ノ代理者半數以上出席スルニ非ラサレハ開會スルコトヲ得ス

第三十二條　總會ノ決議ハ過半數ヲ以テ之ヲ決シ可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

但第廿二條第廿三條第廿六條第四拾條ハ此限ニ非ス

第五章　委員

第三十三條　當交換所ノ委員ハ毎年一月ノ總會ニ於テ組合銀行支配人以上ノ重役中ヨリ三名ヲ撰擧シ其互撰ヲ以テ委員長一名ヲ置ク

但再撰スルコトヲ得

第三十四條　委員ノ職掌ハ左ノ如シ

第一　交換所一切ノ事務ヲ整理スルコト

第二　交換所規則ノ實際ニ行ハルヽヤ否ヤヲ監視スルコト

第三　監事ノ職掌ヲ監督スルコト

第四　監事ノ任免及其手當金ノ額ヲ總會ノ評議ニ付スルコト

第五　書記ヲ任免シ其手當金ノ額ヲ定ムルコト

第六　組合銀行中ニ爭論ノ生シタルトキハ之ヲ仲裁スルコト

第七　臨時總會ヲ招集スルコト

但第四項以下ハ委員三分二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第三十五條　當交換所ノ監事ハ委員ノ衆議ヲ以テ適任者ヲ撰ミ總會ノ同意ヲ得テ任命スヘキモノトス

第六章　監事及書記

第三十六條　監事ハ委員ノ監督ヲ受ケ書記ヲ指揮シ日々ノ交換事務ヲ整理シ交換決算ノ責任ヲ有スルモノトス故ニ各銀行ノ交換方交換所ニアル間ハ總テ監事ノ差圖ニ從フヘシ

第三十七條　書記ハ委員及監事ノ指揮ニ從ヒ交換所ノ庶務ニ從事スルモノトス

第七章　經費

第三十八條　當交換所經費ノ決算ハ毎年兩度定式總會ニ於テ委員ヨリ報告シ次條ニ決定シタル割合ヲ以テ組合銀行ヨリ徵集スヘキモノトス

第三十九條　當交換所ノ經費ハ其總額ヲ二分シテ一半ハ平等ニ課シ一半ハ交換所へ持出シタル手形小切手ノ金高ニ應シ組合銀行ヨリ支出スヘキモノトス

第八章　規則更正

第四十條　此規則ヲ更正加除セントス欲スルトキハ組合銀行ノ總會ヲ開キ出席員四分三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決定シ日本銀行ノ承諾ヲ得テ履行スヘキモノトス

發起者

第一國立銀行
第三國立銀行
第十五國立銀行
第二十國立銀行
第二十七國立銀行
第百國立銀行
第百十九國立銀行
三井銀行
安田銀行
第十三國立銀行東京支店
第三十二國立銀行東京支店

甲號

交換尻振替請求書

一金
右金額當行勘定ヨリ交換同盟銀行ノ貸方勘定ヘ御振替被下度且該同盟中何レノ銀行ニテモ交換所監事ノ證印アル請求書ヲ持參スルヤハ其振出シ銀行ノ貸方勘定ヘ御振替被下度候也

明治　年　月　日

日本銀行御中

何々銀行

乙號

交換尻振替濟報告書

一金
右金額本日貴行ノ勘定ヨリ同盟銀行貸方勘定ヘ振替候也

明治　年　月　日

日本銀行

何々銀行御中

交換所監事

交換尻振替請求書

一金
右金額交換同盟銀行勘定ヨリ當行貸方勘定ヘ御振替被下度候也

明治　年　月　日

何々銀行

日本銀行御中

交換所監事

右振替ノ確實ナルヲ證ス

交換尻振替濟報告書

一金

右金額本日交換同盟銀行勘定ヨリ貴行ノ貸方勘定ヘ振替候也

明治　年　月　日

何々銀行御中

日本銀行

而シテ手形交換室ハ初メ日本橋區坂本町東京銀行集會所内ニ設置シタルモ明治二十九年本行ノ新築落成ト共ニ同年五月一日ヨリ本行樓上ニ交換室ヲ置キ其後本行第二建築ノ落成ニ及ヒ三十一年十二月一日ヨリ交換室ヲ同所ニ移セリ

前記東京交換所規則ハ明治二十六年三月罰則ヲ追加シタル以來屢々追加修正スル所アリシカ三十六年十二月ニ至リ同規則全部ヲ左ノ如ク改正シ三十七年一月ヨリ實施セリ四十二年末現行規則即チ是ナリ

東京交換所規則

第一章　總則

第一條　東京交換所ハ日本橋區坂本町四十番地ニ置キ其交換室ハ同區本兩替町一番地ニ設ク

第二條　當交換所ハ交換所組合銀行中ニ於テ收入シタル各種ノ手形小切手ヲ交換決算スルヲ以テ目的トス

第三條　當交換所ニ於テ交換シタル手形小切手ノ不渡リ又ハ交換ノ錯誤ヨリ生スル要求ハ其關係銀行ノ間ニ於テ處辨スヘキモノトシ當交換所ハ一切其責ニ任セス

第二章　交換規定

第四條　當交換所ノ交換時間ハ毎日(一般ノ休業日ヲ除ク)午前十時三十分ニ開キ同十一時ニ總決算ヲ完了スヘキモノトス

但本條ノ時間ハ組合銀行ノ決議ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第五條　手形小切手ノ交換ハ第六條以下ノ手續ニヨリテ之ヲ行ヒ其差引差高ハ日本銀行當座勘定ノ貸借振替ヲ以テ結了スヘキモノトス

第六條　組合銀行ノ交換方ハ交換スヘキ手形小切手壹枚毎ニ裏書ヲ爲シ交換添表ニ其金額及枚數ヲ記入シ其合計金額ヲ交換差引表ノ貸方ニ記載シテ手形小切手ト共ニ當交換所ヘ持參スヘシ

第七條　組合銀行ノ交換方ハ交換時間迄ニ當交換所ヘ參集シ手形小切手ヲ交換添表ト共ニ互ニ交換シ其受取タル金額及枚數ヲ交換差引表ノ借方ニ記載シ貸借ノ決算ヲ爲シ交換差額表ヲ作リ證印ノ上監事ヘ差出スヘシ

第八條　監事ハ交換方ヨリ差出シタル差額表ノ金額ヲ點檢シ書記ヲシテ交換決算簿ニ記入セシメ貸借合計ヲ現ハシ計算ノ確實ナルヲ認メタル上交換方ヲシテ交換尻振替ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第九條　交換決算上借方トナリタル銀行ハ交換尻振替請求書(甲號)ヲ認メ交換方記名調印シテ之ヲ監事ニ差出シ其證印ヲ得テ日本銀行ヘ持參シ同行ヨリ振替濟ノ報告書(甲號)ヲ受取リ監事ニ差出シ振替濟ノ證印ヲ受クヘシ

第十條　交換決算上貸方トナリタル銀行ハ交換尻振替請求書(乙號)ヲ認メ交換方記名調印シテ之ヲ監事ニ差出シ其證印ヲ得テ日本銀行ヘ持參シ交換振替濟ノ報告書(乙號)ヲ受取ルヘシ

第十一條　監事ハ交換決算後直ニ總決算表ヲ作リ記名調印ノ上日本銀行ヘ差出スヘシ

第十二條　當交換所ニ於テ交換シタル手形小切手ノ內不渡リノモノアルトキハ其銀行ハ不渡ノ事由ヲ記載シテ當日午後三時迄ニ之ヲ其持出シタル銀行ヘ返却シ其代リ金ヲ受取ルヘシ

第十三條　前條ニ依リ手形小切手ノ支拂ヲ拒マレタル銀行ハ直ニ書面ヲ以テ其振出人(爲替手形ニアリテハ支拂人)ノ住所姓名職業金額及拒マレタル事由ヲ明記シテ當交換所ヘ屆出ヘシ當交換所ハ之ヲ交換室ニ掲示シテ各銀行ヘ警戒ヲ與フヘシ

第十四條　不渡手形屆出ノ翌日午後三時迄ニ取引銀行又ハ該手形金額ヲ受取リタル銀行ヨリ入金濟ノ屆出アルトキハ前日ノ掲示ヲ抹殺スルニ止メ別ニ報告書ヲ發付セス

但小切手ニ對シテハ本條ニ依ラス直ニ停止スルモノトス

第十五條　手形小切手ノ不渡ヲ爲シタルモノハ當交換所ニ於テ取引停止ノ報告書ヲ作リ組合及代理交換銀行ヘ發付スヘシ

第十六條　組合銀行及委托銀行ニ於テハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ該手形小切手振出人ニ對シ爾後取引ヲ拒絕スヘシ

但本條取引拒絕ノ期間ハ滿三箇年トス

第十七條　取引ヲ停止セラレタル者ニ對シ元ノ取引銀行又ハ組合銀行ヨリ本人信用回復又ハ他ノ理由ヲ具シ停止解除ヲ請求スルトキハ委員ハ調査ノ上組合銀行集會ノ議ニ付シ出席銀行四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ解除スルコトヲ得

第十八條　第十四條ニ依リ取引停止ヲ免カレタルモノ再ヒ手形ノ不渡ヲナシタルトキ又ハ取引ナキ銀行ヲ支拂場所ニ指定シテ不渡トナリタルモノハ直ニ第十五條ノ報告書ヲ發付スヘシ

第十九條　組合銀行中第十二條規定ノ時間內ニ不渡リトナリタル手形若クハ小切手ノ返却ヲ受ケ其代リ金ヲ渡サヽルカ又ハ交換尻支拂金ヲ交換完了時間後一時三十分間以內ニ日本銀行ヘ振込マサル時ハ相手方ノ銀行ハ直ニ其理由ヲ詳記シテ監事ヘ告知スヘシ監事ハ其銀行ヲ督責シテ支拂ヲ爲サシムヘシ

第二十條　前條ノ場合ニ於テ借方ノ銀行其支拂ヲ爲サヽル時ハ監事ハ直ニ其銀行ノ持歸リタル手形小切手ヲ引揚ケ相手方ノ銀行ヲ招集シテ決算ヲ繰戻スヘシ

但借方ノ銀行ニテ其手形小切手ヘ渡濟記入濟等ノ印ヲ押捺セシモノハ未拂ノ旨ヲ付箋セシムヘシ若シ之ヲ肯セサルトキハ監事ハ交換所ノ帳簿ニ據リテ之ヲ證明スヘシ

第三章　交換所組合銀行

第二十一條　交換所組合銀行ハ東京銀行集會所組合銀行ニシテ日本銀行ト當座勘定ヲ開キタルモノニ限ル

第二十二條　日本銀行ハ當交換所ノ爲メニ客員トシテ其交換方ヲ每日交換時間當交換所ヘ出席

セシム

第二十三條　組合銀行ハ保證トシテ五分以上利付ノ公債證書額面壹萬圓ヲ當交換所ヘ預ケ入ルヘシ

第二十四條　組合銀行ハ組合中ニ於テ支拂フヘキ手形小切手等ヲ取引先ヨリ受取ルトキハ相當ノ理由ナクシテ之ヲ拒絶スヘカラス且其受取タルモノハ總テ當交換所ノ交換ニ持出スヘシ

第二十五條　組合銀行ハ交換スヘキ手形小切手ヲ所持スルト否トニ拘ハラス毎日交換時間ニ交換方ヲ當交換所ヘ出席セシムヘシ

但交換方ハ其銀行ノ代理人トシテ交換ニ係ル一切ノ責任ヲ有スルモノトス

第二十六條　新タニ當交換所ニ加入セント欲スル者ハ組合銀行ノ紹介ヲ以テ其由ヲ委員ニ申出ヘシ委員ハ組合銀行ヘ通達シ日ヲ定メテ匿名投票ヲ行ヒ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ其加入ヲ許諾スヘシ

第二十七條　組合銀行中退會ヲ望ムモノハ其由ヲ委員ニ申出ヘシ委員ハ組合銀行ニ通達シ異議ナキトキハ之ヲ許諾スヘシ

但委員ノ許諾ヲ得サル間ハ第二十三條ノ保證品ヲ取戻スコトヲ得ス又第二十五條ノ交換時間ニハ交換方ヲ交換所ヘ差出スヘシ

第二十八條　組合銀行中第二十條ノ支拂ヲ爲サヽルモノアルトキハ委員ハ預リ置キタル保證品ヲ賣却シ其代金ヲ以テ相手方ニ對スル未拂金ヲ決算セシムヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ委員ハ其銀行ヲ除名シ直ニ組合銀行ヘ通達シテ該銀行ニ係ル手形小切手ハ一切受取ラサルモノトス

第四章　代理交換

第二十九條　組合銀行ニ於テ代理交換ノ引受ヲ爲サントスルトキハ委員ニ申出ヘシ委員ハ之ヲ組合銀行會議ニ付シ投票ノ多數ヲ以テ可否ヲ決スヘシ

但受托銀行ハ委托銀行ニ於テ支拂フヘキ手形小切手ヲ便宜上交換スル迄ニ止マリ別ニ責任ヲ有セサルモノトス

第三十條　代理交換ヲ依頼シタル委托銀行ハ毎日交換決了時間ヲ期シ行員ヲ受托銀行ニ派シ當日ノ決算尻ヲ認メ若シ借方トナリテ受托銀行ニ振替ノ資金ヲ有セサルトキハ午後零時三十分迄ニ其金額ヲ受托銀行ニ振込ムヘシ

第三十一條　委托銀行ニ於テ前條ノ入金ヲ怠リタルトキハ受托銀行ニ於テ交換シタル手形小切手ハ午後三時迄ニ相手方銀行ヘ差戻スヘシ

第三十二條　前條ノ場合ニ於テ受托銀行ハ直ニ其趣ヲ當交換所委員ニ告知スヘシ委員ハ之ヲ組合銀行ニ通知シテ代理交換ヲ拒絶スヘシ

第三十三條　受托銀行ニ於テ委托銀行ノ代理ヲ解約セントスルトキハ二日以前其趣ヲ當交換所委員ニ通知スヘシ

第三十四條　委托銀行ニ於テ支拂フヘキ手形小切手ノ内不渡トナリタルモノアルトキハ午後三時迄ニ其趣ヲ直接ニ相手方ノ銀行ニ通知シ其手形小切手ヲ受托銀行ニ返戻シ其代リ金ヲ受取ルヘシ

手形ノ交換及取立

第三十五條　委托銀行ハ保證トシテ有價證券實價參千圓以上壹萬圓迄ヲ受托銀行ヘ預ケ入ルヘシ

第三十六條　委托銀行ハ相當ノ手數料ヲ受托銀行ヘ支拂フヘキモノトス

第五章　集會

第三十七條　集會ハ定式臨時ノ二種ニ別ツ

第三十八條　定式集會ハ毎月五日之ヲ開キ且ツ其一月七月ノ集會ニ於テハ委員ヨリ前半季事務成績及經費決算ヲ報告スヘシ

第三十九條　臨時集會ハ委員ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ組合銀行五行以上ノ請求アルトキ何時ニテモ開會スルコトヲ得

第四十條　集會ノ會長ハ委員長之ニ任ス委員長事故アルトキハ委員之ニ代ル

第四十一條　凡集會ハ組合銀行半數以上出席スルニアラサレハ決議スルコトヲ得ス

第四十二條　集會ノ決議ハ第十七條第二十六條第五十條第五十八條ノ場合ヲ除クノ外出席代表者過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決スヘシ若シ可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第四十三條　議事ノ要領ハ記錄シテ次會ニ報告スヘシ

第六章　役員

第四十四條　委員ノ任期ハ一箇年ト定メ毎年一月ノ集會ニ於テ組合銀行員中ヨリ三名ヲ選擧シ其互選ヲ以テ委員長一名ヲ置ク

但再選スルコト得

第四十五條　委員ノ職掌ハ左ノ如シ

第一　交換所一切ノ事務ヲ監督スルコト

第二　交換所規則ノ實際ニ行ハルヽヤ否ヤヲ監視スルコト

第三　監事ノ職掌ヲ監督スルコト

第四　監事並書記ノ任免及其手當金額ヲ定ムルコト

第五　組合銀行中ニ爭論ノ生シタルトキ之ヲ仲裁スルコト

第六　臨時集會ヲ招集スルコト

但第四項以下ハ委員三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第四十六條　當交換所ノ監事ハ委員ノ衆議ヲ以テ適任者ヲ選ミ集會ノ同意ヲ得テ任命スヘキモノトス

第四十七條　監事ハ委員ノ監督ヲ受ケ書記ヲ指揮シ一切ノ事務ヲ整理シ交換決算ノ責任ヲ有スルモノトス故ニ各銀行ノ交換方カ交換所ニアル間總テ監事ノ差圖ニ從フヘシ

第四十八條　書記ハ委員及監事ノ指揮ニ從ヒ庶務ニ從事スルモノトス

第七章　經費

第四十九條　當交換所ノ經費ハ其總額ヲ二分シテ一半ハ平等ニ課シ一半ハ前季交換總高ニ割合組合銀行ヨリ支出シ其決算ハ毎年一月七月ノ集會ニ於テ委員ヨリ報告スルモノトス

第八章　罰則

第五十條　組合銀行中營業危險ナリト認ムヘキ事實アルカ又ハ此規則ニ悖戻スルモノアルトキ手形ノ交換及取立

ハ委員ハ其銀行ノ出席ヲ止メ直ニ組合銀行臨時集會ヲ開キ出席銀行四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ除名スヘシ

但代理交換委托ノ銀行モ亦本條ヲ準用スルコトアルヘシ

第五十一條　交換方規定ノ交換開始時間ヲ過キテ參着シタルトキ又ハ交換添表若クハ計算ニ錯誤アリタルトキハ監事ヨリ其銀行ヘ通知スヘシ

但總決算完了時刻五分前ニ發見シタル計算ノ錯誤ハ此限ニアラス

第五十二條　前條ノ遲參又ハ其錯誤數回ニ及ヒタルトキハ監事ハ其銀行ヘ照會シテ交換方ノ交送ヲ請求スルコトアルヘシ

第五十三條　交換開始ノ時刻ヨリ五分ヲ過キ交換方ノ參着シタルトキハ其銀行ニ對シ他行ヨリ配付シタル手形小切手ハ之ヲ支拂ハシメ其持參シタル手形小切手ハ當日ノ交換ニ加ヘサルモノトス

第五十四條　組合銀行中正當ノ理由ナクシテ交換所ニ缺席シタルモノハ過怠金壹百圓ヲ徵收ス

此ノ場合ニハ缺席銀行ノ支拂義務アル諸手形ニ對シ現金ノ取付ヲナスコトヲ得ヘシ

第五十五條　規則第十九條ノ場合ニ於テ不渡手形小切手ノ代リ金渡シ方遲滯スルカ又ハ交換尻振込入金ノ遲刻シタルトキハ其銀行ヨリ過怠金五拾圓ヲ徵收ス

第五十六條　銀行ノ過失ニ因リ取引停止報告ノ取消ヲ請求シタルトキ又ハ第十六條ノ規定ニ違背シタルトキハ其銀行ヨリ過怠金貳拾五圓ヲ徵收ス

但本條取消請求十日以上ヲ經過シタルモノハ調査委員會ニ付ス

第五十七條　在地方銀行振出ノ手形小切手ニシテ支拂資金ナキカ爲メ當交換所ヨリ取引停止ノ處分ヲ受ケ其後當事者間ニ行違ノ事實アルコトヲ證明シ組合銀行ヲ經テ臨時ニ解除ヲ請求シタルトキハ委員會議ノ上之ヲ解除シ其過失者ヨリ金五拾圓ヲ徵收ス

第九章　規則更正

第五十八條　此規則ヲ更正加除セント欲スルトキハ組合銀行ノ集會ヲ開キ出席員四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決定シ日本銀行ノ承諾ヲ得テ履行スヘキモノトス

大阪ハ商業ノ盛ナルコト全國ニ冠タルノ故ヲ以テ商估ハ概ネ切手々形ヲ授受シテ相互ノ取引ヲ決算スルノ商習慣行ハレ自然手形交換所ノ設立ヲ促カシ既ニ明治十二年十二月一日大阪交換所ノ創立ヲ見タリ是實ニ本邦交換所ノ嚆矢トス尋テ二十九年三月大阪手形交換所創立委員總代ヨリ本行大阪支店ニ對シ此度東京交換所規則ニ準據シテ新ニ規則ヲ制定シ來ル四月一日ヨリ實施シタキニ付本行大阪支店員一名客員トシテ同交換所ヘ出席シ同所組合銀行ヘ關係ノ手形小切手ニシテ同支店ヘ收入ノモノハ總テ取纏メノ上之ヲ交換ニ付シタル上同支店ニ於テ交換尻振替決算ヲナシ並同支店内ノ一室ヲ借用シ手形ノ交換ニ充テ度旨申出テ同月十三日同支店ヨリ右何分ノ指令アリ度旨上申アリ之ニ對シ同月十九日右承諾差支ナキ旨ヲ回答セリ是ニ於テ大阪手形交換所ハ同年四月一日ヨリ其業務ヲ開始シ而シテ舊交換所ハ新交換所ノ設立以來漸次其交換高ヲ減少シタルヲ以テ遂ニ同年十一月ヲ以テ解散セリ

又京都交換所ハ三十一年一月十五日ヨリ名古屋交換所ハ三十五年九月一日ヨリ廣島交換所ハ四十一年八月一日ヨリ之ヲ開始セリ右ハ何レモ當該地本行支店出張所ヨリ客員トシテ交換所ニ出席シ

交換尻ハ當該支店出張所ノ當座勘定ニテ振替決濟ヲ爲セリ(其他三十年七月神戸ニ三十三年二月横濱ニ手形交換所ノ設置アリタルモ本行ト何等ノ關係ナキニ依リ爰ニ之ヲ略ス)

手形ノ取立

本行開業ノ當初ニ於テハ金庫局取立課ニ於テ左ニ揭クル假內規第二十三條乃至第二十六條ノ規定ニ據リ取引約定アル諸會社銀行又ハ商人ノ爲メニ手形金ノ取立ヲナシタリ

一 本行ハ豫メ取引約定アル銀行會社等ノ爲ニ東京府內其他約定店アル地方ニ於テ爲替手形約束手形等ノ取立ヲ爲シ其取立先ノ遠近幷ニ金額ニ應シテ多少ノ手數料ヲ受クヘシ

一 手形ノ取立方ヲ依賴セント欲スル者ハ府內ハ遲クトモ其手形ノ仕拂期日ノ前日又各地方ハ郵便日數ヲ除ク二日前ニ其手形ノ裏面ニ請取ヲ記シ署名捺印ノ上第八號雛形ノ代金取立依賴書(總說綱領假內規ノ部參照)ニハ左ノ諸件ヲ記載スルモノトス

一手形各通ノ金高

一仕拂期日

一引受人又ハ仕拂人ノ住所姓名

一手形總金高

一 本行ニテ右手形金取立ノ依賴ヲ受ケタルトキハ其依賴ニ應スヘシト雖モ依賴人ハ本行ヨリ其金額取立濟ノ通知ヲ受ケタル上ニ非サレハ其金高ヲ引出スヲ得サル者トス

一 手形若シ不渡トナルトモ本行ニテハ一切訴訟上ノ手續ヲ擔任セサルヲ以テ依賴人其通知ヲ受ケタル時ハ速ニ其手形ヲ引取ルヘシ

尋テ明治十七年十二月十八日各地ニ「コルレスポンデンス」約定先ヨリ手形ノ取立依賴アリタル場合ニハ先ツ補助簿ニ於テ明細ニ記入シ置キ期日ニ至リ取立濟ノ上ハ始メテ其銀行ノ勘定ヲ起スコトヽセリ

其後明治二十三年一月本行組織ヲ改正スルヤ從來金庫局ニ於テ取扱ヒタル手形ノ取立事務ヲ營業局ニ移シタリ然ルニ三十年四月五日後ハ再ヒ該事務ヲ金庫局ニ復シ尙取立手形ノ取扱ニ關シテハ三十二年一月實施ノ內規第六十六條乃至第六十九條ニ於テ左ノ數則ヲ定メタリ

一 平素取引スル得意先ノ依賴アルトキハ本支店出張所又ハ爲換約定店ノ所在地拂ノ手形及ヒ切手類ノ取立ヲ取扱フモノトス但爲換約定店所在地拂ノ取立ニ限リ相當ノ手數料ヲ徵收スルコトヲ得可キモノトス

一 手形ノ取立ヲ依賴セントスル者ハ手形ニ其目的ヲ附記シタル裏書ヲ爲シ當所拂ハ滿期日ノ二日前マテニ他所拂ハ郵便日數ヲ除キ同シク二日前マテニ依賴書ト共ニ之ヲ差出サシム可キモノトス

一 前項ノ依賴ヲ受ケタルトキハ預證書ヲ交付シ置キ其金額取立濟ノ上之ト引換ニ非サレハ支拂ヲ爲ス可ラサルモノトス

一 手形カ不渡トナリタルトキハ支拂拒絕證書ヲ作成セシメ且償還請求ノ通知ヲ爲シタル上支拂拒絕證書ト共ニ之ヲ依賴者ニ還付ス可キモノトス但此場合ニハ相當ノ手數料ヲ徵收ス可キモノトス

當初他店切手々形ハ金銀有高帳ニ記載スルノミニシテ別ニ特定ノ帳簿ヲ設置セサリシモ不渡其他ノ故障ノ爲メ振出人、名宛人等ノ詳細ヲ知悉スルノ必要アリ且取立上ノ便益尠カラサルニ依リ明治十九年七月二十七日他店手形切手記入帳(第一號樣式)ヲ設ケ取引ノ都度記入スルコトヽセリ

又交換手形ノ爲メ明治二十四年三月以降交換手形記入帳(第二號樣式)ヲ設ケ振替手形ノ爲メ同年九月以降振替手形記入帳ヲ設ケタリ

又取立手形ノ爲メ明治二十二年二月以降取立手形記入帳ヲ、二十三年十月以降取立手形期日帳ヲ設ケタルカ前者ハ二十三年十二月ニ至リテ其使用ヲ止メ後者ハ二十四年七月以降其名稱ヲ取立手形期日明細帳ト改メタリ

今明治二十五年一月以降諸帳簿樣式一定ノ際交換手形、取立手形等ニ關スル帳簿ヲ擧クレハ左ノ如シ

他店手形切手記入帳
(既記ノモノト同シキニ付省略)

當所代金取立手形記入帳
(第三號樣式)

他所代金取立手形記入帳
(第四號樣式)

取立手形期日明細帳
(第五號樣式)

交換手形記入帳
(第六號樣式)

振替手形記入帳
(第七號樣式)

越エテ明治三十年四月手形交換事務ヲ營業局ヨリ金庫局ニ移スニ及ヒ交換手形記入帳ヲ廢シ從來使用ノ他店手形切手記入帳(第八號樣式)ヲ以テ之ニ代ヘタリ尋テ同年六月十八日他店手形切手記入帳ノ樣式ヲ改正(第九號樣式)スルト共ニ其名稱モ他店切手々形記入帳ト改メタリ其後三十一年十月十一日以降再ヒ交換手形記入帳ニハ爾後日々ノ殘高トシテ翌日ニ繰越スヘキ切手手形ノミヲ記帳スルコトヽセリ

尋テ明治三十四年一月以降取立手形期日明細帳ノ樣式ヲ改正(第十號)シ三十五年一月以降該樣式中「手形種類」ヲ「種類」ト「仕拂先」ヲ「仕拂指定銀行」ト改メタリ

本支金庫ヨリ送納金トシテ送付シ來ル爲替手形、小切手、領收證等ニ對シテハ從來適宜ノ帳簿ヲ設ケテ之ヲ整理シ來リシカ明治四十年一月以降金庫間送納金手形證書々留簿(第十一號樣式)ヲ設ケ又國庫部ニ於テ現金トシテ收入シタル切手々形ニシテ當日取立未濟ニ係ルモノヲ記載スル爲メ國庫收入切手々形書留簿(第十二號樣式)ヲ設ケタリ

切手記入帳

（明治十九年七月實施）

記號番號	手形月日	金額	取付月日	摘要

第一號　他店手形

手形ノ交換及取立

明治年	受取先	振出人	名宛人	種類

第二號　交換手形記入帳

（明治二十四年三月實施）

取引先	手形種類	番號	手形日付	振出人	受取人	裏書人	金額	合計

手形記入帳

（施實月一年五十二治明）

摘要	立取日月	金額	期日	期限	手形日月	手形番號

手形記入帳

（施實月一年五十二治明）

摘要	立取日月	手數料	手數料割合	金額	期日	期限	手形日月

第三號　當所代金取立

明治年	種類	番號	振出人	仕拂人	住所

手形ノ交換及取立

第四號　他所代金取立

明治年	種類	番號	依賴人	住所	振出人	仕拂人	手形番號